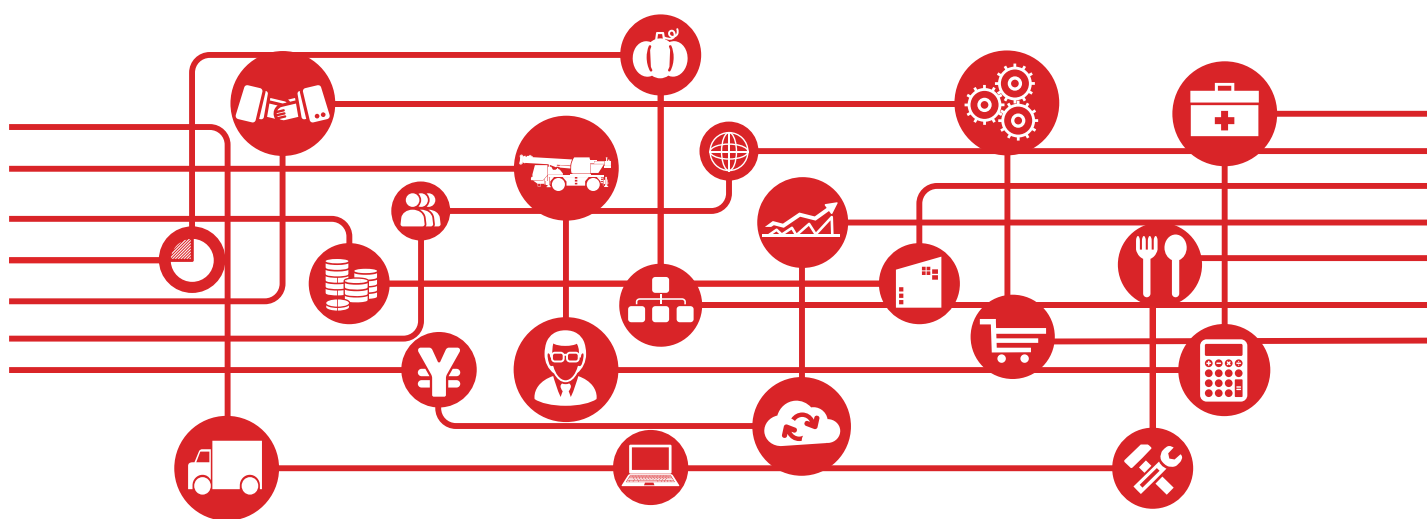


PCA

業種別事例集

～サービス～



PCA



日本最大級ホテルチェーン「東横イン」が選んだ『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』。韓国に展開する店舗ごとの会計データを日本国内で詳細まで把握。

株式会社 東横イン

日本を代表する大手ビジネスホテルチェーン『東横イン』。海外にも積極的に出店し、現在は韓国、カンボジアで開業しており2017年にはドイツ、フィリピン、フランスにも出店を予定している。とりわけ韓国ではすでに7店舗を営業しており、日本国内の店舗と変わらないレベルで売上や経費などの詳細を把握したいと考えていた。そこで導入したのが『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』。今後も続々と海外出店を控える中、PCAの同システムへの期待は大きいと語る。

導入システム

- ・ PCA 会計 X システム B
- ・ PCA 会計 X 海外会計データ受入オプション

導入の狙い

- ・韓国内の各店舗の会計データを経費や売上の詳細まで把握したい。
- ・現地での導入は業務を妨げることなくスムーズに行いたい。
- ・内部統制という面だけでなく、今後の海外店舗の分析にも役立てたい。

導入効果

- ・『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』によって、店舗ごとの経費や売上の詳細をつかむことができる。
- ・アライアンスを提携している韓国DOUZONE（ドゾン）社は、韓国内でトップシェアを誇るソフトウェアメーカーのため、新たにソフトの買い替えが必要なく、スムーズにシステム導入ができた。
- ・簡易日本語翻訳機能等により出力された会計データに言葉の壁がなくなることで双方の信頼関係も深まる。現地の会計事務所などに依頼せず自分たちでダイレクトに数字をつかむことで、今後の海外店舗の経営戦略にも活用できる。

プロフィール

株式会社 東横イン

- 所在地: 〒144-0054 東京都大田区新蒲田1丁目7番4
- 設立年月日: 昭和61年(1986年)1月23日
- 資本金: 5,000万円
- 主業種: サービス業
- 業務内容: エコノミーホテルの運営

- 従業員数: 10,288名 (2016.3末現在) ※パートタイム従業員含む
- 店舗数: 262店舗 (2017.2.13現在)
- 客室数: 51,918室 (2017.2.13現在)
- 店舗展開: 46都道府県(高知県を除く)と海外で展開 (2017.2.28現在)
- URL: <http://www.toyoko-inn.com>



株式会社 東横イン
本社ビル外観(東京・蒲田)



Toyoko Inn Korea Co.,Ltd.
理事
洪 京珠 氏



株式会社 東横イン
経理財務部 部長補佐
古田 富美子 氏

導入前の運用と課題

○積極的に海外出店。韓国内では人気知名度2位のビジネスホテルチェーンに

駅前の便利な立地にリーズナブルな価格で宿泊できるビジネスホテルとして、広く知られている東横イン。同社は積極的に海外での出店も行っている。2016年末時点で韓国に7店、カンボジアに1店開業しており、2017年にはドイツ・フランクフルト、フィリピン・セブや、フランス・マルセイユの一等地、さらに2018年にはソウルの人気エリア・カンナムなど今後も海外出店が目白押しだ。

とりわけ韓国内ではビジネスホテルチェーンの人気・知名度で東横インが2位を獲得し、今後5年以内には30店舗のオープンを目指している。

「2008年に釜山、2009年にソウルにオープンした当初は日本人のお客様がほとんどでした。しかし韓国内でも当社の名が知られるようになり、現在は韓国内の東横インご利用のお客様のうち60%が韓国人、20%が日本人、残り20%がその他の外国人となっており、韓国内でも東横インの名はすっかり定着しております」(Toyoko Inn Korea Co.,Ltd. 理事 洪京珠氏)

○日本国内と同様にホテル1店舗ごとの売上や経費を確認したい

順調に韓国の店舗が増える中で課題となっていたのが韓国の月次の経理処理の詳細をなかなか把握できないことだった。

「これまで日本本社では韓国の数字を日本語訳された合計残高試算表ベースで確認していたのですが、そこに出ているのは韓国店舗の合算された数字でした。やはり知りたいのは店舗ごとの数字です。店舗ごとの売上や経費の詳細を知るためには、以前はその都度、韓国側に電話やメールで問い合わせたり、業績会議で役員側から質問がある場合は

その場で洪さんに対応してもらったりと、詳細をつかむのになかなか時間がかかっていました。そこで海外店舗の経理の在り方を一から見直そうと思い、ご紹介いただいたのが『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』でした」(経理財務部 部長補佐 古田富美子氏)

選定のポイント

○連携テスト期間にじっくりと検討。韓国DOUZONE社の支援で導入もスムーズに

『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』を検討するにあたって、同社は連携テスト期間を利用した。まず2016年3月から日本と韓国の連携を開始し、8月からPCAとアライアンス(ALAE:アーレイ)を提携している韓国DOUZONE社のシステムを日本に導入。取材時はまだ実務面で頻繁に使用してはいないものの、韓国内の各店舗の会計データの詳細を日本で取得し把握・確認できる体制は確立できている。

「選定の決め手として、まず1つは連携テストの対応をしてくださったことは大きいです。このテスト期間で『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』が当社にメリットをもたらす可能性があることがわかりました。そしてもう一つ決め手となったのがアライアンス(ALAE:アーレイ)だからこそできた韓国DOUZONEさんとPCAさんの導入時の手厚い支援です」(古田氏 洪氏)

【メリット1】PCAは各国の会計ソフトのトップメーカーとアライアンス(ALAE:アーレイ)を提携しており、『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』導入時には各国の提携先企業が、現地で導入サポートを行うことが可能。

Toyoko Inn Koreaでは以前から『ALAE』加盟のDOUZONE社の会計ソフトを使用していた。そのため韓国のスタッフは以前とまったく変わらない環境で引き続き入力を行な

える。『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』導入時もDOUZONE社とPCAが導入支援を行った。PCAでは各国でトップシェアのソフトウェアメーカーと『ALAE』を提携しており、海外での法改正や会計基準の変更などにもアライアンスの協力体制を活かすことで柔軟に対応できる仕組みにしている。

導入後の効果

○海外の会計データを日本語でストレスなく理解できる＝お互いの信頼関係も深まる

実際に日本本社から韓国の会計データをタイムリーに確認できるようになったことで、いくつかの効果を実感できているという。その一つは「日本語でデータを確認できるためストレスなく処理を進められる。それが双方の意思疎通をさらに深める」という点だ。

【メリット2】『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』で海外支店のデータを日本側で確認する際には、①外国語勘定科目の日本語勘定科目への置き換え。②連結用の勘定科目への組み換え。③日本円に換算した金額。④元の外貨の金額。これらの置き換えや確認が可能。

【メリット3】小数点以下が発生しない韓国通貨₩(ウォン)のため、同社では『PCA会計X』の帳票や分析ツールをそのまま利用できる。

「以前なら細かく伝票まで確認しようとすると当然韓国語になります。そこが『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』では摘要文や勘定科目が日本語に置き換えられており、すんなりと理解しやすくなります。このオプションによって言葉の壁を乗り越えることができ、それは日本・韓国の意思疎通を深める力にも繋がると思います。実際に自分のデスクのパソコンから『PCA会計X』で韓国の生データを取り込み確認できているわけですから、大きな進歩だと思います」(経理財務部 小田切孝子氏)(Toyoko Inn Korea Co.,Ltd. 経理総務部 代理 朴成禮氏)

『PCA会計X』は円貨のみの対応であるが、同社の場合は、韓国₩(ウォン)にて小数点以下が発生しないため現地通貨の帳票をそのまま利用できるというメリットもある。なお小数点以下が発生する場合でも当オプションで受け入れた期首残高・仕訳に関しては各種帳票(外貨明細・外貨仕訳帳・外貨元帳・外貨集計表・外貨合計残高試算表など)で確認できる。



株式会社 東横イン
経理財務部
小田切 孝子 氏



Toyoko Inn Korea Co.,Ltd.
経理総務部 代理
朴 成禮 氏

システム概況図



Toyoko Inn Korea Co.,Ltd.

DOUZONE ・会計
DOUZONE iCUBE ・給与/人事/勤怠システム
・PCA会計Export Tool

東横INN ①ソウル東大門 ④釜山駅Ⅰ
②大田政府庁舎前 ⑤釜山駅Ⅱ
③釜山西面 ⑥釜山海雲台Ⅰ
⑦釜山海雲台Ⅱ



Internet



株式会社 東横イン 本社

DOUZONE
DOUZONE iCUBE
(Export Tool)



東横イン本社

データの
暗号化
↓
データの
復元化

PCA会計X PCA

・システムB スタンドアロン
・海外会計データ受入オプション
(Import Tool)



株式会社 東横イン
本社ビル エントランス



株式会社 東横イン
本社ビル ロビー



株式会社 東横イン HP
<http://www.toyoko-inn.com>

○現地での監査対策。そして海外店舗の経営分析に、当オプションを活用

同社ではまだ本格的な稼働ができていない状況だが、『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』導入によるメリットは韓国→日本の勘定科目や数字の置き換え以外にも、様々な波及効果をもたらそうとしている。国内・国外を問わずホテルをオープンさせている同社にとって、毎月1回の業績会議の時間は忙しい社員が一堂に会する貴重な時間になる。以前はこの場で役員から不明点について質問され、それに対応していた。

「しかし会議の時間には限界がありますから、詳細を詰めることができないのが現状でした。例えば先月釜山の店舗では何と何を経費で購入したかなどは、以前はすぐに確認できませんでした。しかしこれからはPCAのこのシステムによって日本国内の店舗と同様に詳細を確認できます。韓国では日本以上に監査が厳しく、その対策としても本社で細かなチェックをしたかったわけです。以前はExcel®での合計残高試算表ベースでしたから、現在の各店舗の詳細までわかる状況は大きな飛躍です」(古田氏)

「『PCA会計X 海外会計データ受入オプション』の導入は内部統制という目的も当然ありますが、今後世界各地に出店していくうえで、国によってどの部分に経費がかかるのかなど今後の経営戦略に役立つ具体的なデータを得ることににもなるはず。東横インは海外でも日本と同じ仕様の客室や設備をご用意しており、損益をより詳しく把握するためにも当オプションへの期待は大きいです」(小田切氏)

海外出店した企業の場合、会計処理を現地の会計事務所へ委託するケースが多い。しかし当オプションによって自社がダイレクトに海外拠点の数字をつかむことで、経営判断のスピード化につながる可能性もあるだろう。

今後の課題と展望

現時点では韓国・カンボジアと文化も言葉も日本と大きく異なる国でホテルを営業している同社。「できれば他の国でもこのPCAのシステムを使いたい」と古田氏は希望している。

1986年の第1号店のオープン以来、総客室数5万室を超える日本最大級のホテルチェーンとなった東横イン。海外のホテルも日本同様「清潔・安全・値ごろ感」のある客室を提供する宿泊特化型ホテルですが、まだ認知度が低く、海外旅行に訪れて初めて「こんなところに東横インが!」と驚く人も少なくないという。

「日本語サービスもご用意しておりますのでぜひ多くの方にご利用いただきたいです。Toyoko Inn Koreaも日本同様、女性が支配人を務め、女性の感性を生かした心地よいホテル運営を行っております。国内はもちろん海外にも続々とオープン予定ですので、PCAのグローバル支援サービスの更なる拡充に期待しつつ、今後も多くのお客様に愛用していただけるホテルを目指していきます」(古田氏 洪氏 小田切氏 朴氏)



拡大する事業に対応できる
「一つひとつの工事の中身を見られる」
建設業会計ソフト。
クラウド環境で利用できる
『PCA建設業会計V.7』による効率化

株式会社 日本中央住販

昭和61年に設立した株式会社日本中央住販。同社が建築・販売するデザイナー住宅は大きな反響を呼び、その後個別分譲から街並み分譲へと事業を拡大。奈良県下に拠点を置く不動産会社の中で、売上高第一位となるなど着実に業績を伸ばしている。事業の拡大につれて会計ソフトも見直され、同社が選んだのが『PCA建設業会計V.7 クラウド』だ。さらに『PCA給与X』『PCA人事管理X』も導入し、業務の流れを効率化させている途中だ。PCA製品が事業拡大をどのように支援できているかを伺った。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL)

- ・ PCA 建設業会計 V.7 クラウド
- ・ PCA 給与 X クラウド
- ・ PCA 人事管理 X クラウド

導入の狙い

- ・複数の拠点から会計データを入力したい。
- ・1工事ごとの原価管理、収支管理を行いたい。
- ・人事管理や給与の処理についても効率化したい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって複数拠点の入力に加え、アウトソーシング事業者からの入力も実現。データもリアルタイムに共有でき、複数拠点で、全社の集計を可能に。
- ・『PCA建設業会計V.7クラウド』では、1現場ごとの原価管理や収支管理はもちろん、予算対比や原価要素での集計など、現場担当者が必要な情報が確認できるだけでなく、経理部で必要な工事情報もすぐに把握できる。
- ・『PCA人事管理X』によってコンプライアンスを順守した資格管理、『PCA給与X』でミスを極力軽減できる給与処理ができる。

プロフィール

株式会社 日本中央住販

- 所在地: (本社)〒630-8001 奈良県奈良市法華寺町70-1
(大阪本部)〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪 南館タワーA22階
(学園前本店)〒631-0044 奈良県奈良市藤ノ木台4-6-20
- 設立年月日: 昭和61年12月1日
- 従業員数: 227名
- 業務内容: ○新築一戸建て分譲事業／売買・仲介事業／賃貸事業
○注文住宅事業・建設業 ○室内装飾・家具・照明器具販売
○レストラン事業 ○雑貨販売店(aideco plus)運営
- URL: <http://home-ncj.co.jp/>

心豊か日本中央住販

住むだけで
しあわせに
なる家。





株式会社 日本中央住販
経営管理部 サブマネージャー
西川 大介 氏



株式会社 日本中央住販
経営管理部 主任
永井 あす香 氏



本社外観

導入前の運用と課題

○拡大する事業。複数の拠点で利用でき、さらに一つひとつの工事の中身を確認したい

平城京跡にほど近い奈良市の中央に本社を構える株式会社日本中央住販。新築一戸建ての分譲事業を始めとした仲介・賃貸などの不動産事業、さらにハウジング事業やリフォーム事業、レストラン事業など、多角的に家づくり・街づくりを行っている。奈良県内の不動産売上高ランキングで第1位となり、大阪本部をグランフロント大阪にオープンするなど、同社の“住むだけでしあわせになる家”は多くの施主から高い評価を受けてきた。その評価が実を結び、事業がどんどん拡大していくにつれて問題となってきたのが「建設会計の処理」だった。

「現場の数が増える中、会計の処理もさらにスムーズに効率よくしたいと考えていました。以前は別のメーカーの一般会計ソフトを使って処理していたのですが、現場ごとの収支を出すことや原価管理がしにくく“一つひとつの工事の中身を見たい”という視点で新しい会計ソフトを検討し始めました。さらに言えば、複数の拠点から全社の集計をスムーズに行いたいという希望もありました」(経営管理部 サブマネージャー 西川大介氏)

そこで建設業会計をクラウドで実行できるPCAに注目した。「正直に言えば、クラウドで建設業会計となると、他に選択肢がほとんどなかったというのも事実です。またいずれは人事管理ソフトや給与ソフトを連携させて、業務をよりスマートにしたいという思いもあり導入を決めました」(西川氏)

導入後の効果

○『PCAクラウド』によって会計入力をアウトソーシング事業者に一部委託

『PCA建設業会計V.7 クラウド』の導入によって、複数拠点から全社の集計をスムーズに行いたいという希望は実現できつつある。同社の場合は会計処理の一部をアウトソーシングに委託している。その業者とクラウドで繋がることで、入力は一スピーディーに効率化できている。

「最新のデータをリアルタイムで共有できることは大きな意味があると思っています。この導入によってクラウドの利便性を実感できました。未定ではありますが、今後は税理士の先生とのやり取りにもクラウドを利用することで、より安全で効率的な会計処理ができるのではないかと考えています」(西川氏)

○『PCA建設業会計V.7』の工事帳票で1件ごとの現場の収支をすぐに確認

「一つひとつの工事の中身を見たい」という点についても、以前使用していた会計ソフトでは把握するのに時間がかかっていた部分を、『PCA建設業会計V.7』ではすぐに知ることができるようになったと語る。

「一戸建ての分譲という事業の特性上、一度に多くの現場が動いています。以前は1件の現場の利益を確認する際に伝票を1枚1枚確認したり、補助元帳の数字からたどっていくしかありませんでした。しかし『PCA建設業会計V.7』ではそのような手間が一切必要ありません。帳票からすぐにわかるようになったからです」(西川氏)

『PCA建設業会計V.7』の工事帳票では工事原価を材料費や外注費、経費などの要素ごとに集計でき、さらにその数字を予算額と対比できる。また工事原価科目別集計表では工事原価を科目ごとに残存・発生・残高を集計でき、これも予算額と対比できる。工事別はもちろん、部門別や工

事担当者別に集計することもでき、「知りたい数字をはやく集計できるようになったことは大きなメリット」だと語る。

○未成工事・完成工事の振替入力が容易。会計知識があればすぐに操作できる

未成工事・完成工事の振替入力も便利な点だと評価されている。『PCA建設業会計V.7』では期中すべての取引を完成工事として仕訳している場合、決算時の未成工事分のみを完成工事から未成工事に振り返る仕訳方式となっている。翌期の未成工事から完成工事の振り替えも自動で行える。

また『PCA建設業会計V.7』の検索性の高さを活かして次のような使い方もしている。「科目名で検索できるのは便利ですね。コードを覚えるのには時間がかかりますが、勘定科目がわかっていたらかな検索で拾うことができます。当社はまだ『PCA建設業会計V.7』を導入してから日が浅く、

今も迷いつつ使用しているのが正直なところですが、検索しやすいため操作のしやすさは実感できています」(経営管理部 主任 永井あす香氏)

一方で土地の原価管理については、まだまだ改善の余地があると西川氏は語る。同社の場合、土地+住宅の販売が多く、土地の原価管理ができない点は使いづらい部分になるという。

「『PCA建設業会計V.7』は建設業向きにはとても適したソフトであることは間違いありません。クラウド環境でここまでできる建設業会計ソフトは、他にはないと思っています。しかし土地+住宅の販売は当社の大きな特色にもなる部分ですから、今後はなんとかここに対応できるように工夫して使っていける方法も考えています」(西川氏)

全体的に見て『PCA建設業会計V.7』は仕訳に不慣れな人でも、ある程度取り掛かりやすい面があると両氏の印象は一致している。



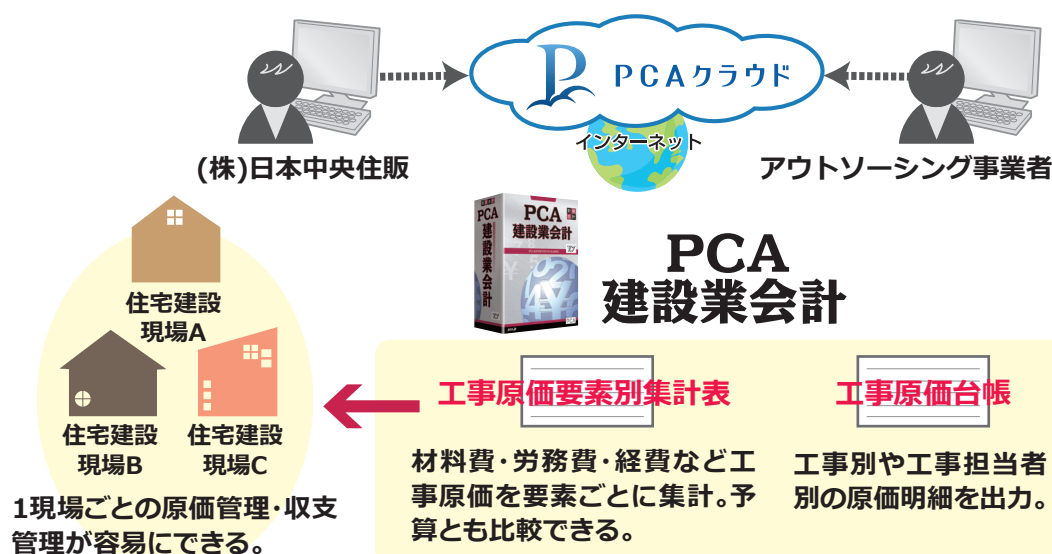
学園前本店外観



グランフロント大阪に、大阪支店をオープン。

システム概況図

『PCAクラウド』によって、アウトソーシング事業者とリアルタイムに最新データを共有。入力作業の効率化を実現。



「どんな会計ソフトでも、簿記的な知識がない人には最初はハードルがあると思います。ただしある程度の知識がある人なら、一度説明するとその後は難しくないのが『PCA建設業会計V.7』だと思います」(永井氏)

「建設業会計の難しいところは、一見すると一般会計の勘定科目と似ている部分があるものの、じつは違うという部分が少なくないことです。そこが複雑なため入力にはある程度の慣れが必要になりますが、だからこそ後からいろいろな建設帳票を出力できます。私たちもまだ導入して間もないため機能を確認しながら操作している最中ですが、慣れてくるとより効率的に利用できるだろうと期待しています」(西川氏)

○ミスを極力軽減できる機能によって、安心して業務を遂行

同社では『PCA建設業会計V.7』の導入に合わせて『PCA給与X』『PCA人事管理X』も、将来の連携を視野に導入した。『PCA給与X』についてはすでにメリットを実感している部分があるという。それは「極力ミスのない給与処理ができる点」だ。

「以前の給与ソフトでは毎月の繰り越し処理が必要で、もしこの処理を忘れてしまうと新しい給与データをインポートしたときに、前月の給与の記録が上書きされてしまい、過去のデータを参照できなくなる危険がありました。しかし『PCA給与X』は何月分の給与という表示ではなく、今年何回目の給与かという回数表示です。CSVデータをインポートする際に何回目の給与かを入力する必要があり、うっかりデータを消すという心配はありません。当社は

事業部によって支払日が異なるため、ミスが起こりにくい給与処理ができる点は大いに助かります」(永井氏)

使用する人がミスを起こしにくい機能については『PCA人事管理X』にもある。同社のように様々な職種や資格を持つ従業員を擁している場合は、その資格を管理する際に資格の有効期限が問われる場合もある。『PCA人事管理X』では資格の有効期限が近づいている場合はアラート機能によって知らせるため、企業のコンプライアンスにおいても適切な運用を行いやすい。

今後の展望と課題

導入して間もないため今後PCAソフトをどんどん活用していくことが当面の目標だと語る同社。

「不明点があるとよくサポートセンターを利用しています。待ち時間がほとんどなく繋がり、さらに疑問もその都度、解決できています。機能や操作についてもわかりやすく案内してもらい、なるほど、そういうことができるのかと発見することもあります。今後もサポートセンターを利用しながらPCAソフトをより活用していきたいです」(永井氏)

「『PCA建設業会計V.7』はデータを蓄積していったこ、あらためてその価値がわかると思います。来年度は前年度比較ができることで、経営分析にも役立てていこうと思います。来年度はさらに工事数も増えることが予想されます。PCA製品によってカバーできることを期待しています」(西川氏)



株式会社 日本中央住販 HP
http://home-ncj.co.jp/

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

クラウドAPI

『PCAクラウドAPI』を利用した
オリジナル帳票によって、新規の得意先も獲得。
自社の付加価値を高めるサービスを、
『PCAクラウド』によってコストを抑えて実現。

有限会社 三井・メディックス

有限会社三井・メディックスでは介護する人・受ける人の双方に向けたサービスを提供している。
在宅事業やグループホームの運営、医療・福祉に必要な物品提供など幅広い事業を行っている同
社が、「自社の付加価値を高めるために、『PCAクラウド』を利用して行ったサービス」がある。それ
によって実際に新たな顧客が生まれ、既存顧客からは同社への信頼をさらに厚くしている。『PCA
クラウド』のどんな部分を応用して、新たな顧客創出に成功したのか？同社の成功事例を伺った。

導入システム

○PCA クラウド プリペイドプラン (Type12 6CAL)

・PCA 商魂 X クラウド ・PCA 商管 X クラウド

○PCA クラウド API ※1

※ 1) : 『PCAクラウドAPI』により開発した、カスタマイズプログラムが利用できるサービスです。
2016年2月より、『PCA Client APIライセンス』に製品名称を変更させて頂いております。

導入の狙い

- ・自社サーバーでの運用は落雷など常にリスクがつきまとう。
- ・同社独自の集計表を、正確にスピーディーに出力したい。
- ・様々な介護の領域に広がる商品・サービスを確実に管理、分析したい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって落雷など自然災害によるサーバー停止が起
こらない環境に。複数台のパソコン利用で業務も効率化。
- ・『PCAクラウドAPI』を利用して独自のKPI集計表を作成。しかもほぼワン
クリックで出力可能に。顧客への提供頻度を半年に1回から毎月に改善。
- ・『PCA商魂X』『PCA商管X』の分析機能によって、今後の拡販商品を検
討。キャンペーン商品の売上伝票作成や未収金管理にも利用。

プロフィール

有限会社 三井・メディックス

- 本社所在地: 〒893-0027 鹿児島県鹿屋市上祓川町8469-1
- 資本金: 300万円
- 設立: 昭和63年11月15日
- 従業員数: 74名
- 事業部: メディカル事業部 / 売店事業部 / 施設事業部 / 在宅事業部 / 産廃事業部
- 業務内容: 医療機器・介護用品販売レンタル
- URL: <http://mitsui-medix.co.jp/>



本社外観

導入前の運用と課題

○落雷被害によって伝票入力がストップ。社内にサーバーを置くことのリスクを実感



有限会社 三井・メディックス
代表取締役専務
本高 健一 氏

有限会社三井・メディックスが扱う介護サービス、医療福祉商品は実に幅広い。医療福祉機器ではベッドやエアマット、介護用品などのレンタルや修理も請け負っている。介護保険や高齢者に適した住宅改修のプランニング、さらにはグループホームの運営や売店事業も展開。一方、在宅で介護サービスを受ける個人の顧客にも対応しており、同社を頼る病院や介護施設、そして高齢者の方などの利用者は相当な数にのぼる。

そのため1日に処理する伝票数もかなりの枚数になり、かつ事業が介護の様々な領域に広がるため、この複雑な販売管理事務を長年PCA製品で処理してきた。しかし従業員も増え、サーバーの更新時期も迫り、あらためてシステムを見直したという。

「これまでどおり自社サーバーを使って『PCA商魂X』『PCA商管X』を使い続ける場合には、2つの懸案がありました。まず1つはコスト面とメンテナンス面です。自社サーバーの場合、入れ替えだけでかなりの費用がかかってしまいます。当社は社内にシステム要員はいませんので、メンテナンスの対応だけでも大変です。そして2つめが、万が一の事態に備えた対応でした。実は以前、落雷の被害に遭い、業務がストップしたことがありました。当社は伝票枚数が多い日で1日に500枚。サーバーが使えないことによる被害はかなり大きくなります。そのため社内にサーバーを置くことのリスクをできるだけ避けたいと思っていました」(代表取締役専務 本高健一氏)

選定のポイント

○オンプレミスからクラウドにしても、PCAソフトの柔軟性は変わらない

当初は「社内にサーバーを置かず、安心してデータを守ることができ、かつメンテナンスの負担を軽減できるシステム」として検討された『PCAクラウド』だったが、同社にとってメリットのある特徴がいくつもあったという。まずは順調に業績を伸ばしている同社の拡大に合わせた運用ができる点だった。

「現在、本社と営業所をクラウドで結び、時間差のない正確な売上データを共有しています。もしVPNを引いて営業所とネットワーク化した場合では、結局営業所のサーバー管理が付いてきますが、『PCAクラウド』ならその心配はありません。そして何よりも便利に感じたのが、『PCAクラウド』ならどのパソコンにも『PCA商魂X』『PCA商管X』をインストールして使えることです。従業員がそれぞれのデスクのパソコンから入力できるため、夕方の伝票入力の作業は圧倒的に時間短縮できると考えました」(本高氏)

そしてこの『PCAクラウド』へのリプレイス時に、『PCAクラウドAPI』を利用したカスタマイズで集計・帳票作成が可能なこともわかった。

「オンプレミスからクラウドにしても、帳票作成のカスタマイズへの対応ができること。これも選定時の重要な決め手となり、その後、実際に大きな結果を生み出すことになりました」(本高氏)

導入後の効果

○自社だけでなくユーザーの経営改善に活かしてもらうための独自の売上集計表

現在、同社では『PCAクラウドAPI』を利用してカスタマイズした帳票作成機能によって、売上集計表を独自の設定で集計・出力している。それは病院や介護施設にとってKPI



有限会社 三井・メディックス
常務取締役
諏訪原 英明 氏

(主要業績評価指標)ともいえる 排泄コスト推移表だ。

「排泄コスト推移表とは、簡単にいえば介護用おむつをどれぐらい使用しているかの実績データです。当社のお客様である病院や介護施設が次年度の予算を組むときの参考にしたり、あるいは経費を見直す際にもおむつの発注に無駄はないか、あるいはもっと必要なのではないかなど、お客様の経営改善に活かしてもらえるデータです」(常務取締役 諏訪原英明氏)

同社ではこの排泄コスト推移表を以前から集計・出力していた。しかしこのデータを配布する先のお客様の数は約200箇所。当然、それぞれのお客様個別のデータを集計・出力する。以前はExcel®で入力していたためミスもあり、実際のデータとの照合にもかなりの時間をかけなければいけなかった。そのため得意先への配布・情報提供は半年に1回が精一杯だった。

「集計・出力にとっても手間のかかる排泄コスト推移表ですが、お客様からは大変好評でした。このような集計表をお客様に向けて提供している企業はおそらく少ないと思います。また当社の提供するデータが正確なため、信頼にも繋げていました。この排泄コスト推移表を『PCAクラウドAPI』を利用す

ることで、より効果的に集計・出力・配布できるようになったのです」(諏訪原氏)

○半年に1回の集計・配布から、1カ月に1回の集計・配布・情報提供に

以前は半年に1回しか集計・配布できなかった排泄コスト推移表だが、『PCAクラウドAPI』のカスタマイズ集計によって、現在は1カ月に1回の頻度で出力・配布している。お客様には毎月、情報提供できるようになり、お客様側にとって重要な指標のため大変喜ばれているという。同社の排泄コスト推移表では月次推移はもちろん、1袋に12枚入りの商品の場合には1枚ごとの利益も算出できるようにしている。同社にとっては得意先毎・商品区分毎に売上・仕入・粗利を確認でき、お客様側にとっては正確なおむつの使用数が月毎に確認でき、来年度の予算の目安にもでき、無駄も見直せる。

集計・出力の時間や工程数も大きく変わった。以前はExcel®への入力→事務スタッフのチェック→さらに各営業担当者のチェックと数段階の作業が必要だったが、現在は得意先コードと期間指定さえすれば、ほぼワンクリックで排泄コスト推移表を出力できる。



本社内の様子



倉庫内の様子

システム概況図

【メリット①】
『PCAクラウドAPI』(帳票作成)による
独自の売上集計表を設定・出力

- ・自社だけでなく顧客へも資料を提供し、経営改善のお手伝い。
- ・カスタマイズによって、ほぼワンクリックで出力が可能に。



資料提供



【メリット②】
『PCAクラウド』はサーバーレス

- ・雷害など自然災害による自社サーバーの心配が不要。



【メリット③】
『PCAクラウド』は同時接続ライセンス

- ・インストール台数制限なし。自社の全てのパソコンへ『PCAクラウド』をインストール可能。契約ライセンス数まで同時に伝票入力可能。

【メリット④】
『PCA商魂』『PCA商管』の豊富な分析機能活用

- ・販売計画や拡販商品を検討。キャンペーン商品や未収金管理にも利用。

PCA 商魂 X PCA 商管 X

「以前は事務スタッフと営業社員が2、3日かけてやっと1カ月分の集計ができていました。それを半年分でしたからね。しかし今は1カ月分の1件のデータを出すのにおそらく1分。100件分のお客様のデータを出すなら100分です。200件なら3時間少しあればよいわけです。さらに出力される数字は『PCA商魂X』『PCA商管X』からダイレクトに集計した数字ですからミスありません。この正確性が功を奏した場面もありました」(本高氏)

○正確な情報を提供できることの強み。新しい得意先を増やすことにも成功

ある得意先より同社の提供した排泄コスト推移のデータに間違いがあるのではないかと指摘されたことがあった。確認してみるとその得意先が集計した数字に漏れがあり、同社の提供した数字が正しいことが判明した。

「その得意先のご担当者様が、三井・メディックスはといったどうやって正確な数字を出しているのかとお聞きになり、『PCAクラウド』から出力しているとご説明しました。ちょうど『PCAクラウドAPI』のカスタマイズ機能を取り入れた翌月のことでした。おそらくここで当社の数字にミスがあったり、うやむやな対応を取ってしまったら、そのお得意様を失う結果になっていたかもしれません。正確な数字を自信を持ってご提供できることは大変価値があると思います」(諏訪原氏)

このような正確な実績データをサービスとして顧客に提供している同社の姿勢を評価して、新たに取り引きを始めた病院・介護施設もある。実際に得意先を増やすことに効果が出ている。

「この実績データの情報提供サービスは、当社の付加価値を高めるもので、なくてはならないサービスです。スピーディーな集計をしたくて自前のシステムも検討したぐらいですが、それを『PCAクラウド』のカスタマイズによってコストを抑えて実現できました」(本高氏)

今後の展望と課題

他にも同社では『PCA商魂X』『PCA商管X』の分析機能も活用しており、売上集計表や仕入集計表はもちろん、売上順位表では商品別に集計し今後の拡販商品の参考にしている。入金消し込み機能では回収予定額の確認、期間単価の登録ではキャンペーン商品の売上伝票作成など、積極的に『PCA商魂X』『PCA商管X』の機能を活用している。

「しかしまだまだ使いこなせている実感はありません。PCA九州営業所では『使いこなせセミナー』が開催されていると聞いたので、ちょっと詳しく見てみたいですね」(諏訪原氏)

同社が『PCAクラウド』のメリットを上手に活かして新規の顧客や信頼の確保に繋げているのは、やはり同社の「お客様を思う姿勢」が強かったからに他ならない。「当社が存在していることで、地域の人が安心して暮らしていけるように」(本高氏・諏訪原氏)を強く考え、販売店ではあるものの、売るだけの企業ではないことを常に心掛けている。

「今後もお客様にとって最高のサービスを提供していきたいと思います。当社の付加価値を高めるためにも、今後も『PCAクラウド』をうまく活用しながら、安心してこの地域で年齢を重ねていける人々が増えるよう努力していきたいです」(本高氏・諏訪原氏)



(有)三井・メディックス HP
http://mitsui-medix.co.jp/

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



クラウドAPI

業務を止めないためのサーバーレスという選択。
『PCAクラウド API』によって、
POSとの連携もスムーズに

株式会社 城川ファクトリー

愛媛県西予市の豊かな自然の中で、温泉療法を導入した保養宿泊施設の運営。さらに全国から引き合いがある大粒の特産の栗などの販売を手掛けている株式会社城川ファクトリー。長年使っていたサーバーの不具合に悩み、「業務がとまらない仕組みはないのか？」と考え、たどり着いたのが『PCAクラウド』だった。クラウド導入によって業務に確実な安心感が得られたと語る同社に、その効果を伺った。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type12 8CAL)

- ・PCA 商魂 X クラウド
- ・PCA 商管 X クラウド
- ・PCA 会計 X クラウド

○PCA クラウド API ※1

※ 1):『PCAクラウドAPI』により開発した、カスタマイズプログラムが利用できるサービスです。
『PCAクラウド』のみならず、パッケージ版にもご利用いただけます。

導入の狙い

- ・サーバー管理の負担をとにかく減らしたい。
- ・POSレジと連携させたい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』ならサーバーを置かないため管理は不要。
- ・『PCAクラウドAPI』の機能拡張によって、初期費用を抑えてPOSレジとの連携が可能。

プロフィール

株式会社 城川ファクトリー

- 本社: 〒797-1717 愛媛県西予市城川町下相1008-1
- 設立年月: 平成16年2月2日
- 資本金: 4,300万円
- 従業員数: 42名
- 主業種: 製造・小売
- 業務内容: 特産品販売(道の駅)/農産物加工/食肉加工
/温浴・宿泊施設運営/健康増進事業
- URL: <http://www.shirokawa.jp>

○道の駅・きなはい屋しろかわ

「奥伊予の城川和栗」の手作りお菓子や本場ドイツマイスター直伝の地豚を使用したベーコン・ソーセージ・ハムを販売しています。

○城川自然農場

城川自然農場では、良質の城川和栗や契約農家の有機柚子、その他農産物を鮮度の良い間に加工しています。

○城川自然牧場

本場ドイツマイスター直伝の地豚を使用したベーコン・ソーセージ・ハムを製造しています。

○クアテルメ宝泉坊

○宝泉坊ロッジ

愛媛県西予市城川町、温泉を利用した健康保養施設・宿泊施設です。



道の駅「きなはい屋しろかわ」外観
(西予市城川特産品センター)



株式会社 城川ファクトリー
事務経理課長
大久保 俊浩 氏



城川和栗を使った人気の栗饅頭、「想い栗」と「想われ栗」。

導入前の運用と課題

○サーバーの経年劣化による故障が頻繁に。業務の流れをとめない環境がほしい

株式会社城川ファクトリーは温泉施設、ロッジ、道の駅の他にも、特産品の大量の栗を使った和菓子や最高級の手作りハム・ベーコンの製造・販売など、愛媛県南予地方の豊かな自然を生かした様々な事業を展開している。各店舗は広大な西予市を中心に点在しているため、以前からERP基幹業務システム『PCA Dream21』とPOSレジとを連携させて、各店舗のスムーズな売上管理を行ってきた。しかし自社サーバーに付き物であるトラブルに直面することになった。

「サーバーの経年劣化によるトラブルです。ログが増えたことでどうしても重くなり、頻繁に故障するようになりました。サーバー管理は私一人で行っており、私で対処できない場合はメーカーから保守サービスの担当者と呼んでいました。徹夜でログの削除をして次の日稼働すればよいのですが、結局原因がわからずメーカーの担当者に連絡して直してもらうまで、業務が2、3日とまることもたびたびでした」(事務経理課長 大久保俊浩氏)

「私たちはシステムやサーバー管理のための特別な勉強をしたわけではありません。また、社内にシステム管理者を雇用するのも簡単な話ではありません。おそらく多くの中小企業も私たちと似た環境でサーバーを稼働させており、いざ故障した場合でも原因すらわからず困っているのが現状だと思います」(企画開発 村田博史氏)

サーバー故障による業務の停止は時間を無駄にするだけでなく、復旧までの紙処理の増加で結局余計な時間もかかってしまう。そこで「業務がとまらない仕組みさがし」が始まった。

選定のポイント

○『PCAクラウドAPI』での機能拡張によって、初期費用を抑えて希望のシステムを実現

システムの見直しの中ではPCA以外のメーカーも選択肢に加えられた。しかしPOSレジとの連携は絶対に外すことのできない条件だったと大久保氏は語る。

「POSレジとの連携ができて、かつサーバー管理の煩わしさから解放されることが一番の目的でした。そこでPCAのセミナーに参加したときに個別相談してみました。そのとき提案されたのが『PCAクラウド』でした」

大久保氏がシステムの見直しについて相談した時期は、ちょうど『PCAクラウドAPI』のサービスがスタートした時期。同社の場合は、大掛かりなカスタマイズをかけることなく、「サーバー管理から解放され、業務をとめるような事態も防げ、かつPOSレジとの連携ができる」という希望のシステムを、初期費用を抑えて実現できることがわかった。

「当初は独自のカスタマイズが必要かと思っていましたが、既に用意されている『PCAクラウドAPI』を使うことでPOSレジとの連携が容易だとわかりました。初期費用を抑えることができる点は、大きな決め手になりました」(大久保氏)

導入後の効果

○サーバー復旧作業ゼロに。『PCAクラウド』によって得られた安心感はじつに大きい

城川ファクトリーでは現在、全ての店舗・宿泊施設で『PCA商魂Xクラウド』『PCA商管Xクラウド』を利用した入力作業・売上管

理を行っており、そのメリットを実感しているという。まずは各店舗間をリアルタイムに繋ぐことで、各拠点の事業長が最新の数字を確認・共有できるようになった。

『PCAクラウド』を導入してからの約2年間。大きなトラブルもなくスムーズに利用していますが、現場の声として一番大きいのは、生のリアルなデータをすぐに自分の目で確認できるという点です」(大久保氏)

加えて、以前は一人でサーバー管理を行っていた大久保氏の負担も大きく軽減できたという。

「徹夜で泊まりこんでサーバーの復旧作業を行うことがなくなりました。今はサーバーレスですから、後はPCAに任せておけばよいだけです。当初、クラウド導入については、詳しい仕組みは当然よくわかりませんから少しの不安はありました。しかし自社内にサーバーを抱えておくことの方が、震災や火災などのリスクを考えると、結局、危険は大きいと思いました。一方で『PCAクラウド』なら、毎日サービス終了時点でバックアップされるPCAの安全なデータセンターがあり、しかもそのバックアップデータは、2カ所のデータセンターで複製して保管

されると聞きました。自社での日常的なバックアップ作業は必要ですが、データセンターに万が一のことがあっても、もう一方のデータセンターにバックアップが保存されているという安心感は大きいです」(大久保氏)

○スピーディーで精度の高い分析によって、迅速な経営判断の助けに

『PCA商魂Xクラウド』『PCA商管Xクラウド』『PCA会計Xクラウド』への切り替えによって、経営面や毎日の業務面でも効果が出ているという。同社では会議用の資料として『PCA会計Xクラウド』のデータをExcel®出力し、それを同社オリジナルの比較分析表に加工して経営分析に役立てている。

「このExcel®変換の機能はとても便利に利用しています。以前は紙のデータとして出力はできたので、その紙データを見比べていたのですが、やはり不便な点がありました。しかし今は集計されたデータがすでに画面上にあって、それを各事業長が入力・確認できます。以前なら転記の処理が

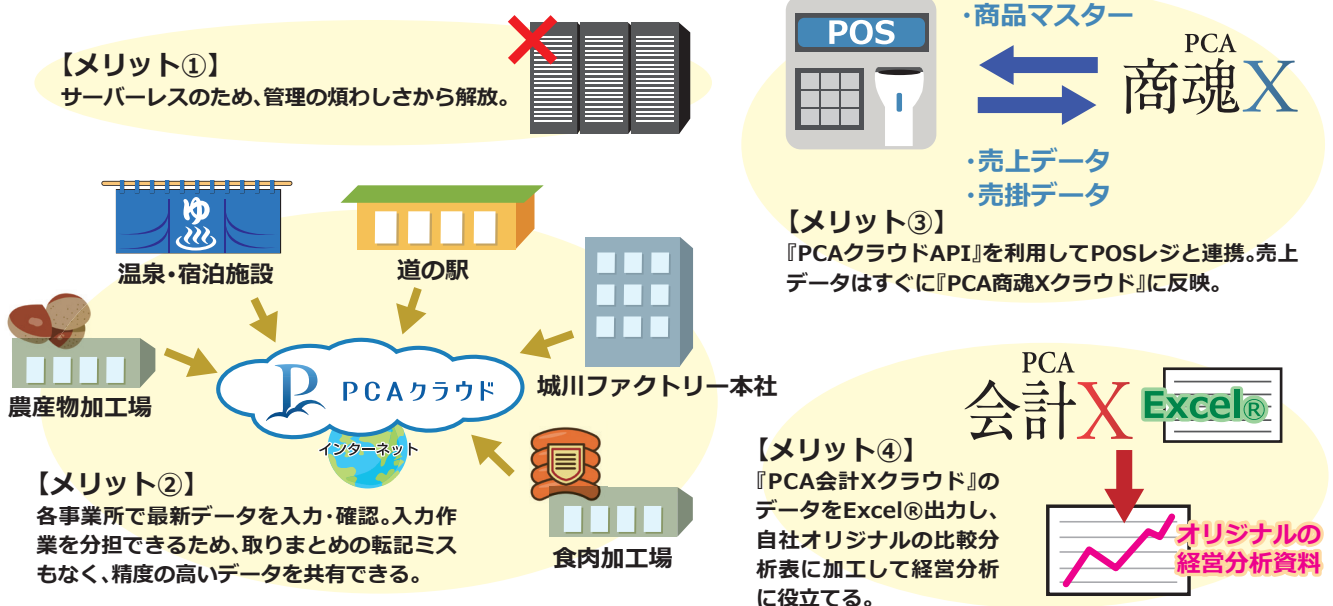


新鮮な地元農産物はもちろん、地元生産者の様々な農産物加工品を取り扱っています。



ドイツマイスター直伝の基本に忠実な技と愛媛県産の豚を使った「城川自然牧場産の手作りハム・ソーセージ」を販売しています。

システム概況図





店舗の皆さま。特産品である栗柄のシャツと、みかん色のエプロンが華やかです。



株式会社 城川ファクトリー HP
https://www.shirokawa.jp

※2)：「メニュー」-「販売管理」-「売上」内に、「送り状」機能として実装済みとなっています。

必要だったため、どんなに注意していてもやはり転記ミスは発生しました。今は入力作業そのものもクラウドによって分担でき、かつ転記ミスも防げます。そのため、スピーディーかつ精度の高い分析をしやすくなりました。売上データを確実にリアルタイムで知ることによって、経営判断もはやくなっていると感じています」(大久保氏)

○とにかく楽になった。安心して業務を行えるようになった

同社の場合、取り扱っている商品やサービスはじつに多種多様で幅広い。そこで役立っているのが『PCA商魂Xクラウド』『PCA商管Xクラウド』の検索性の高さだ。

「当社は取り扱っている商品がとにかく多いんです。そこでカタカナは必ず半角にするなどのルールを設定したり、自動仕訳に登録して毎月同じ言葉で入力できるようにしています。これによって確実に検索できるようにしています。当社は産地直送の商品も豊富にあり、産直の現場ではPOSレジによって『PCA商魂Xクラウド』『PCA商管Xクラウド』の商品マスターをそのまま飛ばしているの、現場では特に面倒な入力作業などもありません」(大久保氏)

今回のシステムの見直しによって、「とにかく楽になった。安心して業務を遂行できるようになった」と語る同社。一方で、人気の商品を抱える企業として、検討していきたい部分もあるという。

「何とかしたいと思っていることのひとつが、商品の発送業務を今よりもシンプルにしたいことです。その方法として送り状をそのまま出力できる機能があるといいですね。※2 特に産直の現場ではそれができると業務の負担が大きく減ると思っています」(村田氏)

「やはり繁忙期になると入力作業が深夜に及ぶこともあります。クラウドの稼働時間が長くなったと聞きましたが、できればもう少し長くしてもらえると助かります。また総勘定元帳を年度が違うものを同時に見られる機能も欲しいですね。じつは以前、別のメーカーとPCAのソフトを併用していた時期があり、2台のパソコンを開いて見比べながら作業していたのですが、これが意外と便利だったんです。職場のPC環境はそれぞれ異なるでしょうが、大きめのモニターや複数台の使用を考えた機能があるといいですね」(大久保氏)

今後の展望と課題

PCA製品をうまく活用して実際に業務の効率化を実現している同社だが、今後はさらにIT化を進めていきたいと語る。

「勤怠管理などのIT化を進めたいと思う一方、やはりコスト面も気になります。またPCAソフトを100%フル活用しているわけでもありません。使いたいところだけ使えばよいという考え方もありますが、スマートフォンと同じで、いざ新しい機能を使ってみたら驚くほど便利だったということもあります。まずはサーバー管理からの解放という希望は実現できたので、今後より使いやすい環境を考えていきたいです」(村田氏)

人気が高まる産地直送の新鮮な農産物の販売や、運動療法を取り入れた健康保養施設の運営など、城川ファクトリーの事業には今後も注目が集まる。業務の負担を軽減できるPCA製品への期待は大きい。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



有名ホテル・サービス企業が
選んだクラウドサービス。

各店舗の売上を経営トップが”どこでも確認”

株式会社 呉竹荘

ホテル、レストラン事業からブライダル・バンケットまで幅広く事業を展開している株式会社 呉竹荘。業績を右肩上がりに伸ばしており、従業員数も 520 名を超える一大サービス企業だ。各ホテルやレストランは東海エリアに点在しており、これだけの規模を誇る呉竹荘にとって、毎日の会計処理は非常に負荷のかかる作業だった。それを解決するために導入されたのが『PCA クラウド』だ。いち早く導入されたクラウドがどのような効果をもたらしているのかを探った。

導入システム

・ PCA 会計 9V.2 for SaaS (12CAL)

導入の狙い

- ・ 事業拡大に伴い、本社での会計入力処理が困難になってきていたため、この負担を軽減したい。
- ・ サーバー導入にはコストがかかるが、なるべく低予算で業務改善したい。
- ・ 多数のホテルやレストランの売上をこまめに把握したい。

導入効果

- ・ クラウドによって本社での作業が会計データのチェックだけになった。
- ・ クラウドならサーバーの設置や VPN 網の整備は不要のため、初期費用を抑えることができた。
- ・ クラウドによって売上の概算を翌日には確認できるようになった。

プロフィール

株式会社 呉竹荘

- 所在地：〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場 1-1-26
- 従業員数：520 名(パート・アルバイト含む)
- 創業：昭和 23 年(西暦 1948 年)10 月
- 資本金：4,000 万円
- 事業内容：会食、婚礼、宿泊、外食サービス
- 企業 URL：http://www.villa-kuretake.co.jp/

【KURETAKE GROUP】

- ・ 株式会社 呉竹荘
- ・ 株式会社 KTS アセットマネジメント (ハミルトンホテル RED&BLACK)
- ・ 株式会社 KTS ホスピタリティ (掛川グランドホテル) (浜名湖弁天リゾートジョーシャン)
- ・ 株式会社 KTS オペレーション (沼津リバーサイドホテル)
- ・ 株式会社蒲郡クラシックホテル (蒲郡クラシックホテル)

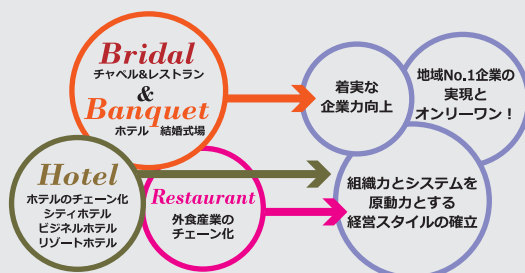
TEAM FOR GUEST

お客様の喜び・感動がスタッフの喜びであり、最高の感動を生みだす！

「KURETAKE'S HAPPY をみんなで作ろう！」

呉竹荘グループにお越しいただいたお客様に最高の HAPPY を提供する事が、呉竹荘グループのスタッフに与えられた最大のミッションである。

お客様の喜び・感動を我々も共有しよう！



KURETAKESO(呉竹荘)



株式会社 呉竹荘
業務課総務
高橋 崇 氏

※1) 2012年10月に、『PCA for SaaS』
から『PCAクラウド』へ名称を変更
いたしました。



[HOTEL]
くれたけインプレミアム静岡
JR静岡駅前 H26年OPEN予定

導入前の運用と課題

○PCA 会計 EasyNetwork 版 による会計処理

株式会社呉竹荘では、クラウド導入前『PCA 会計 EasyNetwork 版』を利用して会計処理を行っていた。『PCA 会計 EasyNetwork 版』は、サーバーを使わずに2台のパソコンのうち1台をホストPCとしてデータを保管。もう1台をクライアントPCとしてデータをやり取りする仕組みだ。呉竹荘でも本社で2台のパソコンを用い、2人が同時に入力する作業を行っていたが、年々ホテルやレストランの数が倍増。総売上・営業利益が右肩上がりで伸びる中、会計業務の処理はかなりの負担になっていた。

「以前は毎日の支出入の報告を、各店舗からFAXで受けていました。1店舗についてFAX用紙1～2枚。それを本社で2人のスタッフが入力していくわけですが、店舗数も増え毎日膨大な量进行处理しており、正直、他の事務作業にも支障が出ているような状態でした。作業の流れの非効率さも気になっていました。まず各店舗でExcel®で会計データを入力します。それを紙に出力してFAXで本社に送り、本社スタッフがそれをまた入力する。これ

では二度手間ですしミスも発生しやすくなります。そんなときに“クラウド”を知ったのです」(総務室長 高橋崇氏)

導入のきっかけ

○他社に先駆けていち早くクラウドを導入

同社が『PCA クラウド (旧名 : PCA for SaaS)』※1を導入したのは2009年。現在ほどクラウドが普及しておらず、PCAでもクラウドサービスを開始したばかりの時期だ。当時、高橋氏は本支店間の会計業務をスムーズに行うには、やはりサーバーや専用線、あるいはVPN網の整備を行うしかないのだろうか検討したという。

「ただしサーバーを持つ場合、導入費用が高くメンテナンスのコストもかかります。またサーバーは落ちたらおしまいです。そのため自社管理には限界があり、リスクもあるので何か良い方法はないものかと思っていたところ、インターネットで“クラウドサービス”を知りました。PCAさんも始めないのだろうかと思っていたところ、『PCA クラウド』が登場したのです」

クラウド導入に際し、当初はデータの遅延が気になっていたそ

うだが、その点は問題なかったそう
うだ。「クラウドは全店舗・全支社
一気にスタートさせた方がよい
だろうと考えていました。現場
からの疑問点や不具合なども一
気に把握・解決できますからね。
一応テストもしましたが、約 1
ヶ月で全店舗・全支社で使用で
きる環境になりました。この点は
PCA さんに非常に頑張ってもら
ったと思っています」

導入後のメリット

○点在する店舗の売上を“どこでも確認できる”

導入にあたり、他社のクラウド
会計サービスとも比較したが、現
場の経理担当者からは PCA を推
す声が強かったという。「他社の
会計ソフトでは仕訳の際、勘定科
目を 1 対 1 にしなければならな
いものもあります。ただし私ども
のようなホテル業はそれでは十
分ではありません。その点 PCA
は 1 対複数の科目が設定できま
すからね」

効率化という点でも大きな効
果があった。「まず業務の無駄が
解消できたことです。各店舗や各
支社での会計の入力量はそんなに
多くありません。それをコツコ
ツ入力してもらえれば、本社はそ
れをチェックするのみ。実際、業

務時間にゆとりが生まれ、その分
他の業務を行えます」

各店舗や支社の売上の概算を
把握しやすくなった点も大きい
という。「弊社は東海エリア全域
にホテルやレストランが点在し
ています。以前はそれらの売上を
確認するのに日数を要しましたが、
クラウド導入後は本社でも各
支社でもその日の売上の概算を
掴むことができます。経営者が売
上の概算を“どこでも確認でき
る”という点は、弊社のような規
模の企業には非常に大きな意味
を持つと思います。各店舗や支社
での入力については一定の制限
を設けており、一方的な修正はで
きないようにしており、会計デー
タが壊れないようセキュリティ
もかけています」

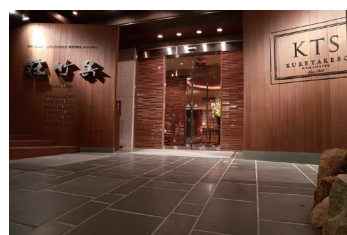
もう 1 点、『PCA クラウド』の
良さで付け加えておきたいのは、
「PCA さんはダウン※2 するこ
とが少ないこと」と高橋氏は語
る。「じつは一度、クラウドシス
テムがダウンしたことがありまし
た。その際 PCA の担当者の方が
すぐに対応してくださいました。
とても一生懸命に動いてくださ
って、そのときの対応力を見て、
改めて信頼感が強まった一件で
した」

今後の課題と展望



KTS
KURETAKESO (呉竹荘)

浜松では「KURETAKESO」の存在や流
行に敏感な結婚式は、これまで1万9千組
ものカップルに選ばれました。これから
も、思い描く結婚式を提供し続けていき
ます。



KURETAKESO(呉竹荘) 正面玄関

※2)『PCAクラウド』は、サーバー稼働率
99.9995%を実現しています。
(2011年 5月 30日～2012年 5月
29日の稼働率)

○365日 24時間営業のホテル業向けサービスに期待

『PCA クラウド会計システム』について、概ね高い評価を与えている高橋氏だが、ホテル業・サービス業ならではの注文もあるそうだ。

「私どもは 365 日 24 時間営業です。夜、クラウドを使って入力したいケースがあるのですが、メンテナンス時間にかかってしまい作業できないのが難点ですね。クラウドサービスを提供しているところは、いずれもメンテナンス時間をとりますが、その点はもっと時間を短くするなどの工夫をお願いしたいです。なお私自身は直接会計データを入力しているわけではないのですが、クラウドシステムとしての会計ソフトのクオリティは、やはり PCA さんは高いと思っています。なお販売管理についてはホテル業に特化した専用ソフトを使っております。メンテナンス時間も含め、ホテル業向けにもっと便利なクラウド会計システム、クラウド販売管理システムを期待しています」

○経営トップの先見性と判断力

いち早くクラウドサービスを導入し、その効果が形となって現れている呉竹荘。個人消費が伸び悩む中でも着実に営業利益を生みだし、人気ホテルウェディングの上位にランキングされるなど、経営には「先見性」というキーワードがあてはまるようだ。今回のクラウド導入についても代表取締役社長である山下智司氏の判断とパワーが大きかったと高橋氏は語る。呉竹荘では今年も新しいホテルのオープンを控えており、各店舗・支社と本社を結ぶクラウドサービスの価値はさらに高まりそうだ。



KURETAKESO ホテルウェディング HP
<http://www.kuretake.jp/>



KURETAKESO HP
<http://www.villa-kuretake.co.jp/>

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。

2014.10.01



9カ所の営業拠点から
同時接続で会計処理が可能に。
スムーズな移行を優先した
会計システムの選定

株式会社 トヨタツーリストインターナショナル

株式会社トヨタツーリストインターナショナルは、トヨタグループ各社の海外出張の手配やプラン提案を中心に事業を展開している。愛知県内のトヨタグループ各施設内だけでなく、東京・大阪にもネットワークを持つ同社では、長年 PCA ソフトを利用してきた。2011 年に『PCA 会計』のクラウド版を導入。9カ所の拠点から同時接続しても、問題なく安定した会計処理が行われている。利便性はもちろんだが「経理に不慣れなスタッフでも問題なく利用できること」で選ばれた会計システムの運用状況を伺った。

導入システム

・ PCA 会計 9V.2R7 for SaaS (12CAL)

導入の狙い

- ・『PCA 会計 8』の保守サービス期限が近づき、新しい会計システムが必要。
- ・基幹システム(旅行業に特化した販売管理システム)と相性が良い会計システムが必要。
- ・新システム導入についてコストはできるだけ抑えたい。
- ・自社サーバーの場合は、セキュリティ対策やメンテナンスも必要で、これらをカットしたい。
- ・自社サーバーが劣化し、回線が不安定になってきた。

導入効果

- ・『PCA 会計 8』と『PCA 会計 9V.2R7』は、操作性がほぼ同じ。会計に不慣れな従業員でも以前と変わらずに入力できる。
- ・『PCA 会計 9V.2R7』なら『PCA 会計 8』からのデータ移行もスムーズで、基幹システムとも不具合なく利用できる。
- ・『PCA クラウド』は初期費用がほとんどかからず、サーバーのセキュリティ管理やメンテナンスも不要。また、旧システムの 25CAL と比べ、『PCA クラウド』の同時使用ライセンスなら 12CAL で対応可能、さらに月額利用料に保守費用が含まれており、大幅なコストダウンにつながった。
- ・『PCA クラウド』のシステムダウンは皆無で、安定感がある。

プロフィール

株式会社トヨタツーリストインターナショナル

- 所在地(本社 / 名古屋支店) :
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-23-36 NBN 泉ビル
- 設立 : 昭和 48 年 1 月 22 日
- 資本金 : 授權資本 48,000 万円 / 払込資本 12,000 万円
- 企業 URL : <http://www.toyotatourist.co.jp/>

□営業種目 :

- ・各国航空会社の公認代理店および船舶会社の代理店
- ・旅行計画立案
- ・海外渡航の相談、斡旋、渡航手続きの代理、渡航書の作成
- ・海外観光手配添乗
- ・国内旅行の相談、斡旋、旅館・ホテル・運輸機関の予約
- ・各種事業への投資
- ・航空座席・船室の予約
- ・航空券発行
- ・損害保険の代理
- ・両替商
- ・その他、前述に付随または関連する業務

導入前の運用と課題

○第一条件はコストパフォーマンス、第二条件は以前と変わらない使いやすさ

※ 2012年 10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



(株)トヨタツーストインターナショナル
総務部 経理課 課長
川原 伸夫 氏

株式会社トヨタツーストインターナショナルでは、現在『PCA 会計 9V.2R7』が使用されているが、その前の『PCA 会計 8』、さらに『PCA 会計 2000』と 10 年以上にわたって『PCA 会計』で会計処理が行われてきた。PCA 以外の会計ソフトの利用経験があるという同社総務部経理課 担当課長 川原伸夫氏も「PCA ソフトは概ね使いやすい」という印象を持っているそうだ。

以前同社で使用していた『PCA 会計 8』には特に不満などはなかったそうだが、PCA がこの製品のメンテナンス・サポートを終了することになり、新しい会計システムの選定を行うことになった。

新しい会計ソフトを選ぶにあたって、次のようなポイントを判断基準にしたという。「まず重視したのはコストです。当時はまだリーマンショックの影響が残っていた頃で、経営陣からもコストダウンを求められている時期でした。そのため正直、新しいシステムを導入することはなかなか言い出しづらい状況だったのですが、『PCA 会計 8』のメンテナンス・サポートが終了するわけですから、迷っているわけにはいきません。そこでコストパフォーマンスを第一の条件にしました。第二の条件としては今までと違和感なく、スムーズに使用できるソフトです。なぜなら弊社は各地に営業拠点を持っていま

すが、そこで会計データを入力している従業員は、全員が経理に詳しい者ではありません。営業事務が主な業務ですから、そのような従業員たちでも問題なく使えることも大事なポイントでした」(川原氏)

○セキュリティ管理の不安をクリアし導入へ

そこで川原氏が検討したのが『PCA クラウド』を利用した会計処理だ。サーバーメンテナンスにかかる費用が不要である点などコストの比較表などを作成し、上司へ報告したのだが、セキュリティに関する疑問が出てきたという。

「クラウドを利用することで情報漏洩の心配、またバックアップの問題について不安が寄せられました。しかし PCA の担当者の方から、自社とデータセンター間の通信は暗号化されて保護され(SSL 暗号化)、また、大手回線業者の信頼のネットワーク回線で、24 時間 365 日体制での厳重なセキュリティだとお聞きました。そもそも自社にサーバーを置いたとしても、情報漏洩などのリスクはありますからね。データについては弊社でも定期的に独自にバックアップを取ることにしており、セキュリティについては問題なく運用しています」(川原氏)

2011 年 10 月に初期テストが行われ、2012 年 1 月から使用者や各種設定の準備を開始。同年 2、3 月から並行稼働を始め、4 月に本稼働となった。

導入後の効果

○システムダウンはなし。『PCA クラウド』の安定感

『PCA クラウド』を本稼働させて約 1 年。クラウドの利便性はどのように実感されているのだろうか？

「実をいうと大幅に激変した点はあまりありません。しかしこれは私どもが一番求めていたことなのです。『現場の従業員が今までと同じように使えること。入力に戸惑うことなく使用できること』を優先したわけですから。『PCA 会計 8』と『PCA 会計 9V.2R7』の操作性はほぼ同じです。入力画面や帳票類も以前とほぼ変わらず使え、本社から各支店へわざわざ指導に行く手間や時間も必要ありませんでした。なお弊社では旅行業専門の販売管理システムを導入しており、そのシステムとの相性の良さを重視して、あえて最新版の『PCA 会計 X』よりも『PCA 会計 9V.2R7』を選択した事情もあります」(川原氏)

なおクラウドならではの“安定性”には非常に満足していると語る。「以前は本社から離れた場所にデータセンターを借り、そこにサーバーを置きリモートコントロールしていました。しかしサーバーの使用年数が経つほどに動作が不安定になってしまい、業務の最中にサーバーがダウンしてしまうことがありました。復旧作業は本社で行うわけですが、各支店からは問い合わせの連絡が入り、その対応に追われることもありました。しかし『PCA クラウド』導入後は、このような状況は一度もありません。1 年間使ってきましたが、システムがダウンしたことは一切なく、安定した環境の中で使えています」(川原氏)

同社では『PCA クラウド』によって 9 カ所もの拠点が繋がっており、9 カ所から同時接続して会計処理を行うことが可能だ。入力の処理スピードに関しても、以前に比べて特段遅くなったと感じるレベルではないそうだ。「私自身



本社/名古屋支店にて撮影

システム概況図

(クラウド導入前)
『PCA 会計 8』

2011 年 4 月から
クラウドへ全面移行

《主に使用する機能》

- 振替入力 ○仕訳検索修正 ○仕訳帳
- 合計残高試算表 ○損益計算書 ○貸借対照表

《PCA 会計 9V.2R7 を選んだポイント》

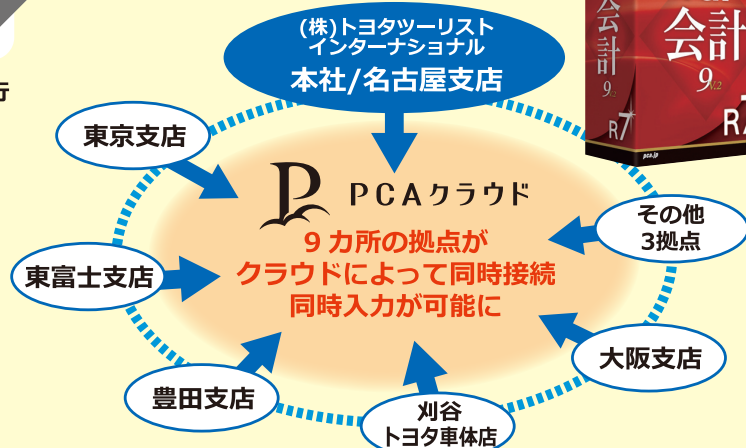
- PCA 会計 8 とほぼ操作性が変わらない
- 販売管理システム(旅行業専門)との相性を重視

《PCA 会計としての利点》

- Excel® データへの貼り付け・データ抽出
- CSV データとして利用しやすい



【クラウド導入後】
『PCA 会計 9V.2R7 for SaaS』



**(株)トヨタツーリストインターナショナル
About Us**

当社は、主にトヨタグループ各社の海外への業務出張を中心に扱う会社です。

東京、名古屋、大阪、豊田他、海外にもネットワークを持ち、信頼して頂けるサービスの提供を心がけています。

海外業務渡航以外の分野では、海外、国内の団体旅行(MICE※、観光旅行、インバウンド旅行等)に関わる、目的に応じた企画提案、旅行提案、手配業務、個人旅行、パッケージ旅行の販売も行う多角的な会社です。

※MICEとは、Meeting(会議)、Incentive Travel(報奨 研修旅行)、Convention(大会 国際会議)、Event/Exhibition(イベント、展示会、見本市)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。



(株)トヨタツーリストインターナショナル HP
<http://www.toyotatourist.co.jp/>

の業務の中では、以前の処理スピードとの違いを感じることはありますが、現場レベルではほぼ遅延などは感じることなく使用できています」(川原氏)

以前、同社では PCA の保守サービスに加入していなかったため、一部有償でのメンテナンスだったが、『PCA クラウド』には月額利用料に保守費用も含まれている。コストダウンという点ではその点も評価できるそうだ。

○Excel® への貼り付けも簡単。CSV データにも落としやすい

同社でよく利用されている会計機能としては、データ入力では振替伝票入力や仕訳検索修正、日常の帳票では仕訳帳や合計残高試算表が主に使われている。

「弊社はトヨタグループの一員ということもあり、経営分析などにはあらかじめ定められたフォーマットに則った会計データを作成しています。そのため PCA の会計ソフトでは先ほどあげた機能や、損益計算書・貸借対照表の作成などがメインです。しかしここに PCA の会計ソフトの特性がうまく活かしていると感じています。『PCA 会計』はデータを Excel® へ貼り付けたり、あるいは Excel® からデータを拾うことが簡単にできます。用紙に出力するような感じで Excel® データを出力したり、PDF ファイルを作成する

ことも可能です。弊社の場合は先述したようにあらかじめ固定化された帳票類も多いですから、CSV データに落としやすいことは会計ソフトを選ぶにあたっての必須の条件でした」(川原氏)

今後の課題と展望

○販売管理システムとの連携が今後の課題

同社ではトヨタグループ以外の企業の出張手配なども請け負っている。また個人旅行なども販売している。最近の個人消費の回復や景気への期待感の高まりによって、同社では昨年よりも多忙な業務が続いているそうだ。

「業務が忙しくなると、また改めてクラウドや会計ソフトのメリットやデメリットが見えてくるのでしょうか、現状で一番お願いしたいことといえばサポートセンターの受付時間を延長してもらおうことでしょうか。4 月からは受付時間が延びると聞きましたので、その点は期待したいと思います。ちょうど今、販売管理システムの更新の時期を迎えており、まだ具体的なことはわからないのですが、『PCA 会計』と販売管理システムを、どう連携させていけるかが今後の課題になりそうです」(川原氏)



合併後 4 社の会計・給与システムをクラウドで統一。
万が一の場合にも対応できる
バックアップ体制

株式会社 毎日ビルディング

2005 年 4 月に 4 つの会社が合併して誕生した「株式会社毎日ビルディング」。東京・大阪・九州・名古屋のいずれも一等地の不動産を管理し、システム環境の整備にも熱心に取り組んできた企業だ。PCAのクラウドサービスによって会計処理の便利さを実感。現在は給与でも『PCAクラウド』を利用している。俯瞰的な視野から“クラウド力とは、つまり PCA 力”と語る同社。企業の中でクラウドがもたらす意味、そしてクラウドに対する期待がよくわかるレポートとなった。

導入システム

・ PCA 会計 9V.2R7 for SaaS (8CAL) ・ PCA 給与 9V.2R7 for SaaS (8CAL)

導入の狙い

- ・ サーバーの故障が頻繁で、買い換えには数百万必要ことが判明。この費用を抑えたい。
- ・ 各支社がそれぞれに納得できる形で新システムを導入したい。
- ・ 『PCA 会計 with SQL(10CAL)』では、購入 CAL 数までしかインストールできないので、利用できる担当者が限られてしまう。
- ・ 会計や給与計算において不正が発生しない仕組みにしたい。

導入効果

- ・ クラウドのためサーバーの購入費や保守費は不要。
- ・ 万が一のローカル運用が可能で、クラウドへの不安を解消。
- ・ 『PCA クラウド』はインストール台数に制限がなく、契約 CAL 数より多くの人数分インストールしておくことができ、作業効率が良い。(同時利用は契約 CAL 数まで)
- ・ クラウドによって情報をオープンにすることで不正も防止できる。

プロフィール

株式会社 毎日ビルディング

□所在地：

本 社 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5 毎日インテシオ 4 階
西部支社 〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町 13-1
中部支社 〒450-6210 名古屋市中村区名駅 4-7-1
ミッドランドスクエア 豊田・毎日ビル 10 階

□従業員数：155 名

□設立：1963(昭和 38)年 11 月

□資本金：5000 万円

□事業内容：貸しビルの管理、駐車場の管理、建築物及び設備機器の保守管理、総合警備保障業務など

□企業 URL：http://mai-b.co.jp/

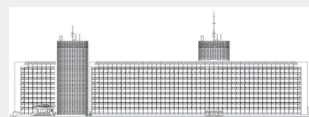
【沿革】

当社は株式会社毎日新聞社のグループ会社で、不動産の管理・運営を主とする会社です。

(株)パレスサイド・ビルディング(東京)、(株)毎日大阪会館、(株)毎日西部会館(北九州)、(株)毎日名古屋会館の 4 社が 2005 年 4 月に合併して新発足しました。

【パレスサイドビル】

(株)パレスサイド・ビルディングは東京オリンピック開催 1 年前の 1963 年 11 月に設立され、皇居に面したパレスサイドビルは 1966 年 10 月 1 日に開館しました。ビルは毎日新聞社東京本社をはじめ、オフィス、店舗、郵便局などが入り、駐車場(300 台収容)も併設する複合ビルで、一日の在館人口は約 6000 人です。また日本建築学会の「近代主義建築 20 選」に選定されるなど、日本の近代建築を象徴する建物です。



※1) 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



本社内にて撮影



取材にご協力いただいた皆様

後列左：
株式会社 毎日ビルディング
総務部 課長 中村 秀洋 氏

後列中央：
株式会社 毎日ビルディング
執行役員 経理担当 総務部長 守屋 清志 氏

後列右：
株式会社 毎日ビルディング
総務部 副部長 冷川 恭子 氏

前列左：
株式会社 毎日ビルディング
総務部 伊藤 貴子 氏

前列右：
株式会社 毎日ビルディング
総務部 加賀屋 幸子 氏

導入前の運用と課題

○各支社が納得できる形でのシステム統一

毎日ビルディングが『PCA 会計クラウド※1』、そして『PCA 給与クラウド※1』の導入を決めた背景には、同社の合併の歴史が大きく影響している。以前は東京・大阪・九州・名古屋と4つの地区でそれぞれが独自に不動産事業を展開していたが、2005年4月に合併した。

「当初は会計も労務管理も4社がそれぞれ処理していました。しかしこれは本来の合併の意味に添わない状態であり、無駄もあります。合併後の決算処理への対応も必要となるわけで、4つの会社がそれぞれに納得できる形で統一していく必要がありました。その中で総務部副部長の冷川が中心になって『PCA 会計』を選定し、各支社の担当者に説明して回りました」（執行役員 経理担当 総務部長 守屋清志氏）

合併時には『PCA 会計8 with SQL 10 クライアント』が導入され、非常に便利に使えていたという。「会計ソフトそのものは大変便利でしたが、クライアント数が決まっているのがネックでした。例えば、冷川が使用しているときは私は見ることができず、その間の判断が止まることになります。またサーバー自体も古くなりトラブルを抱えるようになりました」（守屋氏）

「ちょうどそのときに PCA の営業担当者から “ クラウドなら解決できるかもしれません ” と聞いたんです。クラウドという概念については弊社の総務部 課長 中村も詳しく、サーバーのストレスが消えるのならうれしいと検討を始めました。合併時に『PCA 会計8 with SQL 10 クライアント』を導入したときも各支社を回って説明を行ったのですが、今回もクラウドについては各支社を回り、様々な不安も抽出してきました。それらの声には中村が対応し、2012年2月に東京で体験版を使用。3月から各支社でも体験版を始め、4月からは本稼働という、とてもスピーディーな移行ができました」（総務部 副部長 冷川恭子氏）

導入後の効果

○もはや独自の作り込みソフトは要らない時代に

会計システムをクラウドにしたことで、まずはサーバーメンテナンスの煩わしさが解消できたことが大きいと語る同社。保守費用がかからないためコストも削減できる。当初サーバー買い換えも検討したそうだが、数百万の費用が必要だった。その費用がゼロ円になったのは非常に大きなメリットだという。

またクラウドならではの “ 複数の者が同時に同じ情報を確認できる ” ことも魅力で、「各社で何がど

のように処理されているのかを確認できる状況は、たいへん有効です。」(守屋氏)

クラウド導入前から PCA の会計ソフトを使用してきたため、作業はほとんど以前と変わらず行える。入力の処理スピードも問題なく、主に伝票入力・仕訳帳・日計表・現預金管理表などが使われているが、いずれもわかりやすく入力しやすいそうだ。このような会計ソフトの便利さが認められ『PCA 給与 クラウド』も導入された。

「給与もクラウドにしたことで非常に便利です。特に便利さを実感するのは給与の振込データの処理です。インターネットバンキングのデータをいったん取り込んでしまえば、その後手入力の必要がありません。データをそのまま吸い上げてもらえるわけですから、ミスがないのが安心です。また税率や社会保険料

の変動があった場合には、サポートサービスの「メール配信サービス」で教えてもらえますし、リビジョンアップなどの対応も迅速なので、便利で助かっています」(冷川氏)

「今回改めて感じたのが、もはや“自社独自の作り込みソフトである必要はない”という点です。弊社は毎日新聞社のグループ会社であり、毎日新聞社のような規模を誇る大企業の多くは、自社で作り込んだ独自のシステムやソフトを使うことが多いです。しかしパソコンの進化、記憶容量の増大、ネット環境の改善、そしてクラウドの登場など様々な要因が合わさって、汎用性を目的にしたソフトでも十分に対応できる時代になったのではないのでしょうか。今後の企業はシステム環境に以前のような大きな資源を振り分ける必要は減るのかもしれないね」(守屋氏)

<パレスサイドビルについて>



【パレスサイドビル】

皇居の松の緑、石垣、お濠などの環境に調和し、都心の一角に豊かな潤いを与えています。高さ50mの東西2本の白い円筒コアが鮮烈な印象を与えています。これに東西全長約200mのビルの巨体が配置され、デザイン構成は高尚な落ち着きをかもしだしています。



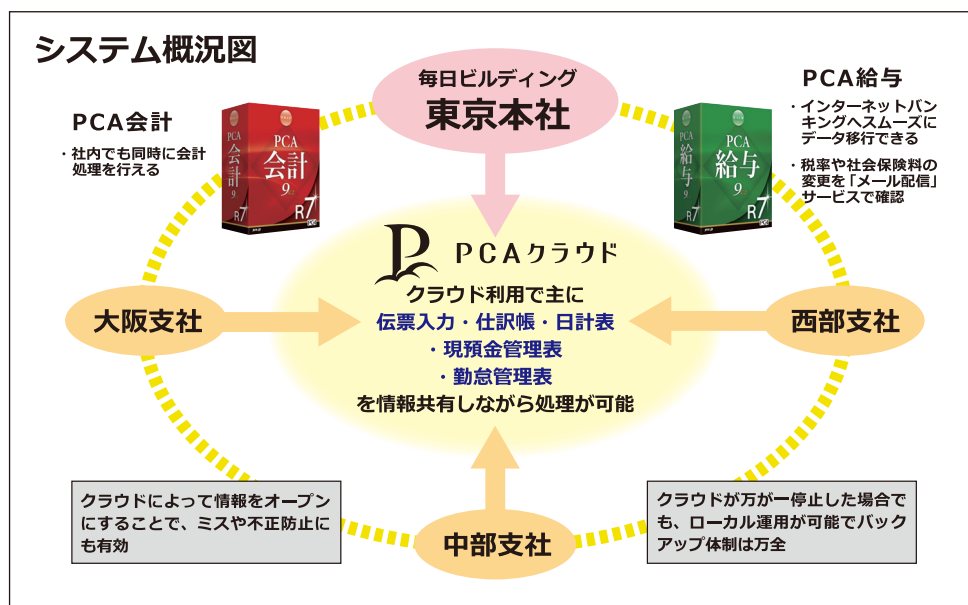
【便利な立地】

東京メトロ東西線・竹橋駅に直結。100社を超えるオフィス、商店、飲食店、郵便局、クリニックなどが入居する地下6階・地上9階建て、約300台収容できる全自動式の駐車場を併設する複合ビルです。一日の在館人口は約6000人、外部からの入館者は2万人を超えています。



【斬新なデザイン】

建築業協会(BCS)賞、空調衛生工学会賞、BELCA賞、モダニズム(近代主義)建築20選など、竣工以来数多くの賞を受賞しています。ビルの歴史的価値を維持する一方、IT(情報技術)の進歩が加速する中、通信インフラの整備などリニューアルが積極的に行われており、ビル業界、入居テナントの皆様から高い評価を受けています。



○万が一に備えたローカル運用も可能

クラウド導入にあたって不安がなかったわけではない。やはり一番心配だったのは、いざクラウドが使えなくなったときのデータの保持だと語る。

「各支社の担当者から一番聞かれたのも、このバックアップの部分です。これについては『PCA クラウド』の各種パッケージについて緊急時用のスタンドアロン版が用意されており、ここにバックアップデータを入れておけば安心です。また弊社ではこれ以外にもバックアップデータは保存しており、この説明で各支社も納得してくれました。」
総務部 課長 中村秀洋氏)



パレスサイドビル HP
(株式会社 毎日ビルディング 本社 HP)
<http://www.mai-b.co.jp/>

今後の課題と展望

○信頼感あってこそそのクラウド導入

同社が管理している不動産は、いずれもその都市の代表的なランドマークの一つだ。「とりわけパレスサイドビルは築 45 年を経た現在も問い合わせが多く寄せられています。特に震災以後、その問い合わせが増えました。自家発電装置容量の

大きさなど、他のビルに無い規模を誇り、防災体制も整っております。BCP の面でも安心であるという利点が魅力になっているようです」
(営業部 部長 宗岡秀樹氏)

このような一等地に構える不動産を管理している同社だからこそ、PCA への要望もある。同社ではキャッシュ・フロー計算書を作成しているが、現状のソフトの仕組みではまだ不十分なため、同社側で時間をかけて作成しているのが現状だ。とはいえ、概ね PCA のクラウドサービスやソフトの中身には満足していると語る。

クラウドサービスを検討している企業に対しての助言として、非常に示唆に富んだ答えをいただいた。

「クラウドのリスクというのは、こちら側にはなく PCA 側にあるものです。クラウド力は、すなわち PCA 力。突き詰めた話をすれば、クラウドを導入するということは、PCA を信じるということです。これは PCA に限らず、クラウドを標榜してる企業全てに当てはまります。PCA を信頼できるかが鍵を握ると思いますね」(守屋氏)



Windows XPマイグレーションにより
オンプレからクラウドに。

PCAソフトに自社の業務フローを合わせることで、
業務改善の効果も期待

株式会社 エコ・プラン

省エネコンサルティングを中心に事業を展開している株式会社エコ・プラン。コンサルティング・設計から工事・メンテナンスまで、一貫して請け負う数少ない企業として、年々規模を拡大させてきた。そのため会計データを確実に管理でき、かつ経営判断に迅速に生かせる方法を模索していたという。その中で導入を決めたのが『PCAクラウド』だ。現在、同社では会計・販売管理の流れを、よりスムーズに改善しようとしている途中だ。PCAソフトとクラウドに対する期待は大きい。

導入システム

○PCA クラウド プリペイドプラン (Type12 6CAL)

・ PCA 会計 X クラウド ・ PCA 商魂 X クラウド ・ PCA 商管 X クラウド

導入の狙い

- ・ Windows XP のサポート終了のため、新システムの見直しが必要に。
- ・ 会計事務所とのデータのやり取りを、確実かつ迅速に行いたい。
- ・ スマートデバイスで情報活用を行いたい。

導入効果

- ・ 『PCA クラウド』なら使用中の OS がサポート終了になった場合でも、会計ソフトの買い替えは不要。
- ・ 『PCA クラウド』で同時接続・同時入力が可能。会計事務所と同じ画面を見ながら処理できる。
- ・ 『PCA クラウド スマートデバイスオプション』を利用し、経営判断を支援！さらに『会計 X モジュール』で月次決算の早期化も！

プロフィール

株式会社 エコ・プラン

□所在地: (東京本社) 〒160-0023 東京都新宿区新宿 7-20-1 住友不動産西新宿ビル 22F
(大阪営業所) 〒567-0817 大阪府茨木市別院町 5-7 ハヤシビル 3F
(名古屋オフィス) 〒465-0057 愛知県名古屋市名東区陸前町 3001
(CKテクニカルセンター) 7拠点 / (飲食店) 1店舗

□設立: 2002年 10月 1日

□資本金: 5,000万円

□従業員数: 219名

□業務内容: ○空調、冷凍、冷蔵機器のメンテナンス、修理、施工、販売

○省エネルギーに関するコンサルティング

○浴槽、浴室の塗装、コーティング ○日用雑貨品の販売 ○飲食店の経営

□URL: <http://www.ecology-plan.co.jp/>



豊かな環境を創造する

Create Good Ecology & Environment

導入前の運用と課題

○Windows XP のサポート終了を機に、拡大する会社の規模にふさわしいシステムを選定



株式会社 エコ・プラン
管理本部 経営管理部 主任
佐久間 大輔 氏

省エネコンサルティングを得意とする株式会社エコ・プラン。設計から工事・メンテナンスまでを請け負い、かつ大規模なオフィスビルから小さな店舗までを対象とし、節水までも視野に入れたコンサルティングは高く評価されている。そのため年々事業は拡大。最初は本社 1拠点のみで始まった事業が、わずかの間に関東エリア・名古屋・大阪にもサービス拠点を構えるようになった。

「ここまで大きくなるとは正直、我々も想像していませんでした。ですから今は会社の規模にふさわしいように、会計・販売管理の流れを、よりスマートに行えるように工夫している途中です」（管理本部 経営管理部 経営管理課 主任 佐久間大輔氏）

同社では以前から『PCA会計 8V.2』が導入され、管理本部内でサーバーを利用した社内ネットワークで運用。会計事務所では『PCA会計 8V.2』を設定し、スタンドアロンで利用していた。しかしこの方法ではデータのやり取りに時間がかかり、かつ「もしもサーバーに何か問題が起きたら」という不安があったという。加えて、Windows XPのサポート終了のニュースも重なった。

「会計士の先生とのデータのやり取りの手間を軽減でき、会計データを確実に守れ、かつ今後 OSのサポート終了があった場合でもバージョンアップの費用をなるべく抑えるにはどうすればよいか。『クラウドにすればこれらがすべて解決する!』と考えました」（佐久間氏）

『PCAクラウド』は最新ソフトへ無償で

バージョンアップできる。そのため使用中の OSがサポート終了になった場合でも、会計ソフトの買い替えは不要だ。

選定のポイントと稼働までのスケジュール

○最も賢明な選択が『PCAクラウド』導入と『PCA会計 X』へのバージョンアップ

佐久間氏が『PCAクラウド』の存在を知ったのは、たまたま社内で「PCAもクラウドサービスを始めたらいい」という話題がきっかけだったという。同社でも顧客情報の管理にはクラウドデータベースを利用しており、クラウドそのものへの馴染みはあった。しかし念のため、『PCAクラウド』のデータセンターの特長や、セキュリティに関する対策はしっかりと確認したそうだ。また、他社の会計ソフトや ERPとの比較検討も行われた。他社の会計ソフトの場合、導入までには時間がかかる。また ERPはカスタマイズに費用がかかる。しかし『PCA会計 8V.2』から『PCA会計 X』へのバージョンアップなら、時間もかからずスムーズに移行でき、コスト面でも負担が少ない。

昨年 11月に PCA担当者と導入の相談を開始し、今年 3月から本格稼働を開始。現在、本社管理本部と会計事務所とを『PCAクラウド』で繋ぎ、『PCA会計 X』を利用。来期からは各サービス拠点でも『PCAクラウド』の『PCA商魂 X』『PCA商管 X』を、順次導入していくことを予定している。

導入後のメリット

○通信回線の影響を負担に感じることなく、スムーズに同時入力・同時接続が可能



東京本社にて

『PCAクラウド』導入によって、迅速な会計処理は実現されたと佐久間氏は語る。本社管理本部と会計事務所とで「同じ画面を見て話ができる」（佐久間氏）という点が、業務を大きく効率化させている。クラウドをよく知る同社だからこそ、当初は通信速度を心配したそう。しかし実際に導入してからは、「回線速度にほとんど問題はない」（佐久間氏）と評価している。

「会計士の先生がお使いになっているパソコンも新しくなり、かつ本社が先進の回線環境を有する新しいビルに移転したことも影響しているのかもしれませんが、通信回線の影響を感じることはなく入力・処理できています。サーバー型に比べて、多少レスポンスが遅くなるのは最初から想定しており、会計士の先生もその点を懸念されていたのですが、『全然問題はない』とお話されています」（佐久間氏）

○万が一に備えた安心感が加わり、メンテナンスの手間も解消

クラウドによって同時接続・同時入力できるだけでなく、「安心感」も以前に比べて増したという。

「以前のビルは電源回りがあまり強くなく、絶えず停電の心配をしていました。今は自家発電機能を持つ先進のビルに移転したため、そのような心配は軽減しましたが、企業の規模も拡大し、万が一の事態を想定した対策は必要です。その意味でも、『PCAクラウド』のバックアップ機能により『仮にこのビルに何かあっても、データは守られる』という安心感があります」（佐久間氏）

またメンテナンスの手間が解消された点も挙げられている。サーバーのメンテナンス自体は、大きく時間を割くものではなかったが、普段ほとんど操作をしないサーバーでも、OSのアップデート等のメンテナンスは必ず月に1度は発生するため、煩わしさを感じていたと佐久間氏はいふ。それらはクラウド導入により解消された。



株式会社 エコ・プラン HP
<http://www.ecology-plan.co.jp/>

システム概況図

PCAクラウドによって、同時接続・同時入力が可能。
 管理本部と会計事務所が同じ画面を見ながら処理できる。



来期からは・・・

各拠点でも会計入力を行えるようにし、
 『PCA商魂』『PCA商管』を順次導入。
 データの一元化を行う予定。



PCAクラウド スマートデバイスオプション

- 商魂Xモジュール
 …売上や在庫情報の参照
- 会計Xモジュール
 …出納帳や旅費などの入力



PCAクラウド スマートデバイスオプション

iPad/iPhoneで、新しい
基幹業務スタイルを。

『PCAクラウド』上に蓄積された
基幹業務データを、「いつでも」
「どこでも」「簡単に」ご活用いた
だけます。



○商魂Xモジュール ○会計Xモジュール

AppStore より無償で
ダウンロードいただけます。

iOS 専用アプリなので起動が早く、操作が直観的に行えます。また、ウイルス感染などの影響もありません。SSL 暗号化通信により、VPN 環境や利用時の接続の手間を必要とせず、VPN 接続と同等の安全性を確保します。

PCA クラウド契約ユーザーは無償で利用可能です。同時接続ライセンスで集計時のみログオンするため、無駄なライセンス消費を抑えます。要望の多い機能から順次機能を追加予定。無償でアップデートが可能です。

○カスタマイズなしであらゆる 業種に対応できる『PCA会計X』

同社では長年『PCA会計』が利用されてきた。『PCA会計』への印象として、佐久間氏は「あらゆる業種に対応できるよう作られており、特にカスタマイズをしなくてもよい点が便利だ」と評価している。振替伝票入力や合計残高試算表などの日常の処理だけでなく、決算処理にいたるまで『PCA会計X』が使用されている。

「導入にあたって PCAのセミナーに参加しました。『PCA会計X』も、そして今後使用していく『PCA商魂 X』『PCA商管 X』も、わかりやすく入力しやすい印象を持ちました」(佐久間氏)

この「わかりやすさ」「入力のしやすさ」は同社において大きな意味を持つ。現在同社は多くのサービス拠点を有しているが、そこで実際に入力を行うのは、普段は空調工事やメンテナンスを担当する従業員で、会計や経理の詳しい知識を持つ者は少ない。そのような従業員にも扱いやすい販売管理ソフトである点が重要であり、PCAソフトはそのような意味でも扱いやすいソフトだと語る。

今後の課題と展望

○iPhone、iPadで閲覧できる 『スマートデバイスオプション』 が、会計でも利用可能に

来期からは『PCA商魂 X』『PCA商管 X』を、『PCAクラウド』によって各拠点間で繋ぎ、ダイナミックに運用していく予定の

同社。PCAの販売管理ソフトへの期待は非常に大きい。まずは、現在 Excel®で管理している販売管理のデータや帳票を一元化し、二重入力などの手間をなるべく軽減したい点や、クラウドによって全拠点の売上データをリアルタイムで把握し、経営判断に生かしたい点などが挙げられている。さらに PCAの販売管理の流れに沿った処理を行うことで、今までの業務全体を見直したいという思いもある。

「弊社は急激に規模が拡大したため、販売管理業務が一般的な企業と若干異なる部分があると思っています。そのような部分を PCAの販売管理ソフトに合わせることで、よりスムーズな管理へと改善できるのではないかと考えています。社内のルール作りにも効果を発揮してくれるのではと期待しています」(佐久間氏)

また『PCAクラウド スマートデバイスオプション』にも興味があるという。以前からクラウド利用者は無料で『PCA商管 X』の在庫情報データを iPhoneや iPadで閲覧できたが、新機能として『PCA会計X』の「出納帳入力」「出張旅費精算」の閲覧・入力も行えるようになっている。

従業員教育に力を入れ、365日 24時間全国対応を行っている同社。今後もそのニーズは増えていくことが予想される。PCA製品の真価は、今後さらに問われるだろう。



子どもたちの未来のために。
「ヒト」が支える保育事業を
PCA クラウドで基盤強化！

株式会社 グローバルキッズ

首都圏に認可保育所を展開する株式会社グローバルキッズは、業務の基盤に『PCA クラウド』を採用した。その中でも優先的に立ち上げたのが給与・就業・人事管理といった「ヒト」の管理にまつわるシステムであったが、そこにこだわったのには大きな理由があった。急成長する企業がクラウドサービスを採用した理由とそのメリット、今後の展開方針を伺った。

導入システム

○PCA クラウド プリペイドプラン (Type12 6CAL) ※

- ・ PCA 人事管理 X クラウド ・ PCA 給与 X クラウド ・ PCA 商魂 X クラウド
- ・ PCA 商管 X クラウド ・ PCA 会計 X クラウド

○PCA eDOCX

※【プリペイドプラン】お客様のご希望のご利用期間で選びいただけるプランです。
12・36・60ヶ月パックは、一括前払いの割引料金になります。

導入の狙い

- ・ 増加する職員の給与計算業務を短縮・効率化したい。
- ・ 保育園の状況を本部から見えるようにしたい。
- ・ 想像を超え急成長する事業のスピードに合うシステムを検討したい。

導入効果

- ・ 勤怠管理・Web 給与明細書配信システムで時間短縮・業務効率の向上。
- ・ タイムレコーダを活用し、「職員と園児の登降園管理」で園の状況の「見える化」。
- ・ PCA クラウドの追加サービスを利用し、成長に併せて追加可能なシステムを構築。

プロフィール

株式会社 グローバルキッズ

- 本社所在地 : 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-21 JPR クレスト竹橋ビル 6F
- 従業員数 : 813 名
- 設立 : 平成 18 年 5 月 23 日
- 資本金 : 3,000 万円
- 企業理念 : 子ども達の未来のために
- 事業内容 : ○保育施設の運営
○ベビーシッターの養成と派遣
○公共施設での託児サービス
○イベント等での託児
○ベビー用品・子供服の輸入及び販売
- 企業 URL : <http://www.gkids.co.jp>

【会社のあゆみ】

グローバルキッズは、2006 年 5 月より「子ども達の未来のために」という企業理念のもと、認証保育所の開所・運営を開始しました。2008 年 11 月、東京都認可保育所「グローバルキッズ板橋園」の開所を期に横浜エリアでの認可保育所を展開。2013 年 4 月現在、認可保育所 18 施設、認証保育所 20 施設、横浜保育室 1 施設、認可外保育所(板橋保育ルーム事業)1 施設を運営しています。

2009 年から導入した海外視察旅行制度では、現場職員を対象にドイツ・韓国・オーストラリアの保育現場を視察。現在はフィンランド・ハンガリー・デンマークといった北欧・中欧エリアの現場視察・文化交流を年 4 回程度、実施しています。渡航先では現地ガイドが安心・安全を確保し、充実した海外研修旅行となっています。

2010 年 4 月より学童保育施設の運営受託を開始。板橋区では大山小学校あいキッズ・高島第六小学校あいキッズ、練馬区では石神井町学童クラブ・泉新小学学童クラブといった 4 施設を運営。従来より行っている保育所運営と同様の志のもと、学童の保育を実践し、より多くの子ども達と関わっていきたくと考えています。

2013 年現在、お預かりする子どもの数は 2,000 名を超え、現場職員においては約 800 名が在籍しています。

導入前の運用と課題

株式会社グローバルキッズは、2006年5月より「子ども達の未来のために」という企業理念のもと、認証保育所の開所・運営を開始した。現在(2013年4月)、認可保育所18施設、認証保育所20施設、横浜保育室1施設、認可外保育所(板橋保育ルーム事業)1施設、その他グループを含め48施設を開設し、預かっている子どもの数は2,000名を超え、現場職員においては約800名まで短期間で成長したが、さらなる成長が期待される優良企業である。

○システム導入にあたり重要なテーマは「ヒト」

創業者である代表取締役 中正雄一氏は、大手パンメーカーに勤務し店舗開発業務を経験した後、保育業界へ参入した。3年ほど共同事業を行っていたが、2006年、正式に個人事業主として独立開業し、その後4か月で株式会社へ移行させた。その後は7年間でグループ計48施設を展開、職員に至っては前年度の2倍になっている。

成功の秘訣を中正氏は「運が良かったんです。タイミングよく自治体様が依頼をしてくれたり、職員の募集をしたら良い人が来てくれたり、本当についてますよ。」とニコリ微笑む。しかし、自治体からの信頼を得るためには、常日頃から良い物件がないか調査したり、それを目利きする前職で培ったノウハウも必要である。採用に関しても、職員が働きやすい環境を整備し、会社の理念を実現しているからこそ同じ思いのヒトが集まるのであって、普段からの準備や保育に対する強い熱意が成功の要因であると感じる。

そんな同社においてのシステム導入時の重要なテーマが、「ヒトに関すること」であった。

「子どもに一番近い場所にいる職員には業務的な負担や金銭的な心配をかけずに保育だけに取り組んで欲しい。そのため、職員との信頼関係は重要であると考

えています。」と中正氏は語る。「例えば、給与振込みが遅れることで信頼関係に悪い影響が出たり、生活や職場に不安を感じてもらうことはしたくないので、従業員が300人くらいまでは私が給与計算を行って、振込み処理までやっていました。」というほどのこだわりぶりだ。「月の1/3くらいが給与関係の仕事になっていて、まだまだ従業員も増える予定でしたので、システム化の必要性を考えだしました。」その思いを引きつぎ、システム化プロジェクトの中核になったのが、執行役員 総務部長 宇田川三郎氏である。「社長の方針を踏襲しましたが、管理する人数が多くなったということで書類の管理方法や情報の伝達方法などの新たな業務プロセスを構築していくという要件も出てきました。」とおっしゃる宇田川氏。

「職員への給与支払いは、末日締め、10日払いと規定されていますが、当時の業務は全く時間に余裕がありませんでした。そのボトルネックになっている部分を探しだしたところ、勤怠実績の集計と給与明細書の配布、ゆうちょ振込データの作成、に関する処理でした。システム化の際には、これら3つの課題を解決してもらえるベンダーを探しだしました。」と宇田川氏は振り返る。

ベンダー選定のポイントは、課題をクリアできる機能を有することにもあったが、宇田川氏はまた、こうも語った。「私たちも想像がつかないくらいの成長スピードであったので、一緒に業務やシステムを考えてもらえるパートナーとして考えられるかという点も考慮しました。」

導入後の効果

○施設ごとのローカルルールを標準化、メール配信を活用して効率アップ

導入後、運用が軌道に乗るまでには苦労もあったとのことだが、結果的には予想以上の効果ももたらしている。「就業と給与業務といった切り口で1年くらいベンダーさんを探しましたが、最終的には



株式会社 グローバルキッズ
代表取締役
中正 雄一 氏

クラウドサービスも持っている PCA・クロノス社製品を提案いただいたベンダーさんに選定いたしました。半年後には稼働予定であったので、かなりタイトなスケジュールではありましたが、予定通りの4月に稼働は行いました。ただ、就業規則やシフトパターンなど想定以上のローカルルールが多く、業務の標準化を行うのに時間がかかりました。中でもシフトパターンは想定していた3.5倍以上の700種類のシフトが洗い出されました。稼働後、3ヶ月はマスタや設定の修正を行いながら進めておりましたので現場も大変でしたが、6ヶ月も経過する頃には、施設長からの問合せもなく、運用していただけるようになっていました。最終的には、パッケージシステムの機能をベースに業務を併せていきましたが、見えていなかった業務の洗い出しもできてよかったと思います。今では随分ノウハウも貯まりましたので、今年から施設長になる職員へのレクチャーを事前にできるまでになりましたよ。」と宇田川氏。

また、「給与明細書も毎月10日前にある施設長会議で印刷したものを配布しておりましたが、かなり準備時間も厳しかった。現状は、『Web 給金帳』で職員に対し、メール配信を行うようになって、明細書

を印刷して織り込んだりする作業も無くなり、スピーディに安心して給与明細書を届けることができるようになりました。」と、確実に業務効率が向上している。

導入後の課題と展望

○人事管理システムのさらなる活用

「次は人事管理ですね。既に本稼働には入っていますが、職歴や異動履歴をメンテナンスしているところ。行政はこの職歴や異動履歴の提出を求めることもありますので、重要な項目になります。また、同じく行政の確認が入るものとして、書類の6点セットがあります。①履歴書、②雇用契約書、③資格者証、④健康診断書、⑤辞令、⑥労働者名簿、となりますが、各園に備え付けておく必要があります。『PCA eDOCX』を利用すれば、保存のルール化や本部と拠点の情報共有、問い合わせ時検索のスピード化につながるかと考えています。」と宇田川氏。

また、今年から人事評価制度を導入することと、「賞与の査定から PCA 人事管理を利用予定です。うまくいけば、来年度導入予定の目標管理の結果や研修の

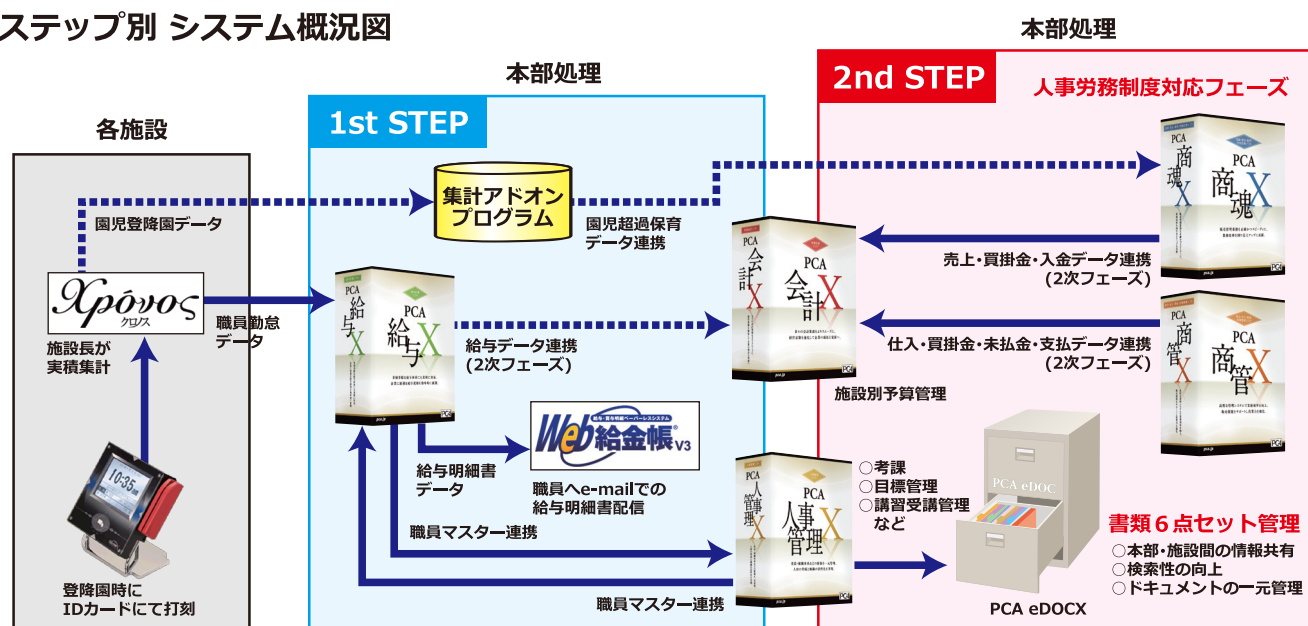


[左]
株式会社 グローバルキッズ
執行役員 総務部長
宇田川 三郎 氏

[中央]
株式会社 グローバルキッズ
総務部 広報課 課長
庄司 勝也 氏

[右]
株式会社 グローバルキッズ
総務部 経理課 課長
齋藤 祐靖 氏

ステップ別 システム概況図





株式会社 グローバルキッズ HP
http://www.gkids.co.jp

受講管理など今後の評価を行うのに必要な情報も管理対象にしていきたいと考えています。年次別の研修カリキュラムやキャリアプランを考えていく場合に参考にできれば良いかなと。」

さらに宇田川氏は、「行政によって、園に必要な有資格者や人数が異なります。通常であれば、保育士以外に、調理師、0歳児をお預かりする場合はプラス看護師・栄養士、など要件もありますが、チーム編成する際に検索条件として簡単に設定ができれば、人員・教育計画も立てやすくなるかと考えています。」と意欲的に語った。

総務部経理課 課長 斎藤祐靖氏は、「女性が 90% くらいの職場ですから、苗字がよく変わります。この変更作業がグループウェアでスムーズに職員からの自己申請で変更できればと考えています。あと、名前だけではわかりにくいので、写真があればどの施設の誰かだと思い出しやすいので、これから写真をアップしていく予定です。」

総務部広報課 課長 庄司勝也氏からも「毎年、新規で 10 施設を展開する予定ですので、新卒者や拠点採用も増えていきます。これらも人事管理で情報の共有化を図っていききたいですね。」「出産後も戻りやすい企業になっていますが、産前産後や育児休業のチェックがしやすいと助かりますね。」との要望をいただいた。

○タイムレコーダで見える化を実現、「ヒト」の管理をさらに拡張

会計部分においては、斎藤氏より「予算や進捗管理は PCA クラウド会計で行っています。人件費にかかわる部分にベースアップ率をかけて来期の損益シミュレーションを行っていますが、園児への請求データや経費などの購買データが連携できれば、予算管理も精度が上がるので

はと考えています。また、もうすぐ稼働予定ですが、タイムレコーダで園児の登降園情報を管理し、超過保育を請求データにまで反映できるカスタマイズを行っていただいています。このデータを見ながら、効率の良いシフト編成を組む材料になると考えています。」と第2次フェーズである「ヒト」の管理を拡張したアウトラインを語っていただいた。

第1次フェーズを終えて宇田川氏からは「予想がつかないことが起きるために実現案と一緒に考えてもらえて本当に良いパートナーとして選定できて良かったです。ただ、クラウドの運用時間についてはもう少し検討して欲しい。その日にやっておきたい作業があったときに、時間的猶予が欲しいです。あと、パートタイマーの有給付与についてシステムで比例付与ができれば助かります。また、今年退職者を含め、給与支払者が 1,000 人を超えます。来年からの電子申告の業務化についてのシステム的対応が必要と考えています。」と今後の要望をいただいた。

最後に中正氏から「私たちは子ども達に未来を見せる企業です。個性を引き出し、成長させて大人になってもらうために、最終的には小学校から大学までのボトムアップ式の今までの日本にはない教育環境を作りたい。子どもの人数が半分になり、競合先も増えそうなこの先を生き残るために「ヒト」に関するノウハウを貯めているところです。チームワークや個人のスキルを向上させて、少ない職員で運営できれば経営効率も高い。最適なチーム編成が見えるシステムを作りたい。その時まで PCA クラウドにはお付き合いいただきたいですね。」と今後の展望を述べていただいた。



『PCAクラウド』は
バランスの良いクラウドサービス
企業の管理部門が抱える切実な課題を、
このクラウドなら解決できる

ラクラス株式会社

“人事インフラ”を提供しているラクラス株式会社。そのサービスの提供のために活用しているのがクラウドだ。「人事クラウド+BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)」による新しい形の人事情報処理業務を提供している同社が選んだのが『PCAクラウド』。『PCA会計X』『PCA人事管理X』を導入し、管理部門の業務の軽減に成功している。クラウドを熟知する同社だからこそわかる『PCAクラウド』の真髓について、じっくりと本質的なお話を伺った。

導入システム

○PCAクラウド BPOプラン (1GBモデル 5CAL)※1

- ・PCA会計X クラウド
- ・PCA人事管理X クラウド
- ・PCA給与X クラウド

※1:【BPOプラン】会計事務所・社会保険労務士事務所・アウトソーシング向けプラン

導入の狙い

・会計業務、人事管理業務のスマート化を推進したい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって、決算に関わる業務の時間を大幅に短縮。
- ・『PCA人事管理X』なら細かな権限設定によってセキュアな人事管理が可能。
- ・『PCA会計X』なら承認作業も確実に、汎用データの受入も柔軟。月次処理は約6日間も短縮。

プロフィール

ラクラス株式会社

- 所在地:
【本社】〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル5F
【東北オペレーションセンター】
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービルディング18F
- 設立年月日:2005年5月20日
- 資本金:100,000,000円
- 社員数:115名
- 主業種:サービス業
- 業務内容:戦略人事を実現する「人事インフラ」の提供
- URL:<http://www.lacras.co.jp>

クラウドも BPOも ラクラス

ラクラスは、人事クラウドとBPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)のリーディング・カンパニーです。

ラクラスの革新的な技術と手法は、給与計算を含むすべての人事情報処理業務を圧倒的に効率化します。

データベースに蓄えられた人事情報は、リアルタイムに分析・可視化され、お客様の戦略上の決断を支援します。

大企業グループのシェアードサービスセンターから中堅企業まで、豊富な導入実績をもつラクラスの人事クラウドとBPOをご検討ください。



ラクラス株式会社
代表取締役社長
北原 佳郎 氏



ラクラス株式会社
シェアードサービス部門 マネージャー
小沢 佳則 氏



ラクラス株式会社
アドミニストレーション部門
眞坂 和寿 氏

選定のポイント

○本来の業務を行うための環境をつくるには?その答えがクラウドサービス

ラクラス株式会社は企業の人事情報処理業務に関するすべてのサービスを提供している。人事情報管理や給与計算などをBPOサービス、クラウドサービス、給与アウトソーシングサービスによって企業へ提供しており、様々な業種や規模のクライアントがそのサービスの質を高く評価している。

同社がこのような人事に関するサービスを開始したきっかけは、企業の管理部・人事部が「良い人材を引きつけ、その人材を長く引き止められる仕事を行う」という、本来の人事の仕事ができる環境を作りたいという思いからだった。この「本来の業務を行うこと、そのための環境をつくること」は、同社のクラウドサービスと『PCAクラウド』の共通点だと同社代表取締役社長 北原佳郎氏は語る。

「当社のクラウドサービスと『PCAクラウド』の違いと共通点をかいつまんでご説明すると、まず違いは『PCAクラウド』がソフトウェアをクラウドで提供するのに対し、当社では企業のワークフローをクラウドで自動化して業務を効率化させているアウトソーシングサービスであることが大きな特徴です。多くの企業にとって給与計算は難しいものではないのですが、そこにいたるまでの各社員の資格や過去・現在の報酬の記録、家族や住所などの情報を確実に揃えることが今は大変な時代になっています。当然、社会保険に関する処理もセットで発生し、今後はマイナンバー制度も始まります。これらの“人”に関するデータをクラウドサービスによって確実に集め、スムーズに人事・給与の処理を行えるようにするのがラクラスのクラウドサービスです。クラウドならではの確実性とスピードによって、本業以外の業務に時間を割かなくても

よい環境を作れるのがラクラスとPCAの共通点。PCAがクラウドに力を入れていることは、同じクラウドサービスを提供する企業としても、とてもうれしいことなんですよ」(北原氏)

○管理部門の抱える悩ましい問題を、クラウドなら解決できる

同社が『PCAクラウド』『PCA会計X』『PCA人事管理X』を導入したきっかけも、この「各社員がそれぞれ本来の業務に取り組める環境を作るため」だった。

同社のインフラシステムを管理しているのはシェアードサービス部門 マネージャー 小沢佳則氏。シェアードサービス部門は、まさに企業に向けてプライベート・クラウドを提供している部署で、顧客からの問い合わせにも対応していかなければならない。『PCAクラウド』導入前は、サーバーにトラブルが発生するたびに小沢氏が対応していたため、本来の業務に100%集中する環境が作れていなかった。

「私の役割はお客様によりサービスを提供し、当社の業績に貢献していくことですが、確実にその環境を形成できていませんでした。ですから『PCAクラウド』によるサーバーレス化の恩恵を、もっとも大きく受けているのは私かもしれませんね」(小沢氏)

企業や業種を問わず、管理部門の社員にはある悩ましい問題があると北原氏はいう。

「管理部門は直接、企業の業績や売上には関係しない部署です。ですから余計なコストはかけられません。一方で、給与の支払いが遅れることは絶対に許されません。最少の人員で残業をして給与支払日に間に合わせたところで、それを褒めてもらえるわけでもなく、仮に遅延があれば非難が集中し、そして設備面ではコストをかけないように求められる。そんな管理部門の悩ましい現状を、クラウドなら解決できる力があると思います。管理部門として安定して、かつ安心して業務を行えるわけですから」(北原氏)

導入後のメリット

○セキュアな人事管理ができる『PCA人事管理X』

社内の人事管理を担当しているアドミニストレーション部門 眞坂和寿氏は、『PCA人事管理X』を「セキュアな運用ができる点が決め手だった」と評価している。以前、同社では複数のExcel®データによって人事管理を行っていた。しかし社員数が100名を超え、Excel®での管理に限界を感じ『PCA人事管理X』の導入を決めた。

「導入の際に最も気にしたのが、データをしっかりと守ることでした。例えばWebだけで完結しているシステムの場合、仮にIDやパスワードが漏えいしてしまったら大きな問題に発展しかねません。しかし『PCA人事管理X』ならいったんデータベースに保存するという形を取るためセキュアな管理ができますし、細かな権限設定も可能です。また社員コードさえ間違っていなければ『PCA給与X』と連携させることで、転記ミスなどはまず発生しません」(眞坂氏)

『PCA人事管理X』では複数の領域ユーザーと、それをまとめるユーザーグループの設定ができ、高い機密性を保てる。

○『PCA会計X』なら承認作業も確実に実行。月次処理は約6日間も短縮

高い機密性については『PCA会計X』についても同様で、さらに電子署名による完全性が加わる点をアドミニストレーション部門 マネージャー 工藤祥子氏は評価している。

「『PCA会計X』については複数名で使うことを前提にして導入しました。そのため承認作業についても確実に行ったかったのです。『PCA会計X』ならこの承認作業も問題なくできると考え導入し、実際に確実に承認作業も行えています。クラウドの特性を活かすことで、これまで月次の処理が翌18日までかかっていたのに対し、今は12日、月によっては10日頃に終了しています。時間の短縮という意味では、大きく効率化を実現しています」(工藤氏)

同社では『PCAクラウド』によって、会計士も『PCA会計X』を利用できる環境にしている。そのため同期で決算内容を確認できる。以前は電話のやり取りが必要だったのが、今はリアルタイムに双方間で内容を確認でき、十分スピーディーな処理ができているという。さらに汎用データの受け入れについても『PCA会計X』は柔軟に対応でき



ラクラス株式会社
アドミニストレーション部門
マネージャー
工藤 祥子 氏

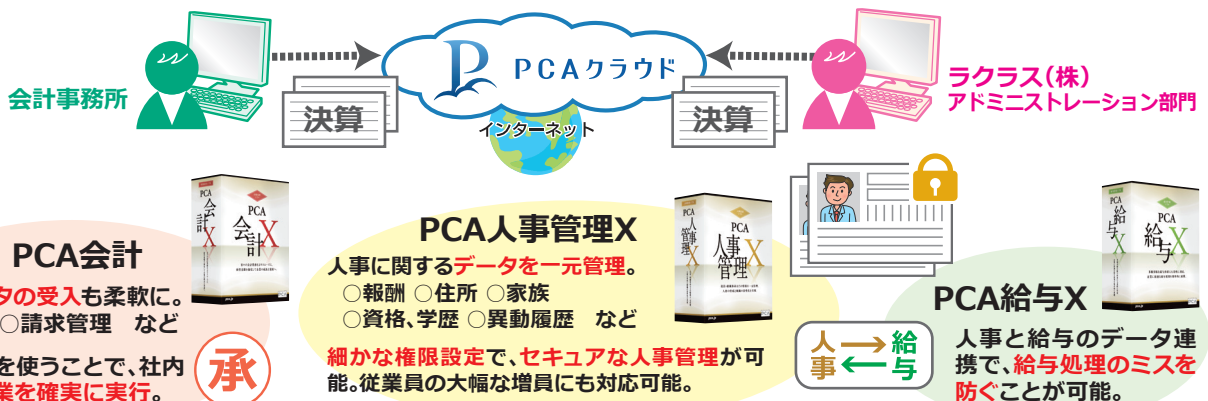


取材の様子

システム概況図



『PCAクラウド』によって、**同時接続・同時入力可能**。
管理部門と会計事務所が、**同期で決算内容を確認**できる。



るため、Access®で作成した経費精算データや請求管理データも自在に取り込める。コストについても大きなメリットがあったという。

「以前、他社のソフトウェアを使っていた頃は、ソフトウェア購入に20～30万円かかり、年間の保守費用も5万円必要でした。しかし『PCAクラウド』は月額使用料のみ。バージョンアップのたびにいちいち費用がかかることもありません。また当社の場合は、社員でインストールも設定も簡単にこなせましたし、導入支援サービスなしでスタートできたため、初期費用もかかりませんでした」(工藤氏)

今後の課題と展望

○『PCAクラウド』は、良いバランスのクラウドサービス

『PCAクラウド』について北原氏は「一言でいうなら、バランスよくできたクラウドサービス」と評価している。このバランスの良さというのは、同じクラウドサービスを提供している事業者だからこそ、より実感できる内容なのだと言語。

「当社のクラウドも同じですが、『PCAクラウド』は24時間稼働をしていません。これはとても大事なことです。24時間稼働にした途端、コストは一気にかかってしまい、低コストでもクラウドを導入できるという中小企業にとってのメリットがなくなってしまう。もちろん決算時には深夜の作業を行いたい企業もありますが、その場合は『PCAクラウド』ではローカル運用での作業が可能です。また『PCAクラウド』はかなりきめ細かなクラウドサービスという点もおもしろいですね。単にソフ

トウェアをクラウドに乗せているのではなく、クラウドだから得られるメリットをソフトウェアの中にも巧みに反映しています。クラウド:ローカル運用、クラウド:ソフトウェア、このような二律背反の要素をバランスよく取り入れたのが『PCAクラウド』。また、『SOC2』を取得してるところも非常に評価ができると思います。これを含めてとてもユニークで実用的だと思います」(北原氏)

北原氏はPCA代表水谷氏とともに、日本企業にクラウドのメリットを押し広げているリーダーの一人だ。

「“クラウドで提供する”ということによるメリットは、大きく2点に集約されると思います。まず、クラウドでソフトウェアを利用することによる利便性を享受しながら、利用に伴う負荷が少ないということで、これによりIT部門は楽になります。そしてそのうえで、インターネットを経由しているからこそできるようになる工夫がどれだけあるか。可用性や完全性の向上、税理士とのデータ共有などが挙げられると思います。スタンドアロンでできていたことができるのは当然として、それ以上の魅力をどれだけ積み上げることができるかが、クラウドサービスとしての評価になると思います。したがって、画面がわかりやすい、などソフトウェアそのものの魅力を改めて伝えるのは、クラウドサービスの訴求とはちょっと違うような気がしますね。今後も、これまでは当たり前だと思っていた仕事や業務のコンセプトをひっくり返すような、そんなサービスをつくりだしていきたいです。クラウドはその大きなチャンスだと思っています」(北原氏)



ラクラス株式会社 HP
<http://www.lacras.co.jp>



『PCA商魂X クラウド』なら
 点在する店舗の売上を
 いつでも確実に集計・確認。
 台風や落雷などの自然災害によるトラブル
 からも、大切なデータを守り切れる。

有限会社 ラミネックスセンター

印刷物のラミネート加工から製本加工、パネル加工まで様々な印刷サービスを取り扱っている有限会社ラミネックスセンター。沖縄の情緒が伝わるかりゆし名刺など続々と新しいサービスを展開している。同社は沖縄県内でいち早く『PCAクラウド』を導入した。『PCA商魂Xクラウド』さらにクラウドならではの『PCAクラウド スマートデバイスオプション』の活用によって、よりスマートで確実な売上管理・経営判断を実践しようとしているところだ。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type6 4CAL) ・PCA 商魂 X クラウド

導入の狙い

- ・点在する店舗の売上をいつでも確実に把握したい。
- ・台風などの自然災害や停電への対策。
- ・現金売上と掛売上が混在していても処理できる販売管理ソフトがほしい。

導入効果

- ・『PCA商魂X クラウド』なら点在する店舗の売上状況をいつでもどこでも確実に把握できる。
- ・『PCAクラウド』ならデータセンター設備等の障害発生時の復旧のため、関東・関西の2つのデータセンターにバックアップが保管される。
- ・『PCA商魂X』なら現金売上と掛売上が混在していても問題なく処理でき、優れた検索性によっていつでも確実にお客様の情報を引き出せる。

プロフィール

有限会社 ラミネックスセンター

- 本社/ゴザ店: 〒904-0031 沖縄県沖縄市上池2-9-6
- 那覇店: 〒900-0003 那覇市安謝1-3-7
- 設立年月日: 1975年(昭和50年)7月1日
- 資本金: 500万円
- 従業員数: 27名
- 主業種: 複写・印刷業
- 業務内容: ラミネート加工及び複写・印刷業務全般
- URL: <http://www.laminex-c.jp/>



お店で！オフィスで！ご家庭で！
 きれい！簡単！うれしい！
 確かな技術と最新の設備で、
 皆様の暮らしとビジネスをサポートします。

【主なサービス】

- ◇オンデマンドカラープリント ◇大型各種ラミネート加工
- ◇大型デジタルフルカラープリント ◇Macintosh/Windowsデータ入出力
- ◇超大型看板作成 ◇製本加工 ◇パネル加工 ◇メモリアルグッズ作成
- ◇名刺作成 ◇電子納品 ◇CAD入出力(トレース・スキャニング)
- ◇デジタルファイリング



有限会社 ラミネックスセンター
取締役常務
安慶名 紀昭 氏



有限会社 ラミネックスセンター
課長
島田 稔 氏

導入前の運用と課題

○点在する店舗の売上を、迅速かつ確実に把握したい

沖縄市に本社を構える有限会社ラミネックスセンター。社名の由来ともなっている高精度のラミネート加工や製本加工、パネル加工、さらにユニークな名刺やメモリアルグッズの製作・販売なども手掛けている。同社では以前、販売管理をAccess®で作成した自社ソフトで行っていた。当時の店舗数は3店で、それぞれの店舗ごとに売上を集計・管理。月締めで3店の集計を合算し、そこで初めて会社全体の売上を把握できる状況だった。

「当社の場合は現金売上と掛売上が混在することもあって、店舗ごとの集計を出し、さらにそれを全体にまとめるのにはどうしても時間が必要でした。そのため全体の売上を確認できるのは月末になってからでしたが、これでは迅速な経営判断ができません。いつでもすぐに全体の売上を1回で確認できるようにしたかったのです」(取締役常務 安慶名紀昭氏)

「何が売れて何が売れなかったのかという売上の詳細も知りたいと思いました。大きくラミネート加工、製本加工などサービスごとの売上はわかっていたのですが、ラミネート加工の中でもどの商品が人気で、どの商品はあまり反響がないのかがわからず、各店舗に電話で問い合わせることもありました」(課長 島田稔氏)

そこで「いつでも確実に会社全体の売上をスピーディに把握できるシステム」、そして「現金売上と掛売上が混在していても、問題なく処理できるソフト」の選定が始まった。

選定のポイント

○ネットワーク運用によって3店舗を管理。PCAなら一番効果的な販売管理を実現できる

当初、3社のシステムやソフトが比較検討された。A社はボタン操作一つでその日の売上の集計が保存できたが、各店舗でのスタンドアロン運用のため、以前とほとんど変わらない。B社の場合は導入費用が安かったものの、やはりスタンドアロン型だった。

「当社のPC設備やシステム環境を依頼している販売店さんともよくご相談させていただき、ネットワーク環境を利用したシステムなら、当社の考えている販売管理が実現しやすいと提案されました。そのためにはサーバー設置が必要になるため、導入費用は決して低くはなかったのですが、最終的にはPCAの『PCA商魂』をネットワークで運用する販売管理の方法が一番効果的だと考えました」(島田氏)

ネットワーク運用(with SQL版)を選んだのは、各店舗をつなげて管理できる点だけでなく、メールでの納品も増え、自社ホームページを充実させたいという背景もあったからだという。そして『PCA商魂 with SQL』を導入し、現在『PCAクラウド』へ切り替え、『PCA商魂X クラウド』による販売管理を行っている。

導入後の効果

○『PCAクラウド』は自然災害への対策=事業継続計画(BCP)としても有効

『PCAクラウド』への切り替えにはいくつかの理由があったが、まず1つめが消費税改定への対応だった。

「『PCAクラウド』はバージョンアップを無償で行えるという大きな特徴がありました。つまり税制改正などがあった場合でも、いつでもそれに対応した最新ソフトを利用できるということです。スタンドアロンなら1台ごとにバージョンアップ費用がかかってしまいますが、『PCAクラウド』は月額利用料にバージョンアップ費用が含まれているので、長い目で見た場合にもよい選択だと思いました」(島田氏)

そして2つめの理由が急な災害から大事なデータを守り業務を遂行できる事業継続計画(BCP)だった。

「自然災害に対する備えとしても『PCAクラウド』は有効だと考えました。じつは以前、台風で本社の窓ガラスが割れオフィス内が水浸しになり、さらに落雷による停電でサーバーが停止する事態が立て続けに起こりました。正直、自社だけのサーバー管理には限界があると感じました」(安慶名氏)

『PCAクラウド』のデータセンターは、大規模停電時でも、安全な自家発電システムにて稼働する。また、地震にも耐えうる高度な免震設備だ。さらに、その設備等の障害発生時の復旧のため、設備の全ての記録内容をバックアップし、関東と関西の2つのデータセンターに複製して保管している。入力したデータのバックアップは日々自社で実施・保管しておく必要があるが、データセンター自体に何らかの障害が発生した場合でも安心だ。

これらの理由以外にも、『PCAクラウド』ならサーバーレスのため管理の手間が不要になるなど、メンテナンスのコスト面、人的な面の両面から見てもメリットは大きいと判断され導入された。

「当然、導入時にはデメリットについても検討し、一番心配だったのは回線トラブルによってクラウドへ接続できなくなることでした。しかし実際に『PCAクラウド』を導入した後は、そのような事態はほとんど起こっていません。システムダウンの僅かな回数を確率で考えた場合、これは大きなデメリットにはあたらないと判断しました」(島田氏)

○『PCAクラウド スマートデバイスオプション』で売上状況を確認。今、何が売れているのかを外出先から手軽に知る

ラミネックスセンターでは『PCAクラウド スマートデバイスオプション』を使い、『PCA商魂X クラウド』のデータをiPadでも利用している。もっとも活用しているのが「当月当日売上状況」だ。得意先区分または商品区分での集計ができ、例えば商品区分の明細部分を選択すると、商品名はもちろん販売単価や数量なども確認でき、今、何が売れているのかを外出先などからでも知ることができる。

同社の場合はこの『PCAクラウド スマートデバイスオプション』を今以上に利用して、



『PCAクラウド スマートデバイスオプション』を使い、『PCA商魂Xクラウド』のデータをiPadで確認。

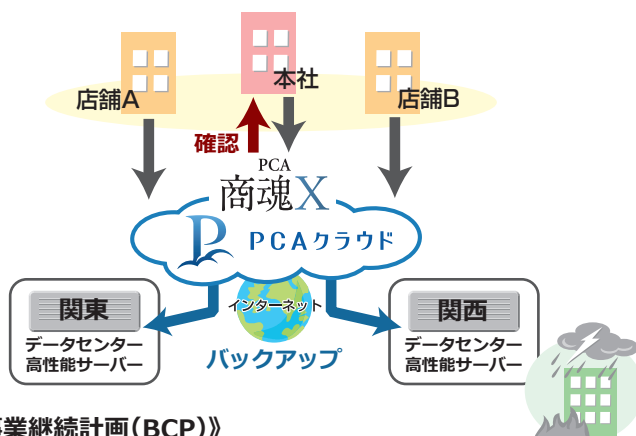


本社/ゴザ店外観

システム概況図

《メリット》

『PCAクラウド』は、各店舗の売上状況を本社で確認できるので、会社全体の売上状況を、いつでも把握できる。



《事業継続計画(BCP)》

『PCAクラウド』は、台風や落雷など自然災害が発生した場合に備え、関東・関西2か所のデータセンターでデータをバックアップ保存。



スマートデバイスオプション



iPad / iPhone / Androidから、『PCA商魂X』を確認できる。



- ・当月当日売上状況
- ・得意先照会
- ・商品在庫照会



《活用例》

iPhoneで、営業先から売れ筋の商品を確認できる。



《今後の展望》

会議で『PCAクラウド スマートデバイスオプション』を利用して、ペーパレス化を推進予定。



【百日記念メモリアルフレーム】
誕生、米寿、還暦など各種記念品に最適なメモリアル額をご提供します。



【かりゆし名刺】
新進気鋭の若手紅型作家「新垣優香さん」のデザインです。かりゆしウェアを気軽に着るように、「かりゆし名刺」をお使いください。



有限会社ラミネックスセンター HP
<http://www.laminex-c.jp/>

毎月の会議などでも使い、ペーパーレス化をどんどん推進していきたいと語る。

「スマートデバイスオプションは売上状況を確認するのにとても便利です。今後は月次の決算を報告する会議などでもiPad・iPhoneの画面を見ながら議論する予定で、紙の省資源化にも有効です。しかしそのためにはいくつかのクリアしなければならない点があります。まずはスマートデバイスオプションの操作性をさらに高めてほしいという点です。現状ではわかりにくい部分や、操作に戸惑う箇所があり、画面のビジュアルももう少しスタイリッシュだと、仕事のモチベーションアップにもつながると思います」(安慶名氏)

○『PCA商魂X』の優れた検索性によって、確かな顧客情報をすばやくキャッチ

『PCA商魂X』については、「検索性の高さ」が業務に大きく役立っていると評価されている。同社では得意先マスターによって顧客管理を行っているが、当初、検索性のスピードを速めるために年度で区切った操作を考えていたという。しかし次のようなケースがあるため、年度を区切らずに使用しているが、検索スピードは速く、ほとんどのスタッフが便利に利用しているという。

「あるお客様が、この間作ったのと同じようにまたお願いしたいと来店された場合、『この間』は2年前のことを指している場合もあります。そのため商魂の得意先データを蓄積したまま、年度で区切らずに使っているのですが、特に重い印象はなく、すぐにお客様の情報を検索できています」(島田氏)

同社としては『PCA商魂X』をただのデータ保管ソフトではなく、経営判断に有効に活かしていきたいと考えている。

「KPI(重要業績評価指標)としては損益計算書やキャッシュフローはもちろんですが、『PCA商魂X』の売上管理の数字も大いに参考にしようと考えています。ただし現状としては機能が豊富にあるため、どのように集計すれば、自分たちが欲しいデータになるのかがよくわからないまま使っています。例えばウィザード機能のようなものがあって、不明点の一つひとつ確認しながら利用できる機能があるとうれしいです」(安慶名氏)

今後の課題

○那覇店が新都心へ移転。更なる事業拡大のためにもPCAを有効活用していきたい

ラミネックスセンターは3月23日に那覇店を那覇市安謝へ移転。再開発で生まれた沖縄新都心と呼ばれるエリアで、さらなる事業拡大に邁進していこうとしている。ユニークなサービスも展開しており、東京で作成したプレゼン資料のデータを沖縄のラミネックスセンターへ送り、出力・製本。沖縄での会議や取引先で利用するサービスも人気だ。

「様々な企業が集まる新都心への移転やこれまでになかった印刷サービスの提供など、今後も新しいことに積極的に取り組んでいこうと思います。そのためにはスピーディな経営判断が必要で、『PCA商魂X』の売上データの数字は当社にとってとても重要な数字になります。今後は『PCA商魂X クラウド』の利便性をさらに実感できるような運用を行ってきたいですね」(安慶名氏・島田氏)



『ひとりじゃない暮らし』
『家族以上に温かみのある思いやり』
これが私たちが目指すサービスです。

高齢化社会のニーズのために
施設と本部をクラウドでつなぐ！
情報共有で質の高いサービス提供を実現

報恩感謝。『高齢者の幸せ第一』を信念に、
安心して暮らせる社会をつくります。



川商グループ

株式会社 川商

高齢者向け住宅の管理・運営にはじまり、訪問介護ステーションや居宅介護支援事業所の運営まで、幅広く高齢化社会のニーズに応えている川商。どんな立場のご高齢者にも安心できる環境を提供したいとの思いから、営利目的ではなく真に心の通った温かみのあるサービスを提供しており、その施設数も年々増えている。年ごとに大きく展開する施設と本部とを結ぶために導入されたのが『PCA クラウド』だ。

導入システム

- ・ PCA 会計 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 給与 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 商魂 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 商管 9V.2R7 for SaaS (5CAL)

導入の狙い

- ・ 施設数が多く、バラバラである個々の業務を統一したい。
- ・ システム管理者を置かずにも施設の管理を行いたい。
- ・ 初期投資コストを削減したい。
- ・ 施設のミス情報を共有したい。

導入効果

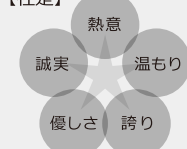
- ・ システムに併せた運用で業務の一元化と情報の共有がスムーズに。
- ・ サーバー・ネットワーク不要のシステムで施設だけで円滑に業務を推進。
- ・ イニシャル0プランで導入コストの大幅な削減を実現。
- ・ 本部側でもデータを参照できるため、施設のミスを把握し、指導が可能に。

プロフィール

川商グループ
株式会社 川商

- 所在地：〒542-0064 大阪市中央区上汐 1 丁目 4 番 6 号 富士ビル 3F
- 従業員数：150 名（パート従業員含む）
- 設立年月日：平成 17 年 3 月 31 日
- 事業内容：○高齢者向け住宅の管理、及び運営
○訪問介護ステーションの運営
○居宅介護支援事業所の運営
- 企業 URL：http://www.kawasho-hl.jp

【社は】



【企業理念】

1. 報恩感謝
2. 「高齢者の幸せ第一」を信念に徹し、社業を通じて社会貢献する。
3. 誠実を旨とし、和を重んじて社業に徹します。

どんな人にも平等に、そして確実に、『老い』はおとずれます。高齢化社会の現在、全てのひとに、そしてその御老人の周囲の方にも、安心できる環境を提供したい。これが、私達の願いです。

老後の一人の暮らしが、どんなに心細くあり、また大変なことでしょう。だからこそ、私達は高齢者が安心して暮らせる環境づくりに全力を尽くします。

『ひとりじゃない暮らし』、『家族以上に温かみのある思いやり』、これが私達が目指すサービスです。

私達は、高齢者向け住宅の運営を通じ、安心してすごせる老後の環境を提供していきたいと思っています。

代表取締役社長 川畑 佳子（企業 HP より）



株式会社 川商
川商グループ 会長
川畑 俊彦 氏

導入前の運用と課題

○様々な立場の人が利用できる 高齢者住宅

川商が提供している高齢者住宅には「誰もが平等に老いを迎えられる」という、他の有料老人ホームとは異なる特徴がある。「私どもの高齢者住宅は生活保護の方でもご入居いただける施設です。深まる高齢化社会、そして様々な事情をお持ちのご高齢者が増え、各市区町村から開設の依頼を数多くいただいております。現在 13 箇所の施設を開設していますが、今後 3 年間で 34 箇所の開設が決定しております。」(株式会社川商 川畑俊彦会長)

○各施設と本部の 2 重管理

施設の数が多い分、クラウド導入前は本部との情報共有がスムーズではなかった。各施設でそれぞれのやり方があったため、中身が見えにくいという問題もあった。「利用者(入居者)への請求書は、各施設で Excel®によって作成・使用していました。しかし未払いや過剰入金による請求残高の管理ができず、本社の総務課が元帳管理を行う 2 重管理でした。多くの施設では経理専門の事務員がいなかったため、請求管理に限界を感じていました。そこで情報を

共有できるクラウドサービスを検討したのです」(IT コンサルタント 堀本禎氏)

導入のきっかけ、導入後の効果

○システム管理者不在でも問題のないシステム環境

川商では IT コンサルタントの堀本氏が IT 業務を担当していた。堀本氏は PCA の製品を以前からよく知っており、川商も古くから PCA の製品を利用してきた。「クラウドを導入するにあたり、もちろん PCA 以外の製品やサービスも検討してみました。福祉施設に特化した専用ソフトも他社にはあります。しかし価格がネックでした。当社は会長の説明した通り、余分なお金をかけるのならその分お年寄りに還元するのがモットーです。そのためシステム管理者は置けません。システム管理者がいなくても各施設と本部とをスムーズに繋げ、かつ価格の面でも納得できるサービスが必要でした。通常、新しくシステムを導入する際には数百万から 1 千万円近くのコストがかかりますが、PCA にはイニシャルゼロプランがありました」(堀本氏)

○万が一の場合にも不安のないクラウドサービス



株式会社 川商
総務部 部長
山下 美由紀 氏

クラウドの場合、システムごと
にライセンスを購入するのでは
なく商魂、給与、会計共通で利用
できるので、給与の忙しい時期は
総務部員全員が利用し、2、3日
で処理できています。実際にクラ
ウドサービスを導入したことで、
本部の事務処理は大きく軽減で
きました。(株式会社川商 総務部 山
下美由紀氏)

「現場では Excel®で入力し、そ
れをクラウドに入れる仕組みを
採用してますが、導入前は入力ミ
スでデータを消去してしまうこと
がありました。しかし現在のクラ
ウドならその不安もありません。
3.11 の東日本大震災でデー
タを消失したという企業があっ
たと聞きますが、データもお預け
している状況ですから、緊急時を
想定しても心配はありません」
(堀本氏)

しかし導入当初はある程度の
時間が必要で、本部の会議室で講
習を開き導入までは半年かかり
ました。でも今は皆さん慣れてお
られますし、ミスがあればどこを
どう間違ったのかを現場と本部
とで共有できます」(山下氏)

今後の課題

○福祉施設ならではの問題

『PCA 商魂・商管』は一般向けの

販売・仕入在庫管理用に作られて
いるが、介護・福祉事業を行って
いる川商にとって不便な点はな
かったのだろうか? 「以前から
PCA の製品やクラウドサービス
を知っていたので、介護・福祉事
業者にとってある程度不便な点
があることは最初から予測して
いました。クラウドというものの
性格上、最大公約数を反映しなけ
ればなりませんから、それは仕方
のないことだと理解していまし
た。例えば介護保険番号や各入居
者様の引き落とし銀行の口座番号
を入力できる項目がありません
でした。しかし『商魂』がバージョ
ンアップし、今後はご利用者様独
自の項目が作成できると聞きた
す。すると今後は本部で引き落
しデータと、引き落としの結果を作
成・利用しながら入金処理がで
きるわけですから、今後はさらに
ミスの軽減や事務処理の効率化
が進むだろうと大きく期待して
います」(堀本氏)

「クラウドサービスによって利
用者の情報を瞬時に確認できる
ようになったのもとてもメリッ
トが大きいです。ただしメンテナ
ンスのために使えない時間がある
ことが少し困りますね。介護施
設や高齢者住宅ではご入居者様
が急に搬送されることがありま
す。その際にもご入居者様の情報



ITコンサルタント
堀本 禎 氏

大阪の高齢者向け住宅なら 株式会社川商のハートランドへ



ハートランド

- ハートランド洛北
京都市左京区静海市原町 207
- ハートランド守口
大阪府守口市佐太中町 6-6-6
- ハートランド淀川
大阪府大阪市淀川区三津屋南 3-5-14
- ハートランド南志賀
滋賀県大津市南志賀 3-21-2
- ハートランド羽曳野
大阪府羽曳野市碓井 4-11-5
- ハートランド和歌山
和歌山県和歌山市布引字尾寄 874-5
- ハートランド布施
大阪府東大阪市長栄寺 4-2
- ハートランド倉敷
岡山県倉敷市北畝 5-20-23
- ハートランド東大阪
大阪府東大阪市若江東町 3-4-48
- ハートランド富田林
大阪府富田林市廿山 1-8-32
- ハートランド北花田
大阪府堺市北区北花田 3-22-9
- ハートランド枚方
大阪府枚方市長尾家具町 3-3-10
- ハートランド西淀川
大阪府大阪市西淀川区出来島 1-12-6



株式会社 川商 HP
http://www.kawasho-hl.jp

を瞬時に確認できればいいのですが。その点がお店や企業、福祉・介護事業者との大きな違いでしょうね」(山下氏)

「冒頭にもお話ししたように、当社は独自の考えで福祉事業を展開しております。多くの介護事業者が優遇措置の大きな都心部に介護福祉施設を開設しようとしますが、私どもは多くのお年寄りが『ひとりじゃない暮らし』を送れるようにあえて地方都市に出て行きたいと考えております。各施設と本部との繋がりや情報の共有にこだわるのには、そのような背景もあるからです。クラウドサービスがそのために力を発揮してくれることを期待しております」(川畑氏)



ICカードをかざすだけで、
給与と明細までスピーディーに発行。
1週間の業務が3日に短縮。
多様な雇用形態にも対応できる、
安心感のある勤怠管理を実現

ジュノー株式会社

ウエディングの撮影・音響・演出を手掛けるジュノー株式会社。年々売上を伸ばしており、2006 年以降はほぼ毎年支社を設立するなど、非常に勢いのある企業だ。規模が拡大するのに伴い、正社員・アルバイト・個人事業主のカメラマンなど、スタッフの数も増加。勤怠管理の負荷が年々大きくなっていた。それを解決するために導入されたのが『PCA 給与』と勤怠管理ソフトだ。現在、IC カードを用いてスムーズな勤怠管理を実現。給与以外の PCA ソフトも利用し、見事に業務の効率化に成功している。

導入システム

- ・ PCA 給与 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 会計 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 商管 9V.2R7 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 商魂 9V.2R7 with SQL(15CAL)
- ・ PCA 減価償却 V.3 with SQL(5CAL)
- ・ PCA 人事管理 9V.2 with SQL(2CAL)

導入の狙い

- ・ 複雑で工数のかかる勤怠管理を改善したい。
- ・ 会計士事務所に依頼している業務をなるべく社内で完結させたい。
- ・ 外注スタッフの管理をより確実に処理したい。

導入効果

- ・ 『PCA 給与』+『就業管理クロノス※1』+『テレタイム X-F※2』を導入。IC カードをかざすだけで、給与明細発行までスピーディーに処理。1 週間の業務が事実上 3 日に短縮。
- ・ 『PCA 給与』で年末調整も社内で行い、また、『PCA 減価償却』で月次の減価償却を把握し、試算表の精度も向上。
- ・ 『PCA 給与』によって、多様な雇用形態のスタッフの勤怠管理が可能に。
- ・ 『PCA 商管』の仕入管理を応用することで、「経費の見える化」に成功。

プロフィール

ジュノー株式会社

- 本社所在地：〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南 3-11-10
- 事業拠点：仙台、埼玉、東京、茨城、名古屋、関西、熊本、沖縄
- 創立：1983 年 9 月
- 社員数：170 名
- 資本金：5,000 万円
- 業務内容：ブライダルフォト&アルバム事業
ブライダルビデオ事業/ビデオアルバム事業
ブライダル音響事業/ステージエフェクト事業
デザイン事業/ウェイトドール販売事業
- URL：http://www.junowedding.jp

《統一されたウエディングは、美しい。》

ジュノー株式会社は主に、「写真」「ビデオ」「サウンド」「演出」と 4 つの事業に力を入れている会社です。

色々なコンテンツで完成されるウエディングの中で、これらの商品を別々の企業に発注するのは会場様にとって、大変な労力になってしまいます。私たちは、上記コンテンツをまとめることで、円滑なコミュニケーションを可能とし、スムーズで統一感のあるウエディングを創造します。

また、トータルプロデュースの大きなメリットとして挙げられるのが、会場様のご要望に対し素早いレスポンスでご対応できること。急な変更があったとしても、迅速にご対応することができ、それに付随して他のコンテンツもトーンを合わせ変更することができるので、会場様の運営管理などのご負担を軽減させることができます。

ジュノーは最高のパートナーとして、理想のウエディングをご一緒に創りあげます。

※ 1・2) :『就業管理クロノス』『テレタイム X-F』は、クロノス(株)の製品です。



ジュノー株式会社
管理部 総務経理課
課長
飯岡 大昇 氏



本社外観

導入前の運用と課題

○年々負荷が増す勤怠管理をスムーズに処理したい

1983 年の創立以来、着実に業績を伸ばしているジュノー株式会社。ブライダルビデオやブライダルアルバム の作成、ブライダル の音響演出などを手掛け、そのクオリティは高く評価されている。多くの婚礼会場や有名外資系ホテルなどと取引し、横浜本社以外に全国に 8 カ所の拠点を設定。ここ数年はスタッフも増え、勤怠管理にはかなりの工数が必要になっていた。

以前は内勤アルバイトの給与計算の場合、①タイムカードをタイムレコーダーで打刻→②勤務時間を Excel® に打ち直し→③その内容を出力し手書きの請求書に改め→④担当者が手計算。という時間も人員も必要な方法だった。同社には本支社合わせて内勤のアルバイトスタッフが約 200 名在籍している。月末に締められた勤怠データが横浜本社の管理部に届くのに約 10 日。25 日の振込に間に合わせるためには、1 週間以内での確認作業が求められ、この期間は残業も発生していた。

このような状況を解決するために、3 年前、給与ソフトの選定が行われた。

「PCA を含め 3 社のソフトを検討しましたが、1 社は機能的に物足りず、もう 1 社は予算オーバーでした。私は以前の会社でも『PCA 会計』を使っていたのですが、『PCA 給与』も体験版を利用し、改めて操作性の高さを実感し導入を決めました」(管理部 総務経理課 課長 飯岡大昇氏)

導入後の効果

○IC カードをかざすだけで、給与明細発行までスピーディーに処理

同社ではスムーズでスピーディーな勤怠管理を行うため、『PCA 給与』+『就業管理クロノス』+『テレタイム X-F』を導入。これは IC カードを利用する方法で、①スタッフは出退勤時に自分の IC カードを『テレタイム X-F』(タイムレコーダー)にかざす→②打刻データは自動で『就業管理クロノス』に吸い上げられ→③『就業管理クロノス』から勤怠データを出力し、『PCA 給与』へ受け入れて給与明細発行。つまり人間の手による作業は最初にカードをかざし、『就業管理クロノス』から『PCA 給与』へ勤怠データを受け入れるだけだ。部内での勤怠データの確認は行われてはいるが、以前のように Excel® 入力する必要はなく、時給などを『PCA 給与』にあらかじめ登録しておけば、給与明細発行まで自動的に処理される。

「勤怠管理業務は大きく軽減されました。今は余裕をもって以前と同じ 1 週間の時間を取っていますが、おそらく 3 日あれば 200 人分を処理できます。管理部の人間よりも、実際にカードを使っているスタッフから『便利だ』という声が上がっています」(飯岡氏)

○勤怠管理業務に必要な「安心感」

同社の場合、個人事業主のカメラマンや内勤以外のアルバイトスタッフなど、雇用形態の多様さが特徴だが、

これらの雇用形態にも『PCA 給与』がうまく利用されている。

「以前は現場でのアルバイトスタッフやフリーランスのカメラマンの勤怠・給与管理には Access® を利用していましたが、Access® はデータが蓄積されると重くなりやすく、経験のある方も多いでしょうが、メンテナンスが難しい面を持っています。そこでこれらの雇用形態についても『PCA 給与』を利用しています。入力そのものがしやすくなり、集計も取りやすい。さらにメンテナンスの負荷がなくなったことで、データベースとしての『安心感』が加わりました。お金、とりわけ給与を扱うわけですから、この『安心感』は非常に大事です」(飯岡氏)

以前は会計士事務所に依頼していた社員の給与計算も『PCA 給与』で行っており、源泉徴収などの年末調整も社内ですべて完結できるようになっている。

○『PCA 商管』をカメラマンなど外注業者の管理に応用

同社では『PCA 商管』もユニークな

方法で活用されている。同社がこだわったのは「仕入管理による経費の見える化」だ。同社の場合、仕入に該当するのが外注スタッフとして働くカメラマンだ。当然、材料費なども付随して発生するが、以前は仕入に該当する業者については Excel® で処理しており、どの業者にいくら払ったか程度の情報しか入力できなかった。

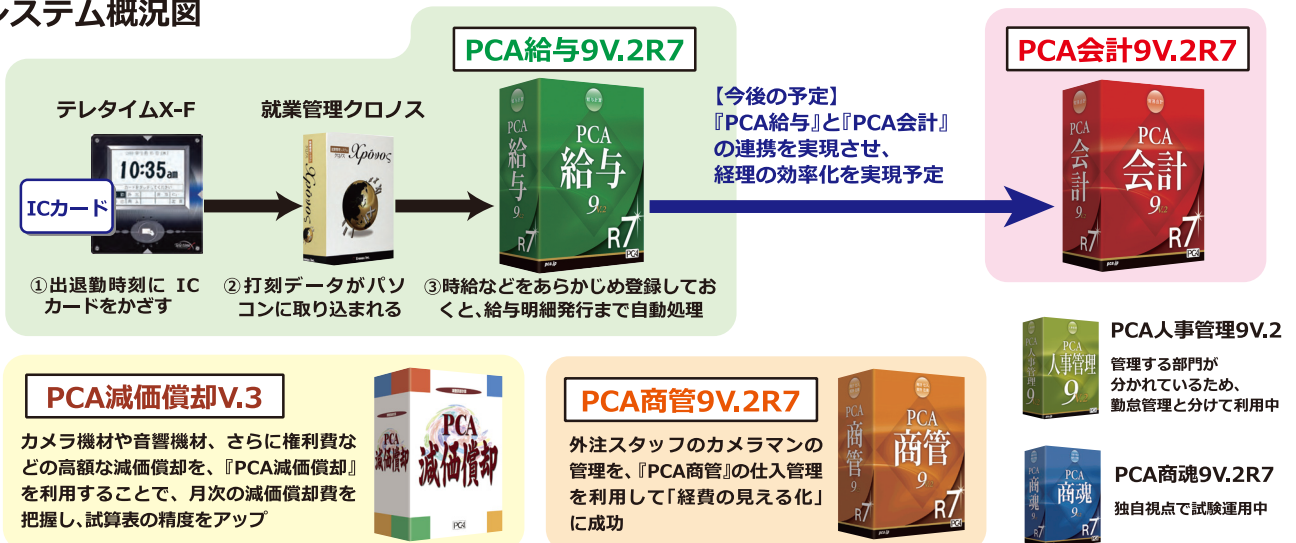
「そこで『PCA 商管』の仕入管理を使うことで、どの業者にどのような仕事でどの部署がいくら払っているのかを、いつでも抽出・確認できるようにしました。とにかく仕入の量が多いので、スピーディーに入力できることが大事です。前回入力した伝票を複写する機能は便利ですし、集計については商品コードや仕入区分を細かく設定できるため、かなり抽出しやすいです」(飯岡氏)

カメラ機材や音響機材などが不可欠な同社の場合、減価償却も大きくなる。加えて業界特有の権利金も発生する。これらも『PCA 減価償却』によって、「社内での見える化」を成功させている。



ジュノー株式会社 HP
<http://www.junowedding.jp>

システム概況図



ジュノー株式会社 《サービス内容》



- ・ 広告宣伝物
- ・ 写真(撮影・制作)
- ・ 空間演出
- ・ ビデオアルバム
- ・ イルミネーション演出
- ・ コンペンディア
(ダイジェストムービー)
- ・ ビデオ(撮影・制作)

「私共のような業種の場合、減価償却費はかなり高額になります。以前は減価償却についても会計士事務所に依頼し、期末にしか数字を確認できませんでした。しかし『PCA 減価償却』を導入したことで、月次で減価償却の数字を把握でき、試算表の精度を上げることができました」(飯岡氏)

今後の課題と展望

○ソフト単体か連携か、より効率化できる方法を採用

『PCA 給与』『PCA 商管』『PCA 減価償却』を非常に有効活用している同社だが、『PCA 会計』『PCA 人事管理』『PCA 商魂』との連携は今後、どのように考えているのだろうか？ 飯岡氏の回答からは、連携にこだわらなくても、先述したように独自視点でソフト単体を活用しても効率化は十分実現できるヒントが見えてくる。

しかし、連携にも意欲的だ。「まず『PCA 会計』については早期に『PCA 給与』との連携を実現させ、より効率的な経理業務を目指す具体的なプランがあります。キャッシュ・フローなどの機能もぜひ使いたいですね。」

また一方で、『PCA 人事管理』については、当社の場合は管理する部門が分かれており、特に連携はさせていません。会社によって違いはあるでしょうが、人事管理と勤怠管理が必ずしも

同一部署とは限らないと思います。

『PCA 商魂』については現状のマンパワーが足りず、まだ具体的なプランが立っていませんが、当社では一般的なメーカーさんとは違う使い方で、『PCA 商管』を便利に利用しています。

『PCA 商魂』でも独自視点で便利に使えるのではと期待しています」(飯岡氏)

ERP システムなども検討したそうだが、まずは現在導入している PCA ソフトをすべて稼働させ、そこで新たに見えてきた問題などを踏まえたうえでシステム環境を充実させたいそううだ。

○業界に先駆けた IT 環境を、
より上質な商品・サービス
へ還元

ジュノー株式会社は社員の平均年齢も若く、いろんなことにトライできる風土がある。システム環境についても同じだ。「この業界はIT化が遅れている傾向がありますが、当社は先駆けてIT環境を整えました。この環境を、今以上にクオリティの高い商品へと結び付けていきたいです」(飯岡氏)



トヨタ自動車グループの経理専門会社を選んだ
高機能パッケージソフトとしてのPCA。
ネットワーク化でデータを一元管理し、
制度改正・税制改正への対応も安心

株式会社 トヨタアカウンティングサービス

世界ブランド「トヨタ自動車」を軸に、様々な業種や領域に広がっているトヨタグループとその関連会社。トヨタ関連企業は通信・旅行・教育・福祉にまでわたり、その総数は数千社ともいわれている。その中の経理専門会社が株式会社トヨタアカウンティングサービスだ。同社が会計支援を行っているのも同じトヨタ関連企業。そしてそこで使われているのは独自開発システムではなくPCAソフトだ。トヨタグループの一角を支えているPCA製品に、パッケージソフトとしてのどんな利点があるのかを伺った。

導入システム

- ・PCA会計X with SQL (30CAL)
- ・PCA人事管理X with SQL (2CAL)
- ・PCA法人税 システムB
- ・PCA給与X with SQL (30CAL)
- ・PCA減価償却V.3 with SQL (30CAL)
- ・PCA建設業会計V.7 システムB
- PCAクラウド BPOプラン (1GBモデル 5CAL)※1
- ・PCA建設業会計V.7 for SaaS
- ・PCA公益法人会計V.12 for SaaS

※1: [BPOプラン] 会計事務所・社会保険労務士事務所・アウトソーシング向けプラン

導入の狙い

- ・データを一元管理でき、制度改正へも柔軟に対応したい。
- ・会計データを親会社が指定するフォーマットに加工したい。

導入効果

- ・ネットワーク化によりデータの一元管理が可能で、パッケージソフトを選ぶことで制度改正などへも柔軟に対応できる。
- ・Excel®との高い互換性によりデータ加工しやすい。

プロフィール

株式会社 トヨタアカウンティングサービス

- 本社所在地: 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目5-13
オリックス名古屋錦ビル11F
- 設立: 1999年7月1日
- 資本金: 1億円
- 株主: トヨタ自動車株式会社 (100%)
- 社員数: 120名
- 主業種: サービス業
- 事業内容: ○経理事務サポート ○経理・原価コンサルティング
○監査サービス ○人材派遣・人材紹介 ○翻訳サービス
- URL: <http://www.tasc2000.net>

経理・会計における 企業の“ベストパートナー”を目指す

経済のグローバル化が一段と加速する中で、企業には事業構造のタイムリーな変革、健全で公正な経営体制の維持がますます求められています。こうした中で経理分野では、上流も巻き込んだ業務改善、決算の早期化、IT導入による効率化、連結ベースでの経営管理資料の充実、厳しさを増すコンプライアンスへの確実な対応など、業務の高度化やスピードアップへの対応が急務となっています。

私たちは経理・会計分野のスペシャリストとして、
●決算の早期化や経営状態の正確な把握を支援する経理事務サポート
●経理業務の改善や効率化を支援する経理コンサルティング
●コストダウンに留まらず利益を創造するトヨタ式原価コンサルティング
●改善支援まで踏み込んだ監査サービス
●高度なスキルを持った経理・総務の人材派遣・人材紹介
等、様々なサービスを通じて企業経営をサポートして参ります。

経理・会計の専門性と、多くのお客様を通じて得られた豊富な経験・ノウハウを活かし、“お客様に信頼されるベストパートナー”を目指して参ります。

※ 2012年 10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



株式会社
トヨタアカウンティングサービス
経理事務サポート部門 Aグループ長
清水 香与子 氏



株式会社
トヨタアカウンティングサービス
統括室 管理グループ
伊東 和子 氏

導入前の運用と選定ポイント

○トヨタ関連企業の会計支援を、スムーズで確実に行うためのシステム選び

株式会社トヨタアカウンティングサービスは、トヨタ自動車グループの経理専門会社として1999年に設立された。顧客の多くはトヨタ関連で、その中にはグローバル展開している企業も多い。そのため米国企業改革法(SOX法)に対応できる内部統制監査サービスの提供や、トヨタ式の原価管理手法を活かした原価コンサルティング、さらに経理のエキスパートの人材派遣も行っている。

「当社のお客様はトヨタ関連企業がほぼ9割です。企業の規模も様々で、大きな企業もあれば、たった数名で運営している企業や団体もあります。小さな企業では1人の社員が経理・総務・人事を兼ねている場合があり、その一方で親会社からは、上場会社に求められるレベルでの決算開示を要求されます。そこで私どもがエキスパートとして会計業務支援を行っています」(経理事務サポート部門 Aグループ長 清水香与子氏)

経理のエキスパートが集結して誕生したトヨタアカウンティングサービスでは、設立時から『PCA会計』『PCA給与』が導入されてきた。選定時にはPCAソフトの「使いやすさ」「Excel®との互換性」が大きなポイントになったという。

そして2006年から導入されたのがSQLによるネットワークだ。同社と顧客を結ぶネットワーク対応のソフトウェアの選定においてPCAを選んだのは、料金を「会社数ではなく利用台数」によって決める料金体系が同社の考えと合致したからだという。

「当時、私どもはお客様がどんどん増えている時期でした。使用料を会社数では

なく台数で決めるPCAの料金システムなら、会社数がどんなに増えても大丈夫だろうと。そこでPCAのSQLネットワーク対応製品を導入し、お客様と同じPCA会計を使って確実な処理が行えるようにしました」(清水氏)

導入後の効果

○Excel®変換により、親会社が指定するフォーマットへの加工も簡単

当初、15社だった顧客の数は、現在約60社へと拡大。そのうち多くの企業が『PCA会計X』『PCA給与X』を利用している。また『PCA建設業会計V.7』『PCA公益法人会計V.12』もネットワーク利用されている。

『PCA会計X』のメリットとして、選定の決め手でもあった「Excel®との互換性」はとても重宝している機能だという。

「Excel®データをいろいろなものに応用しています。例えば総勘定元帳をExcel®で出力し、そこからお客様専用に残高明細のシートをつくる場合があります。またある企業では親会社への月次報告を、その親会社が決めたフォーマットで行う必要があります。そのためExcel®出力されたデータに数式などをあらかじめ手入力で設定しておき、月次データを反映して指定のフォーマットに収めることも容易に実行できます」(清水氏)

○柔軟な検索機能を活用するため、摘要のキーワードを統一

検索性の高さも便利な機能の1つだと評価されている。会計データを同社のみが持っている場合、顧客から問い合わせがあった際には、『PCA会計X』の特徴である柔軟な検索機能を利用することで、該当の仕訳を即座に確認し、素早く回答で

きる。同社の場合、摘要をうまく活用しており、決算時に備えてよく使うキーワードに統一して入力し、後から決算特有の仕訳が検索・集計しやすくなるように工夫している。また、元帳から確認したい仕訳(データ)を選択しズームインすると、該当する仕訳行を先頭に修正画面が表れ、修正や追加などが簡単に実施でき、その結果が瞬時にすべての帳票に反映される「仕訳・検索修正」も便利な機能だと語る。

「PCAソフトを使っていて実感するのは、その使いやすさとわかりやすさです。『PCA建設業会計V.7』の場合も、建設業にとって最も重要な工事別の管理がとてしやすく作られており、設定次第では一つの工事におけるすべてのデータを確実に管理できます」(清水氏)

○入力画面がシンプルなため、余計な操作によるミスも減らせる

同社では自社の社員だけでなく、派遣社員の給与計算にも『PCA給与X』を利用している。さらに顧客の給与計算も請け負っており、30ライセンスをアウトソーシング用、2ライセンスを社内用に使っている。複雑な計算式にも対応できる『P

CA給与X』だが、同社の場合はいたって給与計算はシンプルだ。

「当社は年俸制なので極端に言えば、4月に入力すれば3月まで、交通費の変動がない限りそのまま計算式は変わりません。ですからほとんど使わない機能もあります。そのような場合でも『PCA給与X』は入力画面がとてもシンプルなので、使っている側としても余計な操作をする危険が少なく、心理的にもスッキリ使えます」(総括室 管理グループ 伊東和子氏)

クライアントの場合は、月給制の社員と時給制のアルバイトの両方を雇用している企業も多いが、残業代の計算などは問題なく処理できている。「細かな点になりますが、お客様の立場としては給与明細書のパターンをニーズに合わせて選べる点が、意外と好評だったりしますね」(清水氏)

なお、同社では『PCA人事管理X』も導入しているが、なかなか本稼働には辿り着いていないのが現状だ。『PCA給与X』によってある程度の人事データもカバーでき、また異動の履歴や資格を毎月確実に管理しなければならないという状況でもないからだ。

「当社の場合、様々な資格を持ったスタ



株式会社
トヨタアカウンティングサービス
代表取締役社長
森田 潤一郎 氏

システム概況図

(株)トヨタアカウンティングサービス



摘要キーワードを統一。
柔軟な検索機能を使い、
顧客からの問い合わせにも
スピーディーに対応。

PCAソフトのシンプルな入力画面
分かりやすい操作性により、
顧客の入力担当者が
経理に不慣れでもすぐに使える。

Excel®との互換性が高く、
親会社が指定するフォーマットに
会計データを加工しやすい。

ップがいるのは確かですが、派遣社員を含めても120名程度の規模です。そのため資格や異動履歴を頭で覚えられるという面があります。人事管理ソフトについては、おそらく会社の規模によって効果の実感は変わるのでしょうね」(伊東氏)

○経理未経験者にも使いやすいのがPCAソフト

なお『PCA会計X』は現在11桁までしか入力できず、桁数が増えるとさらに使いやすいというご意見もいただいた。『PCA給与X』については、社会保険改定についてのミスが発生してしまったことがあるという。先に改定後の等級を登録した後で保険料率の変更をしたところ、保険料率の変更が反映されていないということがあり、サポートセンターに連絡すると、登録の順番に問題があると言われました。『PCA給与X』は使いやすい分、システム任せで処理を完了しがちなのですが、やはり確認は必要だなと思いました」(伊東氏)

とは言え、PCAソフトの「使いやすさ、わかりやすさ」は大きな魅力であることに変わりはないと、両氏とも異口同音に語る。総括室 管理グループ 柴田薫里氏はPCA以外に4種類の会計ソフトを使ってきた経験があるが「使いやすさではPCAが一番」だと評価している。清水氏も「経理未経験者でもすぐに使えるようになるのがPCAソフト。使い方がわからないという声は、今まで一度も出ていません」と語る。

○ネットワーク化によるデータ一元管理。制度改正への対応も安心

同社にとって大きな転換点になったのは、やはりSQLによるネットワークへの切り替えだったと語る清水氏。かつては担当者の端末に保管していたデータだが、ネットワーク化によってデータ共有でき、一元管理することで、データ紛失のリスクも軽減できた。そして、PCAのパッケージソフトを使うことで次のような点も解決できたという。

「仮に自前のシステムだった場合、頻繁な制度改正や税制改正への対応は大変です。PCAならそれらへの対応が速く、通知もかなり前に届けてくれます。今後、マイナンバー制度の導入がありますが、PCAにはとても期待しています。またシステム要員が少ない当社においては、パッケージソフトにすることで助けてもらっている部分もあります」(清水氏)

今後の展望

代表取締役社長 森田潤一郎氏は、今後同社の顧客をトヨタ以外の企業や異なる業種・文化の企業にも広げていきたいと語る。「当社にはトヨタの経理畑を歩んできたエキスパートも多く在籍しています。自動車製造業とは全く関係のない業種のお客様もおられ、例えばトヨタでの原価管理方式が全ての企業にそのままフィットするとは考えておりません。しかしトヨタの経理業務の考え方や手法を移植することにより、必ずシナジー効果が生まれるはずと考えております。当社のサービス品質を更に高め、貢献させていただく企業や業務の幅を今後も広げていきたいと思ひます」



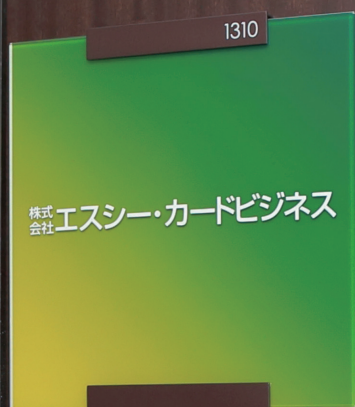
(株)トヨタアカウンティングサービス HP
http://www.tasc2000.net

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



『PCA eDOCX』によって
会計データと経理確証を紐付け。
監査法人との迅速なリレーションを強化

株式会社 エスシー・カードビジネス

株式会社エスシー・カードビジネスは、大手クレジットカード会社のグループ企業として、保険・旅行・通信販売など幅広い事業を展開している。「信用」を取り扱う企業のため、会計業務には確実性が求められ、監査法人との緊密なリレーションも必要だ。そこで利用されているのが『PCA eDOCX』だ。証憑をデータ化することで、よりレベルの高い信頼性の確保を実現している。『PCA eDOCX』の良き成功事例を紹介する。

導入システム

- ・ PCA 会計 X with SQL (20CAL) ・ PCA 商魂 X with SQL (2CAL)
- ・ PCA 商管 X with SQL (2CAL) ・ PCA 減価償却 V.3 with SQL (2CAL)

導入の狙い

- ・ 会計データのアウトプットが帳票のみであり、関連証憑と併せて管理したい。
- ・ 監査法人からの経理確証の要求に迅速に対応したい。
- ・ 伝票入力の二度手間の負担を解消し、年々負荷が増していた総務部全般の業務を効率化させたい。
- ・ ホストコンピュータの利用時間に縛られず業務を遂行したい。

導入効果

- ・ 請求書・売上報告書等の関連証憑を PDF 化し、『PCA eDOCX』によって振替伝票に紐づけすることで管理業務を効率化。
- ・ 『PCA eDOCX』で連携された経理確証を『PCA 会計 X』で素早く確認。監査法人側から見ても、監査しやすい環境に。
- ・ 『PCA 会計』の自動仕訳機能によって入力作業を簡素化、また、『PCA 会計』『PCA 商魂』『PCA 商管』を連携させて入力業務を効率化。
- ・ ネットワーク環境により、他部署でも経理入力が可能に。メンテナンスも容易にでき、稼働時間を気にせず業務を行える。

プロフィール

株式会社 エスシー・カードビジネス

- 所在地: 〒105-0022 東京都港区海岸 1丁目 2番 20号
- 設立: 1983年 4月
- 資本金: 14億 3千万円
- 従業員数: 49名
- 主業種: 保険代理店、広報物作成、通信販売
- 業務内容: 保険代理店、メディア制作、通信販売、チケット販売、旅行、広告代理店、催事

オフィス内風景



導入前の運用と課題

○膨大な紙の山、伝票処理の二度手間、ホスト利用時間の制限が問題に

三井住友カードグループの一員である株式会社エスシー・カードビジネス。同社では以前、関連会社のホストコンピュータを利用して、会計処理を行っていた。ホストコンピュータに置いた同社の経理システムに入力できるのは総務部のみで、会計処理の流れは、Excel®で振替伝票作成→精査→ホストコンピュータに入力→再び精査という二度手間の繰り返しだった。

当然、決算時は総務部に処理が集中し、残業や土日出勤も重なった。加えてホストコンピュータには利用時間の制限があり、決算時は稼働時間をわざわざ延長して処理を行っていた。当時の状況について、総務部副部長 田川益弘氏は次のように振り返る。

「当社は月次決算を行っており、仮締め・本締めごとに、各部署から帳簿がごっそり入った段ボール箱が送られてきていました。その数は毎月 10箱におよび、不要になった帳簿は地下の巨大シュレッダーで 1日半かけて処理するのですが、夏場は扇風機を数台かけながらひたすら裁断していましたね(笑)」

このように、①会計データのアウトプットが帳簿のみである点。②そのため監査法人からの資料提出の要求に時間がかかる点。③伝票入力の二度手間の負担。④ホストコンピュータの利用時間に縛られた環境……。これらの問題を解決するために、新システムの検討が始められた。

選定のポイントと稼働までのスケジュール

○経理知識がなくても、入力しやすい「自動仕訳」機能が決め手に

会計ソフトの選定にあたり、PCAを含む大手 4社のシステムが比較検討された。先述した 4つの課題の解決だけでなく、コスト面なども厳しく比較検討されたが、コスト面についてはPCAに大きなアドバンテージがあったという。また他の関連会社で PCAを利用している実績もあった。そして何よりも大きな決め手となったのが、「自動仕訳機能が非常に便利そうだった」(田川氏)という点だ。

「総務部へ集中していた経理業務を、いかにスムーズに効率化できるかが改善のポイントでした。そこで他部署で経理入力がある程度行ってもらうことにしたのですが、全員が経理に詳しいわけではありません。しかし自動仕訳なら、入力するのは数字のみです」(田川氏)

平成 18年 4月に『PCA会計 8V.2』『PCA商魂 8V.2』『PCA商管 8V.2』が導入され、当初は旧システムとの並行稼働を慎重に行っていたが、約 1カ月で PCAのシステムに全面的に切り替えられた。現在は、『PCA会計 X』『PCA商魂 X』『PCA商管 X』へとバージョンアップされ、ネットワーク化により他部署からの入力も可能にしている。そのため膨大な帳簿類の処理も不要となった。

導入後の効果

○『PCA eDOCX』で会計データと経理確証を紐付け

PCAの会計システムの導入について「全体的に満足している」と語る同社。とりわけ『PCA eDOCX』への評価は高い。じつは同社では以前、e-文書法に準じた帳票管理を検討したことがあるが、電子



株式会社 エスシー・カードビジネス
総務部 副部長
田川 益弘 氏

署名やタイムスタンプの運用コストに莫大な費用がかかるため、やむなく断念したという経緯があった。

「ところが『PCA会計』ソフトを改めて見直したときに、e-文書法に対応した『PCA eDOCX』という機能があることに気がきました。これなら会計データと請求書などの経理確認を紐づけられ、業務を確実に効率化できると考えました」(田川氏)

同社は管理する証憑類が膨大な量におよび、会計業務も精度の高い内容が求められる業種だ。そのため監査法人とは緊密で迅速なリレーションが必要となる。以前は監査法人から経理確認の提供を求められるたびに、大量の紙のファイルを開かなければならなかった。監査法人からの確認や質問も当然1つ2つの数ではない。しかし現在は、『PCA eDOCX』によって、会計データを開くと同時に、請求書・売上報告書を確認できる。

この“対監査法人”に重点を置いた『PCA eDOCX』の使用法について、田川氏より非常に示唆に富んだアドバイスをいただいた。

『PCA eDOCX』をe-文書法対策とし

て利用している企業様から見れば、当社の使い方は、いささか変わっているかもしれません。またいずれにしても、紙の証憑類の保存は必要です。しかし監査法人とのリレーション強化、迅速な経理確認の提供という面では、大きな効果が表れ、実際に業務の効率化や残業時間の短縮に結びついています」(田川氏)

田川氏の言葉は、『PCA eDOCX』は企業それぞれの事情に応じて、様々な用途に工夫し利用できることを示しているだろう。

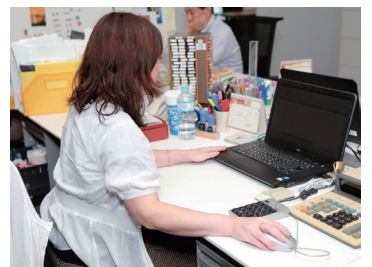
○『PCA eDOCX』の見える文書化への作業も容易

『PCA eDOCX』はどのような形式のファイルでも管理可能であり、同社では請求書・売上報告書をPDF化して利用している。実際に入力作業に携わっている総務部 上塚智美氏に、一連の作業について負担はないかを率直に伺った。

「貼り付け作業については、『Xシリーズ』にバージョンアップしたことで、時間は半減しました。当初は貼り付け作業については各部署にお願いしようと思っていましたが、現在は総務部だけで十

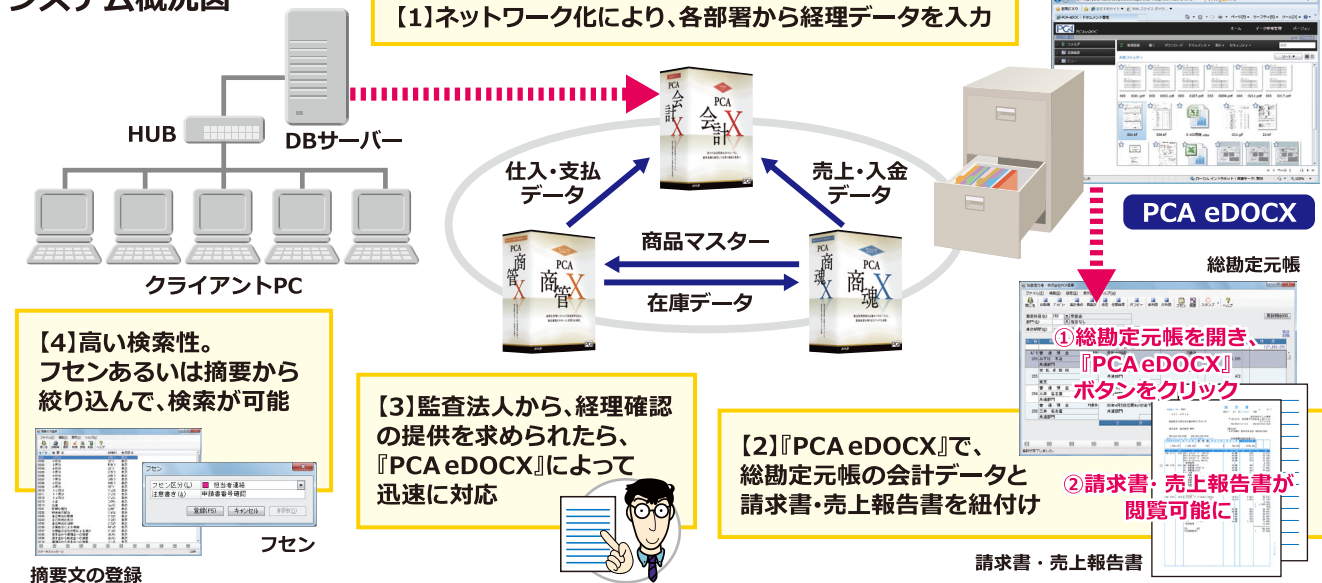


オフィス入口



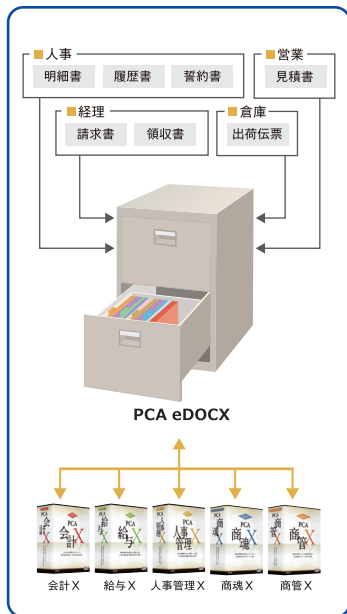
オフィスにて撮影

システム概況図



PCA eDOCX

- ◆e-文書法に対応した、PCA初の基幹業務連動型文書管理システム
- ◆『PCA Xシリーズ』に標準搭載
- ◆『PCA Xシリーズ』との完全連動
- ◆同時 100ユーザーまでの利用を想定(SQL Server Expressを利用)
- ◆『PCA eDOCX』の文章を伝票や帳票に紐付ける『eCLIP機能』を搭載。さらにXシリーズから『PCA eDOCX』へのアップロードも可能



分に対応できています。閲覧については、『PCA会計 8V.2』に比べると、遅くなった感じは受けますが、1度開くとその後はスムーズに開くので、特に大きなストレスは感じていません」(上塚氏)

○システムのプロでなくても管理できるネットワーク環境

同社は『PCA eDOCX』だけに限らず、PCA製品の特長を上手につかみ、実際の業務へ有効に反映させている。例えば日常的に使っている振替伝票入力では、メモ機能付きのフセンを利用しており、「後からフセンの種類を選んで、その帳票だけ絞り込んで出力できるのが便利」と上塚氏は評価している。また、全角で128文字の入力ができる摘要機能については、「よく使う摘要文はあらかじめ登録できます。例えば仕訳修正で金額が合わなかったときに、この摘要から検索できます。PCAソフトの検索機能は非常に使いやすいですね」(上塚氏)

管理資料の作成も容易になった。以前のホストコンピュータを利用したシステムでは、会計データをExcel®データなどに変換できなかったが、『PCA会計X』では簡単に変換でき、総勘定元帳や部門別一覧表、決算書などを非常にスピーディーに作成できるようになった。

ネットワーク環境への移行も、大きな意味をもたらしたと田川氏は語る。

「スタンドアロンからネットワークへ移行したときに、一番問われるのは管理面だと思います。PCAのネットワークはシステムのプロでない私でも管理が可能です。サーバールームに入らなくても

デスクの上でユーザー追加などを行えます。仮にシステム会社に依頼していたら、費用が発生する内容でしょうが、これらを社内でメンテナンスできる点は大きいです」(田川氏)

今後の課題と展望

○PCAソフト導入によって、減った人員分の業務もカバー

PCAのシステム導入以降、以前のような土日出勤の頻度は極端に減ったと語る同社総務部。部署の人員が以前より減っているにも関わらず、問題なく業務を遂行できている。この点については両氏とも次のような見解で一致している。

「人員を補充することなく業務を遂行できているのは、総務業務の見直しも当然行いましたが、それ以上にPCAソフトの導入が大きく功を奏した結果だととらえています」

PCAソフトの特徴を巧みに活かした業務を実現している同社総務部。今後もさらなる工夫を重ねて業務のスマート化を進め、同社の事業をより力強くバックアップしていきたいそうだ。



スクール数増加にともなう経理処理の負担を「会計のネットワーク化」で解決。安定したネットワーク環境でスクール側の負担も軽減。マネージャーの経営管理レベルも向上

ノアインドアステージ株式会社

全国規模のテニススクールを運営しているノアインドアステージ株式会社。毎年、着実にスクール数を増やしており、業界トップクラスの会社規模を誇る。ここ数年はスクール数・スタッフ数の大幅な増加を受け、日常の会計処理の負担も増加していたが、それを解決するために導入されたのが、『PCA会計 X』を本部と全国のスクールで結ぶネットワーク環境だ。他業種に比べ、IT化の遅れが指摘されがちなテニススクール業界において、いち早く IT化を促進している同社。ネットワーク化によって生まれたメリットを伺った。

導入システム

- ・ PCA 会計 X with SQL RD Edition (30CAL)
- ・ PCA 給与 X with SQL (2CAL)

導入の狙い

- ・ スクールでの入力ミスにより、本部とスクールの現金出納帳の残高に不一致が発生。
- ・ スタンドアロン型の利用では、21 校のバージョンアップ費用が高額になる。
- ・ スクール側のシステムエラーやバックアップデータの管理などで、手間がかかっていた。

導入効果

- ・ ネットワーク化によりデータを共有することで、本部側で入力ミスを発見し修正できる。
- ・ 『PCA 会計 X with SQL RD Edition』に切り換えることで、バージョンアップ費用だけでなく、保守費用も低減させることに成功。
- ・ 本社サーバーで一元管理できるため、スクールのシステム管理負担が軽減。

プロフィール

ノアインドアステージ株式会社

- 本社・関西運営本部：〒672-8014 兵庫県姫路市東山 524
- 事業所：兵庫県(姫路市八家、姫路市青山、加古川、名谷、宝塚、西宮、尼崎、神戸) 大阪府(吹田、大阪市鶴見区、大阪市西成区、吹田、八尾)、京都府(京都) 滋賀県(草津)、埼玉県(さいたま、和光)、東京都(国分寺) 神奈川県(横浜)、岡山県(倉敷)、広島県(広島)
- 設立：昭和 55 年 5 月
- 社員数：600 名
- 資本金：5,000 万円
- 事業内容：テニスクラブ及びテニススクールの企画・運営／フットサルサービス 企画・運営／テニスインストラクターの養成・派遣／テニスイベント 企画運営／テニス用品販売／学習塾の経営
- URL：<http://corp.noahis.com/>

関西・関東に 21 のテニススクール
～ 楽しいテニススクールを追及するプロ集団 ～
ノアインドアステージ株式会社



テニススクール・ノア 武蔵浦和校 外観



ノアインドアステージ株式会社
管理本部
長竹 宏昌 氏



テニススクール・ノア 姫路校
テニスコート

冷暖房完備で夏も冬も快適です。コート周囲も広く明るい開放的なインドアカーパーケットコートが4面と、アウトドアオムニコートが4面完備。

導入前の運用と課題

○スクール数の増加に伴い、会計データの処理数も増加

昭和 55年、姫路市の屋外コート10面からスタートしたノアインドアステージ株式会社。インドアテニス人気の高まりと、同社の充実した顧客サービスや働きやすい環境などが評価され、現在、全国で 20校のテニススクールを運営。約 600名のスタッフを擁する業界最大規模の企業へと成長している。

同社では以前より『PCA会計』が使用されており、本部と各スクールでそれぞれ個別にスタンドアロン形式で利用されてきた。各スクールでは現金出納帳の小口現金入力のみが行われ、そのデータを本部で取り込み、確認・集計を行っていたが、本部の集計と各スクールの集計が一致しないこともあった。

その場合は、伝票番号や日付などの入力ミスがないかどうかを、本部から各スクールに連絡。各スクールで出力した現金出納帳を本部へ送付してもらい、どの伝票が抜けているかを確認し、修正していた。

「以前から伝票番号の添付もれによる現金出納帳の残高の不一致は発生していましたが、スクール数が少なかった所以对応できていました。ところがスクール数が一気に増え、1校について数件の入力ミスがある場合もあり、本部での集計・確認作業に時間がかかるようになりました。この手間を何とか軽減したいと考え、本部と各事業所の『会計のネットワーク化』を検討し、まずは姫路校でテスト導入し、昨年 4月から全校で本格稼働させました」（管理本部 係長 鍛冶氏）

選定のポイント

○コストも決め手に。ネットワーク版への切り換えで本部一括管理

『PCA会計 X』のネットワーク導入については、本部と各スクールのデータ共有が最大の目的だったが、トータルコストも魅力的だったと管理本部 長竹宏昌氏は語る。

「各スクールでスタンドアロンのまま『PCA会計』を使用し続けた場合と、ネットワーク化した場合とのコストを比較し、当社にはネットワーク版の方がはるかにメリットがあるとわかりました。仮に全校のパソコンを 1台ずつバージョンアップしていくと、ライセンスも保守費用もかなり高額になります。今はその不安がないですからね」（長竹氏）

導入後の効果

○各スクールではスムーズに新システムに移行

会計のネットワーク化によって、実際に現金出納帳の正確なデータの取り込み作業は、時間も手間も大きく軽減された。この点については、本部スタッフだけでなく各スクールのスタッフにとっても意味があると、姫路校フロントスタッフの中村美帆氏は評価する。

「以前はスクール側で入力漏れがあった場合、経理担当の鍛冶から連絡が入り、そこからまたレシートや領収書と入力内容を見比べ修正しなければならませんでした。しかしネットワーク化されたことで、確実に鍛冶の手でミスを修正してもらえるという安心感があります。

また使用している会計ソフトは以前と変わらないので、使う側は改めて新しい操作や機能を覚える必要がありません。現場としては非常にスムーズにネットワーク環境へ移行できました」(中村氏)

○安定したネットワーク環境で、メンテナンスも楽に

『PCA会計 X』のネットワーク化は、メンテナンス作業の軽減という効果ももたらしている。まずバックアップについては、以前なら各スクールで行われていたが、ネットワーク化によって現在は本部にあるサーバーで一元管理できる。古いパソコンを使用していたスクールでは、『PCA会計』が起動しない場合もあり、原因切り分けには時間も労力もかかっていたが、リモート接続などでスクール側の端末に入れるため、今はスムーズに対応ができています。また、スクール側で誤って初期化しデータが消えてしまうという不安も現在では不要だ。

「管理・メンテナンスは非常に楽にな

りました。以前はスクール側にトラブルが発生した場合は、私自身が動かなければならないケースもあり、関東まで赴くこともありました。移動の負担よりも、スクール側の会計入力その間ストップしてしまうことが問題です。昨年4月の本格稼働後にはシステムダウンも一切ありません」(長竹氏)

○ユーザー管理で他校の伝票が混ざらないように設定

ネットワーク化したことで、正確な会計データの取り込みという課題はクリアできたものの、セキュリティについてはより注意が必要になったと鍛治氏は語る。そこで同社ではユーザー管理で、例えば姫路校のデータなら姫路校でしか入力できないように設定している。

「この点については今後、さらに工夫を加えていきたいポイントです。というのは、スクールを兼任しているフロントスタッフもあり、他校の経費も入力できればよいという意見もあります。しかし伝票が混ざってしまう危険性があるた

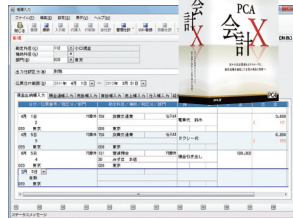


ノアインドアステージ株式会社 HP
<http://corp.noahis.com/>

システム概況図

PCA会計X with SQL RD Edition (30CAL)

帳簿入力



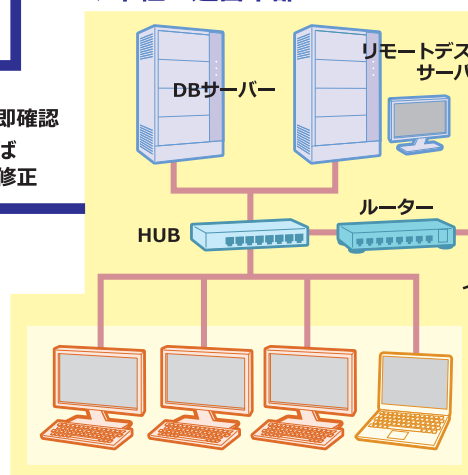
- ② 本社でデータを即確認
- ③ 入力ミスがあれば本社にてデータを修正

with SQL RD Edition運用後のメリット

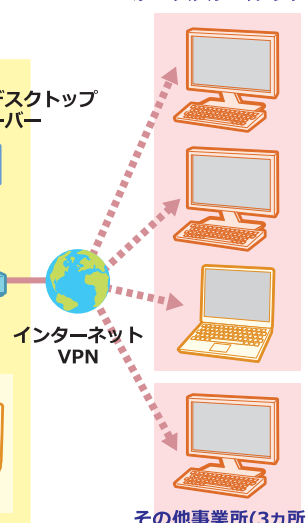
- 事業所ごとのソフトの管理が不要になった。
- 事業所ごとのバックアップ作業が不要になった。
- 事業所での操作ミスによるシステムトラブルが軽減。
- 事業所単位の損益がスムーズに確認できるようになった。

① 各事業所で「現金出納帳」を入力

◆ 本社・運営本部



◆ 事業所(20カ所)
＜テニススクール・ノア＞



その他事業所(3カ所)

事業内容

1. テニススクール事業

テニス事業の特性

テニス事業の特性は、他のスポーツ事業とは異なり、テニスを行う人口変動が他のスポーツに比べ少ない、つまり安定した収益を見込むことが可能なスポーツ事業であるということです。

テニスは歴史と実績に、証明されてきたスポーツです。そして、ジュニアから、シニアまで、生涯スポーツとして楽しめるのもテニスの特徴です。今、錦織選手の活躍に憧れ、少年達がテニスを始め、クルム伊達選手の活躍に勇気づけられ、レディース層、シニア層でも益々、テニスが盛んに行われています。

事業の受託・土地や施設を活用したい方

- 今経営しているテニスクラブを盛り上げたい方
- テニスコーチの派遣をしてほしい方
- テニスコートやテニススクールを作りたい方

ぜひノアにお任せください。ノアでは現在 21 のスクールを運営しており、地域に根ざした経営のノウハウがあります。

健康に役立つスポーツの素晴らしさを皆さんと感じたい、老若男女が集えるテニスをたくさんの方に知っていただきたい、そして地域社会から世界平和と様々なシーンに貢献するテニスの楽しさをお伝えしたいという願いをお客様と共有し、必ず実現いたします。

2. テニスコーチ派遣事業

いかに楽しいテニスの時間を過ごせるか？それはコーチの腕の見せ所です。

ノアでは、テニスコーチを全国に派遣しております。時間、場所を問わず、どこでもコーチを派遣しております。

全国 21 拠点、たくさんの会員様に支持される、ノア品質のレッスンを、オンデマンドでお届けさせていただきます。

3. テニスイベントの運営

ノアでは、定期的にテニスイベントを開催しています。初心者の方から、テニス上級者の方まで、ご参加していただける皆様全員が楽しめるイベントになるようスタッフ一同努めております。満足度 100% のイベント運営能力もノアの強みです。

- < イベント例 >
- ・ジュニア・キャンプ
 - ・スクール生トーナメント
 - ・サマーキャンプ
 - ・リーグ戦
 - ・その他イベント

< ※解決済 >

特定のプリンタをご利用の場合に以下の現象が生じることがございます。プリンタドライバインストール後にプリンタ名を変更した場合、プリンタ情報の取得に時間がかかる場合がございます。

プリンタドライバのインストール時に任意のプリンタ名を設定頂ければ問題ありません。

め、現在はユーザー管理で機能も部門もロックをかけ運用しています。今後は各スクールで合計残高試算表なども参照できるようにしたいと思っており、もう少し柔軟な利用ができないかを検討しているところです」(鍛冶氏)

○損益管理に必要な部門別一覧表をすばやく集計

なお、『PCA会計 X』は集計スピードが速いという特徴があるが、同社でもスクール毎の損益計算書を集計し、出力された帳票は本部だけでなく各スクールのマネージャーも確認し、経営管理へ役立てている。

「部門別一覧表をスピーディーに出せるようになった点は便利です。まさに一気に集計できる感じです。Excel®データや PDFデータへの変換も本当に簡単です。当社では KPI(重要業績評価指標)としてスクール別の売上などを指標にしているため、スクール毎あるいは部門毎に集計を迅速かつ簡単に出来る点は便利です。しかし帳票を出力するのに時間がかかるようになってしまいました。この点は今後、PCAに改善を期待したい点ですね」<※解決済>(鍛冶氏)

今後の課題と展望

○本部と現場の双方が、業務の効率化・便利さを実感

同社では『PCA給与』も本部で使用されている。約 600 名のスタッフの給与を

担当している管理本部 係長 大西亮氏は「『PCA給与』は Excel®形式に落としやすいので、処理がしやすい」と評価している。同社では給与明細書を Web 配信サービスを利用して配布している。『PCA給与 X』からの明細書データを CSV データで Web 配信サービスに受け渡しする形だ。これによって明細配布の時間が大幅に短縮された。以前は 3 人のスタッフが 3 日掛かりで 600 名分の給与明細の郵送処理にあたっていたが、同社代表取締役社長 大西雅之氏から改善を求められたそうだ。

「コストが同じであれば効率の良い方を選び、そこで生まれた時間を別の新たな業務や取り組みに活かすべきだというのが、社長の真意なのだととらえています」(大西氏)

なお、同社が業界に先駆けて IT 化を実践できている背景には、PCA のネットワーク環境を導入する前から VPN を利用しており、IT インフラがすでに整っていたという点も大きい。『PCA会計 X』については、操作に慣れたスタッフが増えており、以前は PCA の担当者がスクールへ指導に行く場合もあったが、現在は新規校のオープン時には操作に慣れた同社スタッフが指導にあたっている。管理本部としても仕事を進めやすく、一言でいうなら「やはり便利になった」という感想だそうだ。

同社は 30 校のオープンを目標にしており、横浜市のセンター南駅前の開校も決定している。今後さらに規模を増す同社にとって、「会計のネットワーク化」により大きな期待がかかっている。



資格だけでは表しにくい経験値や技術力を『PCA人事管理X』で管理。

PCAソフトを利用することで、業務を見直しルール化できる

有限会社 マックス・ベア

熊本県山鹿市に本社を構える有限会社マックス・ベア。地域密着型の清掃業を展開しており、県内でも数台しかない高性能の機器の導入や火山灰の除去など、クオリティの高い幅広いサービスで実績を築いている。業績の拡大とともにスタッフ数も増え、大きな課題になってきたのが「管理業務のスマートなルール化」だ。そこを今、PCAソフトによって整備していこうとしている。清掃業という「人」が基準になる管理の問題を、PCAなら解決できると考えている。

導入システム

- ・ PCA 会計 X with SQL 2CAL
- ・ PCA 給与 X システム A
- ・ PCA 人事管理 X システム A

導入の狙い

- ・清掃業にフィットする販売管理・財務会計を導入し、ヒト・モノ・カネの管理をおこないたい。
- ・管理業務をルール化し、スタッフの業務の負担を抑えたい。
- ・複雑な給与処理をなんとかしたい。
- ・「人」「技術力」を管理したい。

導入効果

- ・『売上原価Pro』と『PCA会計X』との連動により見積書作成から請求事務を行うだけで案件毎の利益が把握でき、会計処理(会社全体の業績管理)まで反映。
- ・PCAソフトのネットワーク化によって、管理業務の流れを作り、効率化を実現。
- ・『PCA給与X』なら様々なシフトの複雑な勤務形態にも対応できる。
- ・『PCA人事管理X』なら詳細条件での社員抽出が可能で、資格で表しにくい経験なども検索、絞り込みができる。

プロフィール

有限会社 マックス・ベア

- 所在地:〒861-0323 熊本県山鹿市鹿本町下分田934-1
- 設立:平成18年8月1日
- 資本金:300万円
- 社員数:8名(パートナー11名)
- 主業種:清掃業
- 事業内容:建築物清掃業(ビル及びハウスクリーニング全般)
山鹿市一般廃棄物収集運搬業務
熊本県産業廃棄物収集運搬業務
- 関連会社:(有)フジマル装研(パートナー87名)
- http://www.205901.com/



地域密着型おそうじ集団『マックス・ベア』です。
山鹿の地より皆様へ
“キレイ”をお届に参ります。

私たちは仕上がりに自信があります。
創業以来、マックス・ベアには営業マンがおりません。
クチコミとご紹介だけで、歩んできました。
現場で一生懸命働くスタッフが、営業マンです！



(有)マックス・ベア
イメージキャラクター「プラストくん」



有限会社 マックス・ベア
代表取締役
富丸 寛之 氏

※1)
販売管理ソフト
売上原価Pro

(株)アイ・ジェイ・エス

《正確な利益が分かる》

受注から売上と仕入が紐づいているので、売上に対してかかった仕入情報履歴が見えます。在庫額と原価が連動し、案件ごとの利益が明確化します。

《会計ソフトとの連動》

商品分類で勘定科目を設定でき、売掛金、未収金、買掛金、未払金、前受金、前払金の仕訳も対応できます。



有限会社 マックス・ベア HP
<http://www.205901.com/>

導入前の運用と課題

○現場ごとに料金が異なる清掃業。複雑な「人」と「作業内容」を確実に管理しルール化したい

有限会社マックス・ベアはオフィスビルや住宅、さらには旅館などのハウスクリーニング全般を手掛けており、その丁寧で確実な作業内容は高く評価され、着実に業績を拡大してきた。創業当時は家族経営の小さな企業だったが、今では関連会社も持ち、従業員も、関連会社の社員・パート・アルバイトを含めると100名規模に成長している。事業を拡大していく中で、代表取締役 富丸寛之氏はある課題にぶつかった。それは「清掃業にあう会計ソフト、販売管理ソフトがあまりない」ということだった。

「清掃業の場合は作業そのものが対価となります。いわば人が商品のようなものです。一方でフローリングに使う薬品など在庫も少量ですが発生します。作業費はその内容や行う場所によって金額は変わり、その作業を担当する者やチームの人数によっても差が生まれます。このような細かな事情を反映できるソフトがあまりなく、おそらく多くの同業者は何かのソフトに無理やり合わせて使っていると思います。当社でも現場と従業員のデータをソフトと紙でバラバラに管理している状況が続いていました」(富丸氏)

同社の場合、以前は見積り作成のソフトで見積書と請求書を作成。実際の細かな作業内容は紙の工事台帳で管理していた。同社では会計ソフトのみ古くからPCAを利用しており、『経理じまん』から『PCA会計』へとバージョンアップして請求書を見ながら仕訳入力を行っていたが、目で数字を拾う作業のため効率も悪かった。

「おかげさまで徐々に仕事数も増え、それに連れてスタッフの人員も増え、事務員

にかかる負担も大きくなっていました。はやいうちに『スマートで確実な管理業務』を構築し、『業務のルール化』を徹底しておかなければならないと考えたのです」(富丸氏)

選定のポイント

○PCAソフトを利用すれば、業務をイチから見直し、ルール化できる

同社では十数年前から『経理じまん』を導入しており、その簡潔な使いやすさを高く評価していた。その後はバージョンアップを繰り返し、現在は『PCA会計X』さらに『PCA給与X』『PCA人事管理X』も導入している。『PCA会計X』は『with SQL』のネットワーク環境によって関連会社のパソコンからでも入力できるようにしており、販売管理ソフト『売上原価Pro』(株式会社アイ・ジェイ・エス)※1を連携させている。

「PCAソフトは使いやすく慣れ親しんでおり、販売管理ソフトとのフレキシブルな連携機能も大きな魅力でした。また当社の顧問税理士もPCAを使用しており、その機能性や操作性の高さを評価していました。そこで『PCA会計X』と『売上原価Pro』、さらに『PCA人事管理X』『PCA給与X』を利用することで、当社の経理・販売管理、さらに人事管理もルール化できると考えました。PCAソフトの処理の流れに沿うことで、我々の業務をイチから見直して整えていきたいと思ったのです」(富丸氏)

導入後の効果

○『PCA会計X』だからできる販売管理ソフトとのフレキシブルな連携

同社では『PCA会計X』と『売上原価Pro』を連携させて、次のような運用を行ってい

る。仕事の依頼が入ると『売上原価Pro』で見積書を入力・作成→顧客情報を入力→受注リスト→依頼された業務を実行→請求書発行。『PCA会計X』とはフレキシブルな連携機能によってつながっており、売掛金、未収金、前受金などの仕訳を瞬時に連動させることができる。そのため何度も入力する必要がなくなり、ミスも防ぎやすい。伝票入力の時間も大幅にカットでき、効率化によって他の作業に時間をかけられる環境を実現している。

連携機能によって請求データは『PCA会計X』へスムーズに受け渡される。同社の場合は、決算を会計士事務所へと委託しているが、将来的には自社内で『PCA会計X』の豊富な機能をフルに利用して、決算まで行いたいと考えている。

「会計士事務所の先生には、コンサルティングの面で今後も変わらずにお世話になっていきたいと思っていますが、理想としては社内での自計化をさらに進化させていき、予実管理なども社内で行ってきたいです。現在は会計士事務所に依頼しているため、予実管理の結果を知るのに1カ月の時間がかかっている状況です。しかし今後は『PCA会計X』をさらに使いこなして、タイムリーに経営判断ができる環境を作っていきたいですね」(富丸氏)

また同社では『PCA会計X』を本社と関連会社でネットワーク化しており、常に最新の会計情報を共有できている点もとても便利に感じていると話す。

なお、『PCA会計X』では決算書を報告式・勘定式・比較式それぞれで編集ができるため、自社に適した決算書を作成しやすい。清掃業など事業にマッチした会計ソフトが少ないために困っている業種でも決算書を作りやすく、word出力も可能なため自社にとって適切な決算書のレイアウトも可能だ。

○資格で表しにくい経験値・技術力を『PCA人事管理X』なら管理できる

現在、関連会社を含めて100名規模の社員・パート・アルバイトが在籍している同社では、『PCA給与X』『PCA人事管理X』の特性を今後さらに活かしていきたいと考えている。特に清掃業の場合はスタッフの雇用形態も様々で、かつ勤務時間も人によって大きく異なる。そのため確実にミスなく処理できる給与・人事管理システムを必要としていた。

「給与の計算が一番間違っはいけない部分です。そのため当社のような複雑な勤務形態や時給計算に対応できる給与ソフ

(有)マックス・ベア 木製フロア専用コーティング ミラーコート

「安心成分の施工素材」、「汚れに強くお手入れ簡単」、「水や油のしみ込みを防いで滑りにくい」等の特性を持つコチラの施工は、とくに小さなお子様やお年寄り、またはペットを飼われているご家庭におすすめです。

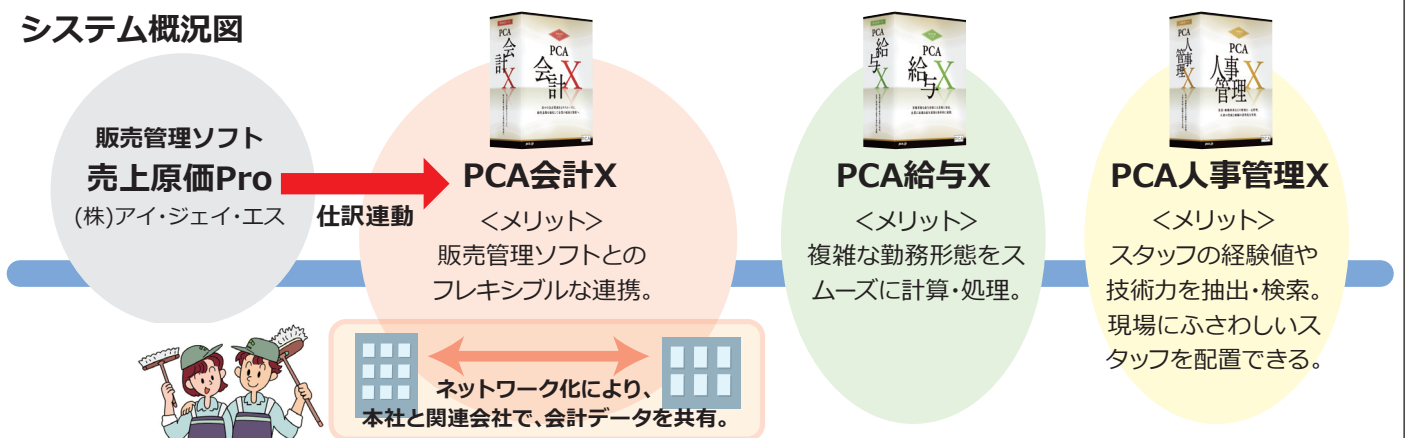


コーティング前



コーティング後

システム概況図



PCAソフトで管理業務を統一することで、社内の業務をルール化できる。

(有)マックス・ベア カーペット・絨毯の クリーニング

オフィスや会議室、病院や各種店舗、はたまた結婚式場や葬儀場などなど、様々な場所のカーペットクリーニングには、このエベレスト搭載トラックマウント車両で出動します。

この本体より15m間隔でホースを目的地まで結合しクリーニングを致します。

最長150mまで結合でき、その高さは地上15階建てのビルに相当します。



プロケム社製「エベレスト」



エベレストの内部

〈エベレストの効果〉

特に取り外しのきかない敷き込みカーペット類に、70℃～80℃の高圧スチームで、アレルギーや悪臭の原因となるホコリや目に見えないダニ、頑固なカビの除去などに抜群の効果を発揮します。

カーペットの毛足の底にある汚れまでも除去するから、衛生効果は絶大です。

トが必要でした。また人事管理は自社によるExcel®でのデータ管理には限界があります。そこは人事管理専用のソフトの力を借りた方が確実だと考えました」(富丸氏)

勤務体系を例にとると、同じパート社員でも2時間だけの現場を1日に数回繰り返すこともあれば、ほぼフルで決まった現場に入るときもある。現場によって作業の内容も高難度から比較的容易なものまである。『PCA給与X』なら給与項目・賞与項目を自由に設定できる独自項目が多く、計算式テーブルも四則演算ができるため、このような複雑なケースにも対応しやすい。

『PCA人事管理X』については本格的な運用はこれからだが、その検索機能の高さに大きく期待しているという。清掃業は現場での経験値やスキル、技術力は人によってまったく違い、その技術力をわかりやすい資格に例えることが難しい。その場合でも『PCA人事管理X』なら詳細な条件でのスタッフ検索機能があり、「経験年数」「火山灰除去の経験の有無」「移動できるエリア」など様々な検索条件でその現場にふさわしいスタッフを選ぶことができる。

「当社の場合は運搬業務も行っており、運転手の免許の種類もしっかり把握しておかなければなりません。これについては『PCA人事管理X』の資格抽出・検索機能がとても役に立っています。私どもは現場での作業にどれだけお客様からの満足をいただくかが大切ですから、その現場にふさわしいスタッフを選んで配置することで、その結果がさらに次のお客様からの依頼にも繋がるのです」(富丸氏)

○管理部門の仕事もお客様からの信用に繋がる

PCAソフトを中心に業務を進めていくことは、他にも様々な効果があったと富丸氏は語る。目に見える効果としては、ペーパーレス化によって紙資源の無駄を省いただけでなく、データを探す時間も大幅に短縮できた点。また整ったフォーマットで出力することによって、受け取る人の意識を高めることができた点。そして処理の流れを全員で共有できることが大きいと話す。

「当社の管理部門のスタッフ全員が、PCAを使うことによっていつでも同じ情報を共有し管理できます。何かの事情で誰か一人が辞めてしまった場合でも、皆が同じレベルで情報を管理しており業務が止まらずにすみずみ。現場での仕事も重要ですが、管理部門がきちんと確実に業務を行っていることも、またお客様の信用に繋がる点です」(富丸氏)

今後の展望と課題

PCAソフトの利便性は感じつつも、まだ十分に使いこなせていないのが大きな課題だと語る富丸氏。ルール化もまだ100%完成しているわけではなく途中だという。

「例えばPCAソフトを使いこなすためのセミナーがあるとうれしいですし、さらに業種別に分けて対応していただけると喜ぶ企業も多いのではないのでしょうか。今後はさらに自計化を進めてタイムラグのない予実管理を行っていきたいですね。当社は同業者に認められたハイレベルな清掃業務が特徴です。そのクオリティをPCAソフトによって管理部門でも評価されるように頑張っていきたいです」(富丸氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。



独自の視点から
補助科目コードをフル活用
複雑な賃貸管理を
ワンクリックで自動処理

株式会社 鳥屋野不動産

賃貸物件の仲介業務や土地の販売運用を行っている株式会社鳥屋野不動産。地元新潟ではよく知られた存在で、大掛かりな区画整理事業も推進するなど、その事業内容は多様かつ大規模だ。同社では複雑で大規模な不動産事業、そして細かな賃貸管理を、『PCA 会計 X』と他社とのソフトを巧みにカスタマイズすることで管理している。賃貸管理については “ ワンクリックで処理完了 ” のレベルまで独自のシステムを構築している。補助科目コードをフルに使った処理システムは非常に参考になる。

導入システム

・ PCA 会計 X with SQL (5CAL) ・ PCA 給与 9V.2R7 システム B

導入の狙い

- ・ 賃貸管理ならではの複雑で細かい入金処理の手間を省きたい。
- ・ 区画整理事業も含めた膨大な会計処理をミスなく少数で行いたい。
- ・ 契約書や区画図なども物件と紐づけて、いつでも見たい。

導入効果

- ・ 『PCA 会計 X』と他社ソフトのカスタマイズにより、独自の管理システムを構築。
- ・ ワンクリックで自動的に処理できる管理システムにより、スタッフを増員することなく細かい会計処理も可能に。
- ・ 『PCA eDOCX』によって必要な資料を簡単にわかりやすく閲覧できる。

プロフィール

株式会社 鳥屋野不動産

□所在地：

〒950-0951

新潟市中央区鳥屋野 2 丁目 13 番 22 号

□社員数：20 名

□創業：1972 年 9 月 8 日

□資本金：1,000 万円

□URL：<http://www.toyano.co.jp/>

□事業内容：

【賃貸物件仲介業務】

○お客様のニーズに合致する生活空間を提案
賃貸物件はお客様のご意見が反映されないことの多い中で、弊社ではお客様のご意見と生活空間を第一に考え、より良い物件のご提案を行っております。お客様の些細なご要望にもお答えできるよう、プロ意識を持って、日々の業務に携わっております。

【傷害保険業務】

○一人一人の幸せと安全の為に
人生はどんどん長くなる。健康保険や年金がどのようなものかも心配。こうした時代だからこそこれからの人生を常に見直す「ライフプランニング」がとても重要なことです。そして、「ライフプランニング」の中で見つけたリスクへの「不安」の一つ一つを、「保険」につかって取り除くことが、鳥屋野不動産の使命だと考えています。

【土地・不動産物件の販売及び運用実績】

○確実・安心の経営を実現する運営管理業務
不動産は工夫次第で多くのキャッシュフローを生む力を持っています。永年のノウハウ・知識を踏まえた当社のプロパティマネジメント業務は、確実な土地や物件、所有と経営の分離に貢献します。

○不動産価値の極大化を提案・実行

不動産の経営に欠かせない基礎データ作成・整備等の現状分析をベースに、不動産の最適運用の診断・決定、資産の組替え等、不動産自体の価値向上から不動産経営の再生プロセスのご提案・実行まで、「勝つ」ための不動産経営を確実にサポートいたします。

○お客様のニーズに合致するビジネスソリューションを提案

- ・ 建設コンサルティング
- ・ 不動産投資コンサルティング
- ・ デューデリジェンス
- ・ 鑑定評価

導入前の運用と課題

○賃貸管理を短時間でミスなく処理したい

株式会社鳥屋野不動産が現在のような“ワンクリックで処理完了”の賃貸管理システムを構築できたのには、同社常務取締役 平樂 高志（たいらく たかし）氏と PCA パートナーのオフィスシステム株式会社の尽力が大きい。

「私が弊社で仕事をするようになったとき、ちょうどグループ会社が決算を迎えました。当時、他社の会計ソフトを使っていたのですが、決算の細かな内訳がわからない状態だったのです。そこで思い切ってソフトを変えることにしました。他社ソフトも検討しましたが、補助科目コードを共通で使えるのは PCA だけでした。『適切に管理していくには PCA しかない』と考えました」（平樂氏）

同社は賃貸物件の仲介だけでなく、土地の売買や運用、さらに区画整理事業も請け負うなど、かなり大規模な不動産事業を展開している。現在グループ会社は 7 社あり、土地分譲も 10 ～ 20 区画の宅地造成開発から土地区画整理事業による 300 区画の規模まで大小様々だ。区画整理組合の収支や予算の処理もしなければならず、会計処理のボリュームはかなりのものになる。

「不動産管理だけでも 1 ヶ月に 1500 件に上ります。賃貸管理は家

賃収入だけでなく町内会費や駐車場料金、リフォーム代の支出など中身が細かいです。以前はこれらを手入力で処理していましたので、処理時間もかかりミスも発生しました。賃貸管理というのは細かいお金をいかにきちんと管理できるかが大事です。弊社では会計処理は現在 3 人で行っています。年々業務は拡大しており、それに合わせて人員補充していたらきりがありませんからね。そこでオフィスシステム株式会社に協力してもらい、3 人のスタッフでも管理できる弊社の現在の賃貸管理システムを作り上げました」

導入後の効果

○複雑かつ細かな賃貸管理を「ワンクリック処理」

現在、同社では次のような流れで“ワンクリック処理”を行っている。まず賃貸物件の入金管理（賃料、駐車場代、町内会費など）は日本情報クリエイト株式会社の「賃貸革命」で処理。その中のデータを利用して、『PCA 会計 X』の自動仕訳機能を使い、自動的に該当項目へ入力させ、賃貸物件の収支内容が瞬時にわかるようになっている。また、賃貸物件の解約予告が入ると、その退去予定日を入力するだけで、入居可能予定日が記載された空室情報として賃貸物件サイトへ反映される仕組みになっている。



株式会社 鳥屋野不動産
常務取締役
平樂 高志（たいらく たかし）氏



オフィス内風景

「私は以前、情報サービス関連の仕事もしており、事務処理がいかに転記の連続であるかをよくわかっていました。また私の妻がプログラマーだったこともあり、私もある程度簡単なプログラムなら書くことができました。日進月歩で事務処理は紙からデータへと移行したわけですが、コンピュータでも紙のような転記の考え方で、いろんなカスタマイズができるのではないかと考えていました。そこでオフィスシステム株式会社と協力し、弊社ならではのシステムにたどり着いたわけです。賃貸管理は1～3月が一番の繁忙期です。この期間に会計スタッフ3名で、いかにスムーズにミスなく賃貸管理できるかが勝負です。空白期間を出すと大家さんに対して申し訳ないですからね」

同社がこのようなワンクリック処理を可能にできたのには『PCA会計 X』の補助科目コードがあったからこそだと平樂氏は語る。同社ではこの補助科目コードをフルに活用しており、その活用方法には工夫が巡らされている。

「補助科目コードを共通で使えるからこそ、転記によるカスタマイズが可能だったわけですが、この共通補助コードは本当に便利です。物件コードを入力すると、賃料などの情報はもちろんのこと、その物件の借入金残高、支払利息、公租公課等諸経費まですべてがわかります。他にもコード使用の一例として次のような使い方もしています。空き部屋のリフォームは年間約400件近くありますが、リフォーム代の原価と売り上げを同じ補助科目を使い数字にしておきます。原価コードと売り上げコードを引き算して0にならない物件は、売上未請求物件か工事未着手物件ですし、0物件は原価率などの計数管理が容易にできます」

事業実績 (土地区画整理事業)



新津駅西土地区画整理事業
(新津美善ニュータウン)



鳥屋野大島土地区画整理事業
(陽街 鳥屋野南)

導入の決め手

○補助科目コードを独自のポイントからフル活用

システム概況図

家賃管理ソフト『賃貸革命』

- 物件情報
- 顧客情報
- 契約情報

解約日を入力
するだけで...

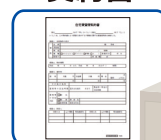
**SUUMOなどの
賃貸物件サイトへ
自動反映**



PCA会計X

カスタマイズにより、賃料・保険・管理費・税金など、物件に関する情報がワンクリックで物件ごとに入力・確認可能

契約書



区画図



PCA eDOCX

PCA eDOCX により物件ごとの「契約書」や「区画図」のビジュアルデータを確認

○ビジュアルデータもわかりやすく管理

『PCA eDOCX』も評価が高い。不動産事業を行っている企業では、区画図や間取図なども頻繁に使用するが、同社ではこのようなビジュアルデータもすべてコードと紐づけており、売り上げや販売・賃貸管理の履歴も含めて物件ごとに関連データを閲覧できる。「他にまだまだありますよ。予算入力も5通り登録できます。ちょうど、5年計画の区画整理事業を請け負っており、単年ごとの予算と実績を出すわけですが、前年度実績からの上昇率も簡単にわかりますし、勘定科目ごとに欲しい数字をいつでも出せます。自分のほしい区切りを自分で作れる。このメリットは大きいです」



株式会社 鳥屋野不動産 HP
http://www.toyano.co.jp/

今後の業務改善予定と展望

○今後はオリジナルの請求書との連携も

補助科目コードを独自の視点でフル活用している同社だが、可能ならば予算も補助科目を使いたいそう。「予算は積み上げていくものですからね。摘要ごとに予算を設定したり内訳管理することはできますが、やはりここでも補助科

目の方が必要な気はします。弊社では賃料・固定資産税・管理費・光熱費・火災保険・エレベーターなどのメンテナンス代まで同じコードで紐づけています。本当は減価償却費までできればいいのですが、減価償却は改正によって年々複雑になっていますから、なかなか難しいのかもしれない」

今後は、現在 Access® で作っているリフォームの原価や請求書と『PCA 会計 X』との連携もできるだけはやく実現したいそう。また日本情報クリエイト株式会社の『賃貸革命』も、カスタマイズを加えることで、現在のシステムを今以上に便利なものへと改善したいと平樂氏は語る。「とにかく事務処理や入力処理の時間や無駄をいかに省き、ミスのない環境を作り上げるかです。いかにスタッフ 3 名でやりきるかです(笑)」

今後も同社では大規模な区画整理事業や宅地開発の計画がぞくぞくと進行中だ。「今まで日本人の家は小さいといわれてきましたが、人口の減少を考えると、マイホームの土地は広くなるのではないのでしょうか。弊社は 40 年間新潟の皆さんに住まいを提供してきましたが、弊社の事業が今後も皆さんの快適な住環境のお役に立てるよう頑張っていきたいです」



メインフレームから
大幅なコストダウンに成功！

パッケージとオリジナルシステムを統合し
効率的なシステム運用を実現



一宮グループ

一宮興産株式会社

愛媛県新居浜市を中心に事業を展開する一宮グループは、グループ内でのシステム導入・運用を効率化させるため『PCA Dream21』の導入を決定した。その手始めとして、メインフレームを使用していた一宮興産株式会社の基幹システムをリプレスし、大幅なコストダウンと安定した業務移行を実現した。

導入システム

○PCA Dream21 基本モジュール (10CAL)

・財務会計モジュール ・会計分析モジュール ・会計予算モジュール ・販売管理モジュール

導入の狙い

- ・最新の経理業務を実現できるシステムに移行したい
- ・メインフレームの会計システムと、COBOL ベースの販売管理システムを低予算で移行したい
- ・グループ内でアドオンカスタマイズをし、導入後もメンテナンスや拡張を効率的に行いたい

導入効果

- ・会計の細かい機能だけでなく、制度対応にも素早くリビジョンアップ対応でき、経理業務の効率化がはかれた
- ・アドオンカスタマイズができる安価なライセンスのパッケージ製品であったため、予算内での移行が実現できた
- ・PCOM を使用して、販売システムと会計システムを容易に連携させることができた

プロフィール

一宮興産株式会社

□所在地：

本社 〒792-8584 愛媛県新居浜市西原町 2-4-34
新居浜支店 〒792-0829 愛媛県新居浜市松木町 2-48
松山支店 〒790-0932 愛媛県松山市東石井 4-10-11
四国中央支店 〒799-0113 四国中央市妻鳥町 1136-1
千葉支店 〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸 126

□資本金：48,000,000 円

□従業員数：50 名

□設立年月日：昭和 44 年 12 月 22 日

□事業内容：損害保険代理業・不動産取引業（賃貸・売買仲介、マンション統合管理・リフォーム、宅地造成・開発、不動産活用・コンサルタント）・リース業

□企業 URL：<http://www.ichimiyakosan.co.jp/>

一宮グループは、建設・機械ブロック 6 社、ケミカルブロック 15 社、物流ブロック 10 社の計 31 社で構成される総合商社です。

グループの不動産部門である一宮興産株式会社は、愛媛県新居浜市を中心に、松山市・四国中央市の賃貸管理をメインとして営業する、お客様の“住みたい家”に応える不動産（賃貸・売買）総合企業です。賃貸管理から賃貸仲介・売買仲介に至るまで幅広く、それぞれの分野には専門のプロをおき、お客様のご要望にお応えいたします。



一宮グループセンタービル 外観

導入までの運用と課題

『PCA Dream21』導入前は、日立製作所製「HiCOUNT2」という会計パッケージをカスタマイズして運用していた。同システムは、日立製作所のメインフレーム「HITAC Mシリーズ」で稼働する COBOL ベースのシステムであった。

そのメインフレームに自社開発した COBOL 販売管理システムを連携させ、リース・ローン業務の管理を行っていた。このシステムは、個人や法人が車や不動産などをローンやリースにて購入する際の、契約や物件、残債権などを管理するための販売管理システムで、その入力した結果である売上や売掛、未払金・入金情報などを、会計側へ仕訳データとして連動させていた。

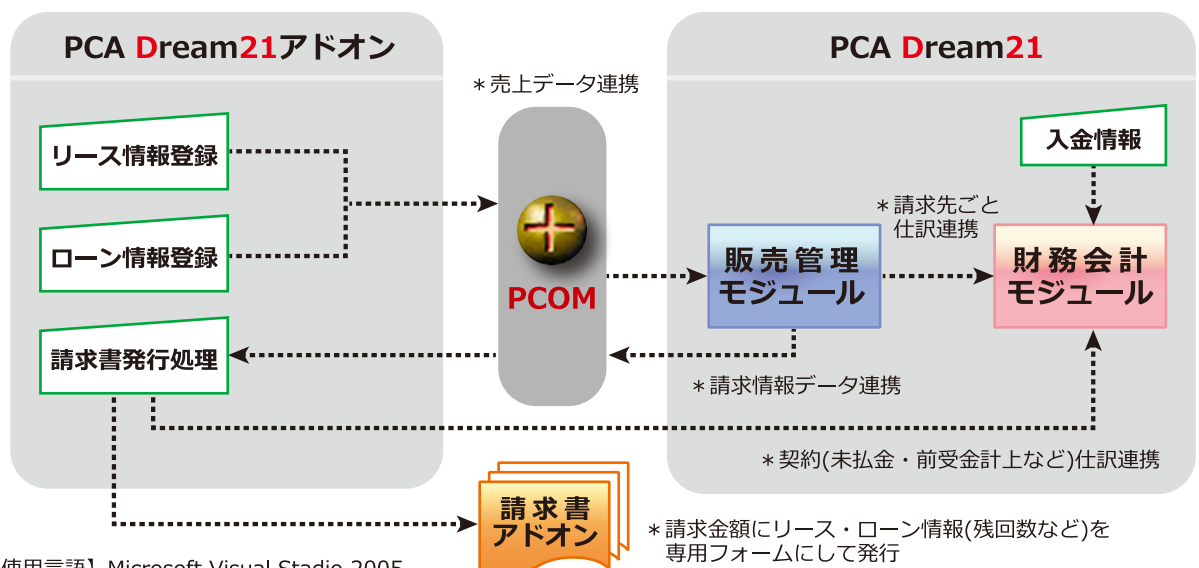
しかし「HiCOUNT2」は COBOL ベースの仕組みであったため、「画面が見づらい」「会計入力に制約が多すぎる」「帳票が自由に出不せない」「過去のデータが参照しにくい」などの、運用上の不便さが課題になっていた。

さらにメインフレームはハード保守費用が高額で、維持するにはかなりのランニングコストがかかっていた。コストダウンのために、Windows サーバーで運用ができるシステムの再構築が急務であった。

システム選定で最も考慮した点は以下の4点であった。

1. 精度の高い会計が運用できるパッケージシステムである
2. システムの連携が容易である
3. アドオンカスタマイズがグループの情報システム会社でも行える
4. Windows サーバーで運用が可能である

システム概況図



導入後の効果

『PCA Dream21』は、当社の課題となっていた「操作性」「価格基準」「統合性」というポイントをクリアしていた。またパッケージメーカー以外には、システム改変が難しくなっているなか、多様な言語でアドオンが行なえる「拡張性」や、一定の基準を満たせば自社でも開発が行えるという契約の「利便性」が高く評価され、次期システムとして導入が決定した。

システム構築は、一宮興産の業務を熟知した、一宮グループの情報システム企業「株式会社アイシーシー」が行うことが前提となっていた。そこで『PCA Dream21』のアドオンを行うために必須であるコンポーネント情報開示「PSIP (Pca System Integration Partner)」の契約をすぐさま締結させた。契約後はグループ内でシステム運用を効率的かつスムーズに行うことができた。

アドオンシステムでは「Microsoft Visual Studio 2005」を開発統合環境に、「Visual Basic .NET」を主要言語として採用した。この統合環境は、開発からテストフェーズまでのスケジュールを効果的に消化することができ、「Visual Basic .NET」で開発可能な『PCA Dream21』の親和性を、開発者からは高く評価された。

新システムでは、スクラッチのオリジナル販売管理システムを『PCA Dream21 販売管理モジュール』のコンポーネントとして、売上・請求書発行などの機能を部分的に利用した

ので、旧システムよりもプログラムの本数が減り、システム工数の削減につながった。

リース・ローン契約で特有の「支払回数」「残金額」「物件内容」など契約内容にもとづく機能は、『PCA Dream21』のマスター標準項目をうまく活用し、不足部分だけに汎用コラムを利用するため、同一のトランザクションで管理が可能になった。

業務上の改善としては、メ処理が不要になり、リアルタイムな業績を販売・会計の両方の側から把握することが可能になった。また拠点側からの入力も可能になり、欲しいデータをすぐに参照でき、請求書の再発行などもスムーズに行えるようになった。さらに拠点業務を代行していた本部負担も軽減し、業務全体の最適化となった。

以前から課題となっていた、ドットプリンタ印刷での帳票類の出力サイズのばらつきについては、レーザープリンタで出力が可能となり、見やすいレイアウトで低コストの運用、さらに統一用紙サイズでのファイリングが可能となったため、業務がいっそうスムーズになった。

全体的な業務スピードの向上に加え、必要なときにすぐ出力できるデータや帳票、統一された操作画面など、新システム導入直後から、社内では『PCA Dream21』を高く評価する声が聞かれた。



新居浜支店
アバマンショップ 新居浜堺筋店



四国中央支店
アバマンショップ フジグラン川之江店



松山支店
アバマンショップ 松山椿店

今後の課題

今後のシステム拡張については、社内でローンを利用している従業員のために、給与データとローン管理システムを連携し、給与・賞与から対象金額を控除すれば、利便性が向上できるのではないかと考えている。

開発・保守サービスを担当している株式会社アイシーシー 営業開発グループの浅野マネージャーからは、「ブラウザでの運用が可能になれば保守・メンテナンスが容易になるので、今後の Web 化対応に期待しています。」というお言葉をいただいた。

同システムサポートグループの篠原マネージャーは「今は未使用ですが、今後は電子帳簿保存機能を使用できるように申請などを行い、信頼性の高いデータシステムとなるよう整備をしていきたい」という。

また、「データが蓄積されてきているので、データの分析などが標準やオプション機能で行えれば嬉しい。そうなれば、もっと IT の活用が進むことだろう」と推察しておられた。



一宮興産株式会社 HP

<http://www.ichimiyakosan.co.jp/>

